

演劇ぶっく

ENTERTAINMENT
P H O T O
M A G A Z I N E

APR. 2007 vol. 126 750yen

4

えんぶチャート 2006

作品編 第一位:

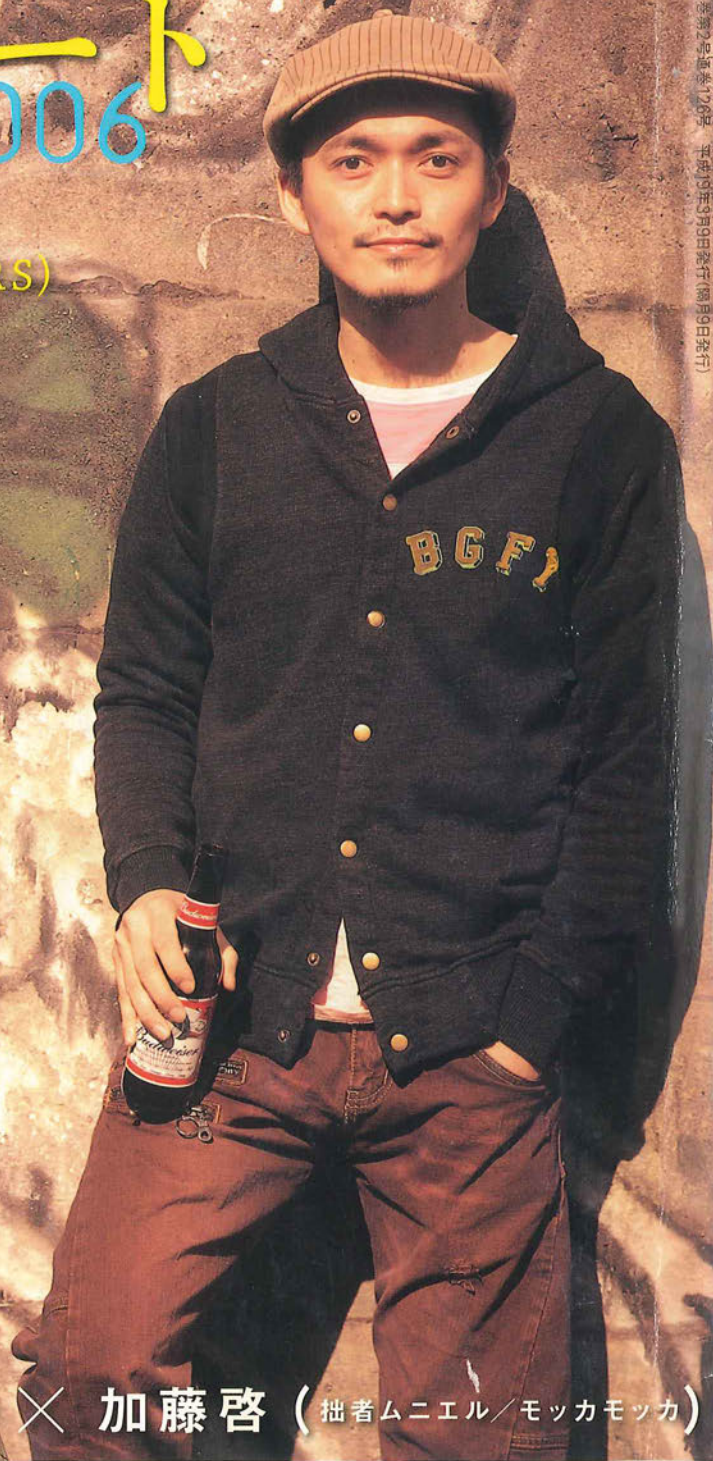
メタルマクベス

(SHINKANSEN☆RS)

俳優編 第一位:

阿部サダヲ

(大人計画)



【表紙のヒト】小林顕作 (宇宙②コード/コンドルズ) × 加藤啓 (拙者ムニエル/モッカモッカ)

全方向から見せます

『朧の森に棲む鬼』大特集!

市川染五郎

阿部サダヲ

古田新太

ロングインタビュー 平田オリザ (青年団)

2007年4月新宿シアター

演劇キックプロデュース
演劇ぶっく社
設立20周年
記念公演

雑誌『演劇ぶっく』を出版する演劇ぶっく社は、86年の創刊以来、常に新鮮で魅力的な表現者の方々や作品とともに歩んできました。そして2006年には設立20周年をむかえ、新たな出発となるこの2007年春、新宿シアターアプルにて世界の名作を、演劇ぶっくならではのオリジナル作品として上演!

レミゼラブル

原作 ヴィクトル・ユーゴー『レ・ミゼラブル』
脚本・演出 ブルースカイ

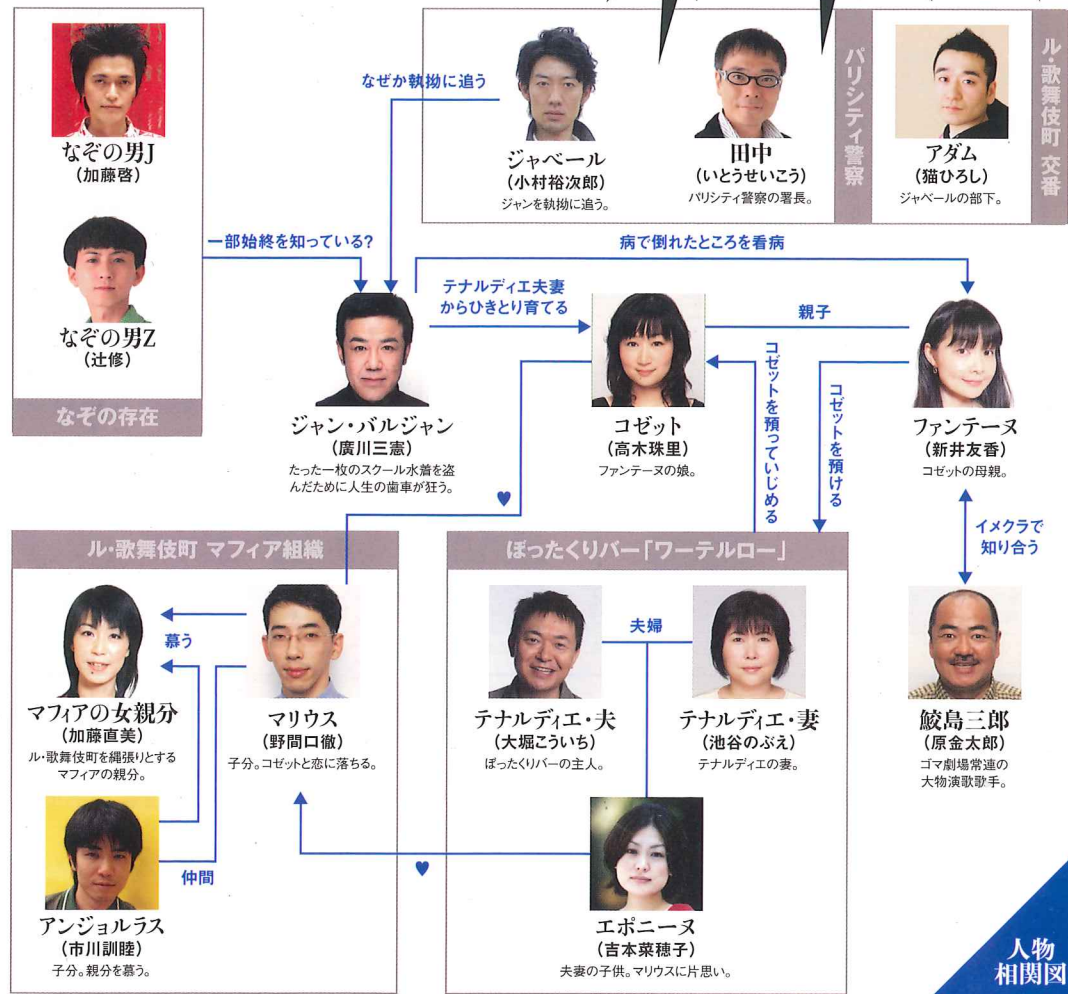
大解剖!!

あらすじ

たった一枚のスクール水着を盗んだために、悲劇の主人公ジャン・バルジャンは19年間監獄に入れられた。

ジャンは出所後も「変態」のレッテルを貼られつづき、世の中は彼に仕事も、住むアパートも与えない。自分の運命を呪い、そして世界を憎むジャン。そんな彼を受け容れてくれた、ただひとつの町ル・歌舞伎町。表の社会では生きていけない訳ありの者たちが暮らすその町に恩返しするため、ジャンは立ち上がるのだ。

人々の共感をまったく得ないであろう「性犯罪者の擁護」、そして多くの人々の共感を得るであろう「豊かさにあふれた地球への警告」という二大テーマを、ロリコンという性癖に悩み苦しむジャンの人生を通して無間やたらと壮大に描くナンセンス傑作!



人物
関連図

賛否両論の嵐の中で、どうか輝いてほしい...

ブルースカイ



ぶるーすかい●94年、小村裕次郎や池谷のぶえと共に「猫ニャー」を旗揚げ、ブルースカイが作、演出を担うその作品は、脱力系ナンセンス演劇と評され、その独自性で話題を呼ぶが、04年、10周年記念解散公演をもって解散。解散後の現在はフリーで映像・ラジオ・CDドラマ等への作家活動を行っている。その高度なナンセンス力は、様々な演劇評論家や作家たちから一目置かれる存在でもある。

——原作「レミゼラブル」を選んだきっかけは？
原作の「レミゼラブル」は、主人公ジャン・バルジャンがひと切れのパンを盗んだために19年監獄に入れられ、出所後も前科者として差別されるという物語です。アメリカでは数年前から、性犯罪者の服役後の個人情報やネット上で公開する法律が実施されているらしくて、アメリカの性犯罪者たちは、言わば現代のジャン・バルジャンだと思ったんです。性犯罪者が主人公の物語をつくるうとしたとき、彼らの人権を守るには「レミゼラブル」は原作としてとても最適でした。でも、性犯罪者を擁護したところでおそろしく誰も共感できないわけで...だからそこそこナンセンス劇の魅力があるのだと思います。

——今回の作品は「演劇弁当猫ニャー」解散後、約2年半ぶりの長編執筆ですが？
劇団時代のように、公演日程が決まっているから台本を書くというのではなく、「いまでもやりたいことがあったら台本を書く」という感じで取り組んだので、悩まずともとても楽しく書けました。

——魅力的な出演者が集まっています。素晴らしい出演者みなさんに集っていただきたかった作品にしたいと思っています。

ターアプルにて開催!!

脚本・演出には、ブルースカイ、江本純子(毛皮族)といった、独特の演劇表現で人気の演出家たちをむかえ、さらに一筋縄ではいかない個性あふれる魅力的な出演者たちが集ったからには、もうこれほどでもなく過激にナンセンスな花が咲く、キケンな春の予感なのです!!

演劇キックnext wave 演劇計画 とは？

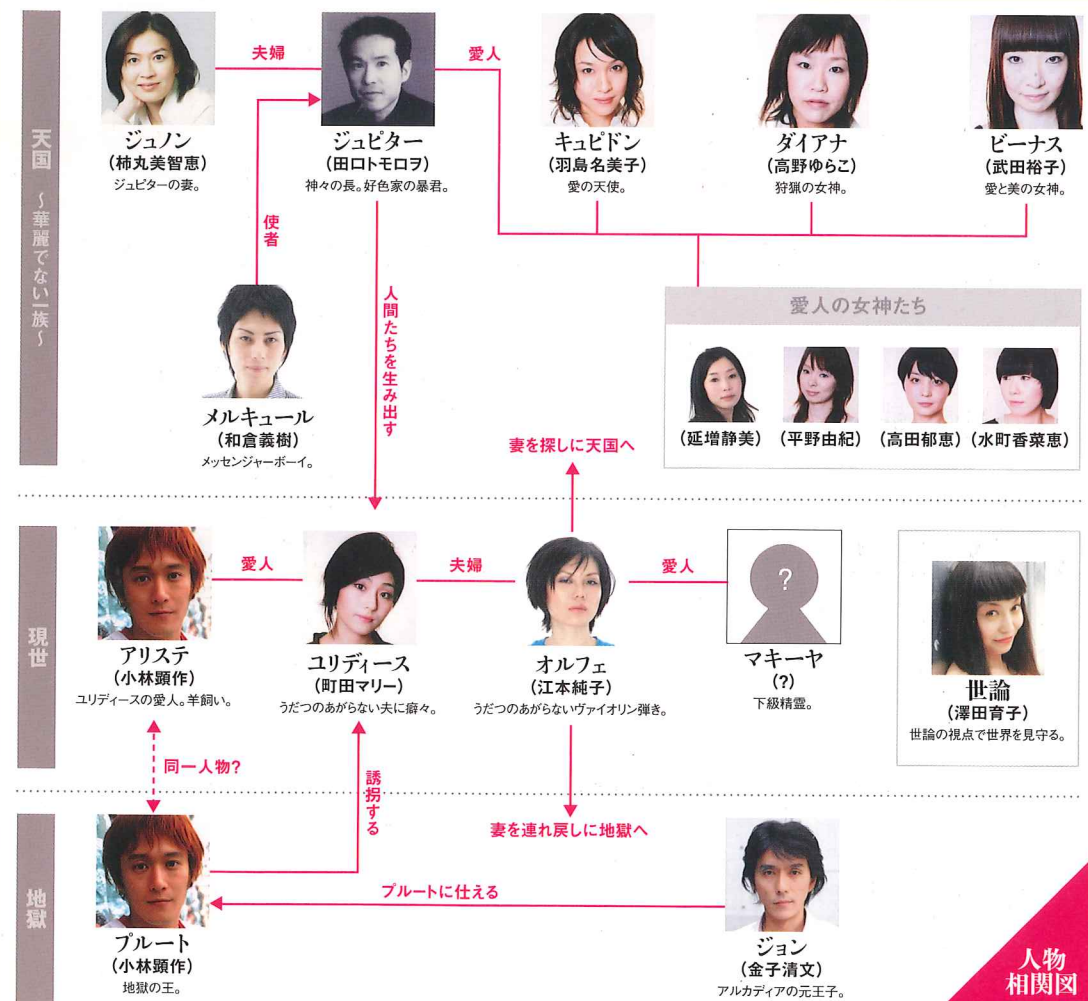


演劇キックnext wave 演劇計画とは？
演劇キックnext waveが2005年に立ち上げた演劇企画制作チームです。いろいろな演劇人の皆さんと共に、様々なかたちでの企画公演を行い、演劇を活性化していくプロジェクトです。

演劇ぶっく読者のみに、作品の内容をこっそり暴露。登場人物相関図、あらすじ、演出家インタビューなどなど、このページを読みこなせば予習はバッチリ! 公演が2倍に楽しめること間違いなしです!

天国と地獄

原作 ジャック・オフエンバック『地獄のオルフェ』
脚本・演出 江本純子(毛皮族)



あらすじ

「現世」は迷走する夫婦の姿。バイオリン奏者のオルフェとその妻・ユリディース。妻が抱えた病によって夫婦生活は今まさに不幸のどん底に陥る。生死を彷徨うユリディースが覗いた「天国」と「地獄」のウールン珍世界紀行。

「天国」には華麗でない一族の姿。一族を支配するのは大神・ジュピター。醜悪でえげつない好色家の暴君はリアルな大敵に迫る鬼。

「地獄」は最悪の戦地。滑稽な地獄の王・ブルートに連れ去られ軟禁されたユリディースの死闘が始まる。

虚実の混乱を巻き起こす、江本純子指揮のジャパニーズパニックオペラが、観客を混乱と昏睡の渦中へ誘います。そして狂気乱舞の巨大レビュー・スペシャル「カンカン」で超スベクトルに終幕予定!

アングラ・パンク・パニック・オペラですね!

江本純子



えもとじゅんこ●立教大学在学中に劇団「毛皮族」を結成し、全公演の作・演出を手掛けると共に全公演に出演。近年の活動は多岐に渡り、昨夏に処女小説「隙間」を発表。彼女が率いる「毛皮族」は、04年9月に町田マリーらとともに結成。エンターテインメント性に溢れる、聖俗を取り込んだ熱狂的狂騒舞台が特色の、イカサマが本気の疑惑のテロエロ歌劇団である。

——江本版「天国と地獄」はどのような作品になりそうですか？
原作に忠実にとは思っているのですが、設定が神秘的で、現代にはあまり関係のない話のような気がするのですが、今回の作品を観ていただく方に対してより密着した作品にするためには、現代的な社会性を付加していきたい。天国の話とか、人はあんまり興味ないと思いますしね(笑)。でも、原作に対して誠意を持って挑みたいと思っていますし、オペラを茶化したものとしてではなくて本物に近づいた表現をするにはどうすれば？と考え

た時に、浅草オペラの雰囲気を出せたら楽しいんじゃないかなとも思っています。思いつきリトロな雰囲気を出しているエンターテインメントって、今ありそうでない気がします。でもただのエンターテインメントにするのではなく、作品としてお客さんにも宿題を残せるような内容を考えています。

——初めてご一緒されるゲストのみなさんはいかがですか？
田口モロヲさんと一緒にさせていただけることでこの作品は、アングラパンクになるのではと期待しています! 小林顕作さんは、舞台でのお客さんに対しての表現の仕方にとてもシンパシーを感じていたので、一緒にできるのがとても楽しみです。

004 【CLOSE-UP STAGE】HONOR 守り続けた痛みと共に TEAM NACS

009 発表! えんぶチャート2006

018 全方向から見せます『朧の森に棲む鬼』大特集!

009



作品チャート / 俳優チャート
[各メディアが注目・期待する]2007年の演劇



018



朧の森に棲む鬼
市川染五郎
阿部サダヲ
古田新太
堀尾幸男
小峰リリー
川原正嗣
中島かずき
いのうえひでのり

030



【ナイロン100°C】
ナイス・エイジ
佐藤誓・大倉孝二

034



【舞台への挑戦
200612→200702】

038



エンジョイ
岡田利規

040



コリオレイナス

042



【グリング】
虹
青木豪

043



【ブロードウェイミュージカル】
スウィーニー・トッド
ソニン

044



【シス・カンパニー公演】
禿禿祭

045



【CLOSE-UP STAGE】
ミュージカル 阿国 木の実ナナ

046



【TAKARAZUKA
2007 NEW SCENE】
水夏希

048



【ロリータ男爵】
来!図書館
佐伯さち子・斎藤マリ

054



【ひょっとこ乱舞】
銀髪
広田淳一・チョウソウハ

062



【表紙のヒット】
小林顕作・加藤啓

064



【ロングインタビュー】
平田オリザ (青年団)

029 【インディ高橋のPatchy小道具研究所R/26】

050 【発表! えんぶチャート2006 データ編】

056 【シバイのミカタ】三条会/IT0プロジェクト/月蝕歌劇団 and more!

058 【シバイのミカタ〜チケブレ編〜】花組芝居/蜻蛉玉/メタリック農家 and more!

059 【CLOSE-UP STAGE】【セレブの資格】小林高鹿

060 【えんぶ何でも研究/レボファン】レポートVol.11

スペシャル・トーク『エリザベート』トート対談 水夏希×マテ・カマラス

061 【えんぶ何でも研究/レボファン】レポートVol.12

さいたまゴールドシアター Pro・cess2 鴉よ、おれたちは弾丸をこめる

072 【オーディションニュース】

073 【特捜!えんぶスクープ関西版】吉永美和子

074 【連載読み切り小説「娼男」第二章 青い空】赤堀雅秋

075 【束から1枚/9】久住昌之

076 【素晴らしきギャグ人生2007/46】西川浩幸

077 【栗根まことの人物ウォッチング/秋山菜津子】【次号予告】

078 【ENBUゼミニュース】

082 【シバイのミカタ+】公演データ編(3月9日〜5月10日)

088 【フロム・リーダーズ/プレゼント広場】

演劇キックプロデュース 演劇ぶっく社設立20周年記念公演

チケット絶賛発売中!!

レミゼラブル

原作 ヴィクトル・ユーゴー「レミゼラブル」
脚本・演出 ブルースカイ



CAST

廣川三憲
大堀こういち
原金太郎

新井友香 / 池谷のぶえ /
小村裕次郎 / 加藤啓 /
辻修 / 市川訓睦 /
野間口徹 / 加藤直美 /
吉本菜穂子 / 高木珠里

猫ひろし

いとうせいこう

荒木秀行 / 加瀬澤拓未 /
工藤史子 / 齊木実奈 /
アイハミホ / 青山隆之 /
石川祐子 / 片桐はつき /
北島裕子 / 瀬戸口竜ノ介 /
高橋洋平 / 田村健太郎 /
蜂谷真未 / 三浦英幸 /
山崎芽子

公演日程	2007年				
	4月5日(木)	4月6日(金)	4月7日(土)	4月8日(日)	4月9日(月)
14:00 開演			🎵	🎵	
19:00 開演	🎵	🎵	🎵	🎵	🎵

◎受付開始は開演の1時間前、開場は開演の30分前。

天国と地獄

原作 ジャック・オフエンバック「地獄のオルフェ」
脚本・演出 江本純子(毛皮族)



CAST

町田マリー
江本純子

小林顕作
澤田育子

田口トモロヲ

金子清文 / 柿丸美智恵 /
羽鳥名美子 / 和倉義樹 /
高野ゆらこ / 武田裕子 /
延増静美 / 平野由紀 /
高田都恵 / 水町香葉恵

赤坂恵梨 / 石田沙央 /
菊地明香 / 久保田綾子 /
黒木絵美花 / kekko / サチコ /
城間真 / 鈴木陽子 /
田島SAYAKA / たにくちいこ /
中林舞 / 梨木智香 / 福田卓志 /
細井里佳 / 細江正和

公演日程	2007年				
	4月12日(木)	4月13日(金)	4月14日(土)	4月15日(日)	4月16日(月)
14:00 開演			🎵	🎵	
19:00 開演	🎵	🎵	🎵		🎵

◎受付開始は開演の1時間前、開場は開演の30分前。

■チケット

前売 4,800円

当日 5,300円(全席指定)

■一般発売

2007年2月17日(土)

10時発売開始

◎未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

■新宿シアターアプル
03-3209-0222

■チケットぴあ
pia.jp/t

0570-02-9988(演劇専用)
0570-02-9966

Pコード:「レミゼラブル」374-444
「天国と地獄」374-445

■ローソンチケット

0570-000-407

0570-084-003

Lコード:「レミゼラブル」37096

「天国と地獄」37097

■e+ (イープラス)

http://eplus.jp/(パソコン・携帯)

■CNプレイガイド

0570-08-9999

■演劇モバイル

http://engeki.cave.co.jp(携帯)

mobile site by演劇モバイル

「レミゼラブル」「天国と地獄」の公演情報、チケット情報
がモバイルでも見られます。
1 下記アドレスに空メールを送ると、
すぐにURLが届きます。
kick@mail.cave.co.jp
2 または右のQRコードから→



■チケットお問い合わせ

■演劇ぶっく社/演劇キック 03-5282-1342(平日12:00~17:00)

■サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(全日10:00~19:00)

■会場 新宿シアターアプル

〒160-0021

東京都新宿区

歌舞伎町1-19-1

TEL:03-3209-0222



■お問い合わせ

演劇ぶっく社「演劇キック」

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F

TEL:03-5282-1342 / E-MAIL:kick@enbu.co.jp

■主催・企画・製作 演劇ぶっく社/演劇キック
http://www.enbu.co.jp/kick/



演劇ぶっく読者 招待券プレゼント!!

「レミゼラブル」「天国と地獄」の公演に、各回2組4名様をご招待いたします!
ご希望の方は、右記いずれかの方法でお申し込み下さい。
当選発表は、当選された方にのみご連絡させていただきます。

◎演劇ぶっくHP 締切:3月26日(月)24時
http://www.enbu.co.jp/enbu/ の専用フォーマットから応募下さい。

◎官製はがき 締切:3月26日(月)必着

宛先:〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F 演劇キックご招待係
ご記入内容:1.希望公演名、2.希望日時(第二希望までお書き下さい)、3.お名前、4.ご住所、5.お電話番号、6.年齢

CLOSE-UP STAGE

TEAM NACS
ふるさとに立つ



約1年半ぶりの新作公演を、ふるさと公演と銘打っているTEAM NACS。ナックスのふるさとといえは……北海道!!という事で、この白い大地での写真と共に、久しぶりに5人揃って登場です!

☑ 我々の土台である北海道をテーマに

この「HONOR」は、キャラクターを1人何役も担う訳ではなく、ほぼ1人1役で、それぞれの成長や成熟をじっくり描いているという。まずはメンバーが劇中で担う、それぞれの分身について伺った。

安田 私は五作という、他の4人とは50歳年齢の離れた人を行います。森崎 安田の役は、村の名物おじちゃん、という感じで、今回はそのおじちゃんといふ人の子供達のふれあいを描こうと思っているんです。僕はその4人の中の1人、門田という役です。どちらかというとリーダー気質な奴で、まんま俺なんですけど(笑)。

佐藤 その子供達4人は五作さんにあるものを習うんですけど、その中で最後まで弟子でいた花男というのが僕です。

大泉 ええと、僕は秀一という役で、子供の頃は泣き虫で、大人になっても少々おとなしい感じの、ちょっと気が弱くて可愛らしい感じの役ですね。

音尾 僕の役は光太といまして、同級生4人の中では活発にわいわいやるタイプですね。お祖父ちゃんが花火師さんで、そのお祖父ちゃんのことを継いで、花火師になろうと頑張る男です。

ふるさと公演と銘打っている今作。ナックスがふるさとをテーマに芝居を作るということは、とても印象的だと感じる。

森崎 僕ら今年が結成11年目です。で、原点回帰の意味を込め、我々の大切な土台である北海道をテーマにしてみようと思ったんです。それと、僕らは04年に初めて東京公演、05年に全国公演をやらせてもらったんですが、未知のことに首を突っ込むのがおっかないということもあって、今思うとすごく背伸びをした公演だったんじゃないかという気がするんです。いつもの我々じゃなく、よき行きの服で着飾って食ったことのないフレンチのフルコースを食に行った、みたいな状況だったんじゃないかと感じています。

佐藤 その前2作は、両方とも偉人の話にしてみましたこともあって、我々も多少息が詰まるような思いもしました。それで、今回は等身大の自分達が出来る芝居を意識したと思います。舞台が北海道というのは演じるのが楽ですよ。普段喋っている北海道弁でやれば、それが役作りをしているようにみえるじゃないですか(笑)。

音尾 でも、東京と大阪はいですけど、札幌公演の時は「なんだこいつら、普段のまま出てきやがて」って思われるかも(笑)。

☑ 村の住人になった気持ちで

今号の発売日、3月9日は、くしくも「HONOR」東京公演の初日にあたる。そこで、本番を楽しみにしているファンの方が読んで、更に当日が待ち遠しくなるようなメッセージをもらおうとします……。

佐藤 えー!? 凄じいこと言いますね!! あの……チケット番号がギリ番の方にはプレゼントが当たります!

音尾 えー、客席の上に……100カラットのダイヤを1個ずつ置いておきます!……どうも嘘ですけど(笑)。

こんな所にかにもナックスらしいサービス精神を感じてしまう(笑)。いや、失礼しました。公演に向けて普通のメッセージを……。

安田 4万8千人のファンの皆さんが待っていてくれるということと肝に銘じ、とにかくそれだけに集中して、いいものを観て頂けるよう頑張りたいです。

大泉 そうですね。割と久々のナックスの公演ですので、またこれをねいつやるのかも分らないものですが、是非打ち上げ花火のように観て頂いて、なんですかね、我々は料理で言えば多分珍味ですよ。北海道でしこしこやった珍味でございますので、例えるなら、めふんって分かります? 蛙の背骨の辺りにある黒い部分で、北海道の人は食べるんですけどね。

森崎 そういって、すごく好き嫌いが激しい劇団みたいじゃない(笑)。

大泉 北海道でやっている珍しい集団が、たまに芝居をうつという感じなので、皆さんもお祭りにつきあつて頂いて、楽しんでくれればと思います。我々も楽しんでやりますので、是非是非。

順番にコメントしてもらったので、これだけ4者4様の言葉が返ってくる。この個性豊かなメンバーが全員揃うからこそ、TEAM NACSはとて魅力的な集団として、多くのファンに愛されているのだろ。そして最後はやはり、チームリーダーである森崎博之に話を締めくくってもらった。

森崎 僕は沖縄における島唄の存在とか、その愛され方に凄く憧れがあるんですよ。島唄を聞くと沖縄が好きになる。沖縄に行きたくなる!みたいな。今回、僕らは劇団としてそれを目指したいんです。北海道を感じさせる。僕らの舞台を観たら北海道に行きたくなる。観た人の心をそんな風に揺り動かす事が出来たら最高だなと思うんですよ。やっぱり僕らの1番の売りは、北海道のローカル劇団です!……ということですから。それと、今回は劇中で、祭りをやるんですけど、恵比寿村(えびしむら)今作の舞台となる村)ならではの祭りを、ご来場の皆様に観て頂こうと思っているんです。北海道には色んな祭りがあって、特に冬は、他の地域では考えられないような行事を行う町がありまして、そこからヒントを頂いてます。ですから、皆さんにも恵比寿村の住人になった気持ちで観て頂けると嬉しいですね。

安田 顕

やすだけん○73年生まれ、北海道室蘭市出身。06年は舞台「狼のゆかり」に出演。また大河ドラマ「功名が辻」に出演するなど、舞台以外でも活躍した。「海風の非常に強い町に生まれたので、私個人の「ふるさと」のイメージは、海から来る風音ですね」

森崎博之

もりさきひろゆき○71年生まれ、北海道東川町出身。大学在学中の96年、TEAM NACSを旗揚げ。リーダーとして、作・演出・出演の三役をこなす。「僕にとっても「ふるさと」は、何となくとも出身の東川町です。東川は水がいい、水がいいから米が美味しい、米が美味しいから米で作ったシフォンケーキがなまら美味しい!!」

音尾琢真

おとたくま○76年生まれ、北海道旭川市出身。TEAM NACSの最年少。「しあわせのつば」など、舞台客演も多く、テレビ、ラジオ等での活躍も増えており、また07年夏にはTEAM NACS SOLO PROJECT「GH00000ST!!」に参加する。「ふるさと」は、実家の前にある小川です。入るようないない川ではないんですけれども、たまに落ちたり、冬に氷が張ると、その上を歩いている時に割れて落ちたり。夏も冬もよく落ちてました」

大泉 洋

おおいずみよう○73年生まれ、北海道江別市出身。大学在学中に出演した「モザイクな夜」をきっかけに「水曜どうでしょう」に出演、一躍人気者に。TEAM NACSでの活躍は勿論、映画やTVドラマ、バラエティ番組への出演も多い。「僕はずっと札幌に居続けていますから「ふるさと」っていう感じがしないんですよ。自分の住んでいる場所としての愛着は勿論ありますけど、ふるさとのある人がちょっと羨ましいかも」

佐藤 重幸

さとうしげゆき○73年生まれ、北海道札幌市出身。07年夏には、TEAM NACS SOLO PROJECTとして、演出家・横島三郎氏とタッグを組み自ら脚本を手がけた「GH00000ST!!」という公演を行うなど、精力的に活動中。「僕も今でも札幌に住んでいますからねえ。『ふるさと』は……すきなんですかね。小学生の頃から遊んでる場所だし」

公演情報

TEAM NACS ふるさと公演
『HONOR』
守り続けた痛みと共に



3/9~4/1◎天王洲銀河劇場、4/6~15◎シアタードラマシティ、4/26~5/13◎道新ホール
脚本・演出◎森崎博之 出演◎TEAM NACS(森崎博之 安田顕 佐藤重幸 大泉洋 音尾琢真)
お問い合わせ:オフィスキュー お問い合わせダイヤル 011-219-0939

発表
!!

えんぶ チャート 2006

今年もこの季節がやってまいりました!
2006年の数ある名作の中から、
注目を集めた公演と活躍した俳優を
読者の皆さんの投票によって
決定するこの恒例の企画。
さて、今年の第一位は?!

応募総数

7107

えんぶチャートは、読者による去年一
年間の演劇界人気ランキング。去
年1月から12月まで国内で行われた
全ての公演と俳優を対象にしたラン
キングです。それぞれ1位から順に、
5点、4点、3点、2点、1点として集計
します。今年はさらに演劇携帯サイト
「演劇モバイル」での投票もあわせ
てカウントしています。

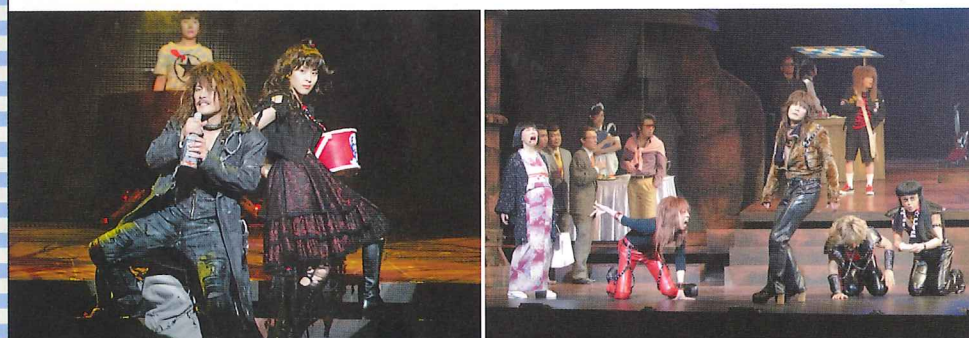
撮影◎青木司(作品1位/俳優7.8、14、23、24位)、伊東和則(作品2.3、8位/俳優
2.5、12位)、岩田入り(作品10位/俳優10、11位)、コスガデスガ(作品4位/俳優4、
13、29位)、清水季博(作品9位/俳優3位)、谷古宇正彦(俳優9位)、高梨光司(俳
優19位)、田中重紀(作品5.6位/俳優6、15、17、28、30位)、引地信彦(作品7位
/俳優1、16、18、21、22、25、26位)、SCOPE(俳優27位)

作品チャート

1
3192

メタル マクベス [SHINKANSEN☆RS]

06年断トツの1位となったのは、
シェイクスピア×宮藤官九郎×新感線
という最強タッグに加え、
豪華キャストが名を連ねた『メタル マクベス』。
どの要素の持ち味も損なうことなく、
全く新しい作品を生み出した。

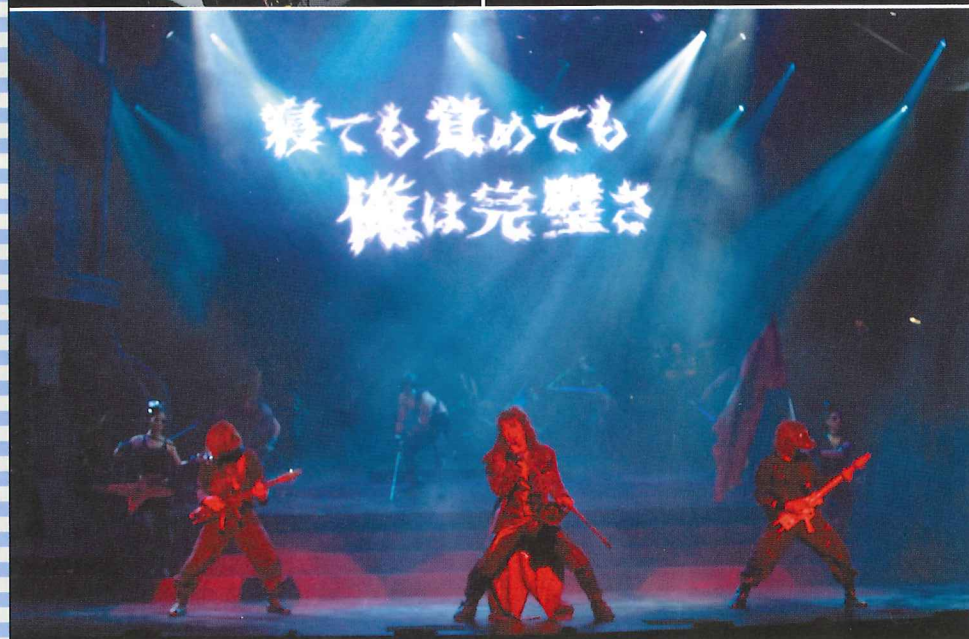


voice

「最高でした。原作のポイントをしっ
かりおさえながらも、細かいところで
笑えたりびっくりできて、本当にお
もしろかったです!」(東京都 南大
王)、「いつもカッコいい新感線
だけでもココまでやってくれたのは
今までないんじゃないかってぐらい
全てがコーカ!! 舞台というより『ラ
イブ』です!」(栃木県 るい)、「まぎ
れもないマクベスでありながら完全
なドカンワールド。宮藤官九郎は
天才だと再認識しました!」(奈良県
関西の魂)、「観終えてこんなに満
たされた作品は初めてでした。最
高!!」(山梨県 桃華)

data

原作◎W・シェイクスピア 脚色◎宮藤官
九郎 演出◎いのうえひでのり 出演◎内
野聖陽 松たか子 森山未來 北村有起哉
橋本じゅん 高田聖子 栗根まこと 上條恒
彦 他 美術◎堀尾幸男 照明◎原田保
音楽◎岡崎司 音響◎井上哲司
衣裳◎有村淳 振付◎川崎悦子
06/5/5~7◎まつもと市民芸術館主ホール、
5/16~6/18◎青山劇場、6/29~7/4◎大
阪厚生年金会館大ホール



METAL MACBETH/SHINKANSEN☆RS

役者人生、 それも悪くない。

2007年度SAG13期生 入所オーディション受付中!!

3月24日(土)、3月25日(日)
4月1日(火)

リーズナブルな授業料

~真剣に俳優・声優を目指すすべての人を応援します~

SAGの一番の魅力はまず授業料の安さ。でも、入校すると、その内容の濃
さに驚くことになります。SAGは「親からの援助がない人でも通える本格的
な養成所があるべき」という趣旨で開校されたからです。内容確かめたい
という人は一度SAGに遊びに来て下さい。



SAG俳優部特待生オーディション開催決定

詳細はSAGホームページをチェック!!

週3回コース

●俳優部 基礎科/本科
●声優部 基礎科/本科

週1回コース

●俳優部土曜特別クラス
●声優部土曜・日曜特別クラス
●声優部日曜ジュニアクラス
●演技者のためのダンス&ボイストレーニングクラス

※オーディションは週3回コースのみとなります。詳しくはSAG事務局へお問い合わせ下さい。

募集コース



SAGを見て!聞いて!体験できるチャンス!

無料体験レッスン 3月21日(水・祝)

※講座には定員があります。お早めにお申込下さい。

その他イベントなどは、随時ホームページにて公開中!

SAG 松涛アクトーズギムナジウム
SHOT
ACTORS
GYMNASIUM
●募集要項に関するお問い合わせは下記までお電話下さい。パンフレット[無料]をお送りします。
[荻窪本校] 〒167-0043 東京都杉並区上荻2-4-12
TEL:03-5310-3535 www.actorschool.jp ✉sag@actorschool.jp





uwasa no otoko/PARCO presents

演楽場の裏に渦巻くのは、元漫才コンビの愛憎、
得体の知れない男の思惑、そして支配人の積年の恨み——。
軽快なテンポで綴られていく、イヤ〜な男たちの物語。

voice

「見終わった後は『人間の持つ醜さ』とその醜さを覆い尽くす『生きる者の迫力』にびっくりした(京都府 タガー)、「イヤ〜な話なんですけど、そのイヤ〜さは逆にキモチよかったです(茨城県 ちょん)」

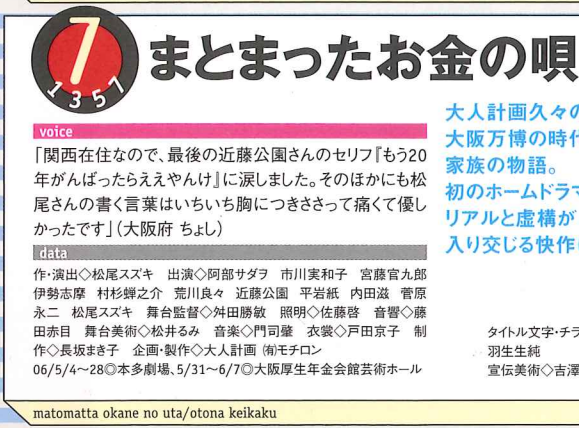
data

作・福島三郎 演出・ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演・堺雅人 橋本じゅん 八崎智人 山内圭哉 橋本さとし 他 美術・小松信雄 照明・関口裕二 音響・水越佳一 衣裳・前田文子 舞台監督・福澤諭志・至福園 製作・山崎浩一 企画・細川展裕・グレルヂ 制作・高石由紀子 プロデューサー・佐藤玄 企画・製作・株式会社バルコ
06/8/11~9/3◎PARCO劇場、9/7~10◎梅田芸術劇場シアタードラマシティ、9/15・16◎メルパルクホールFUKUOKA、9/21・22◎名古屋市民会館中ホール

宣伝美術・東學
宣伝写真・谷敦志



6 噂の男 [PARCO presents]



matomatta okane no uta/otona keikaku

7 まともなお金の唄 [大人計画]

voice

「関西在住なので、最後の近藤公園さんのセルフ『もう20年がばったらええやんけ』に涙しました。そのほかにも松尾さんの書く言葉はいちいち胸につきささって痛くて優しかったです(大阪府 ちょん)」

data

作・演出・松尾スズキ 出演・阿部サダヲ 市川実和子 宮藤官九郎 伊勢志摩 村杉輝之介 荒川良々 近藤公園 平岩紙 内田滋 菅原永二 松尾スズキ 舞台監督・舩田勝敏 照明・佐藤啓 音響・藤田赤目 舞台美術・松井るみ 音楽・門司肇 衣裳・戸田京子 制作・長坂まさ子 企画・製作・大人計画 南モチロン
06/5/4~28◎本多劇場、5/31~6/7◎大阪厚生年金会館芸術ホール

大人計画久々の新作は、
大阪万博の時代の
家族の物語。
初のホームドラマは
リアルと虚構が
入り交じる快作に。

タイトル文字・チライイラスト・羽生生純
宣伝美術・吉澤正美



miss dandelion/caramel box

8 ミス・ダンデライオン [演劇集団キャラメルボックス]

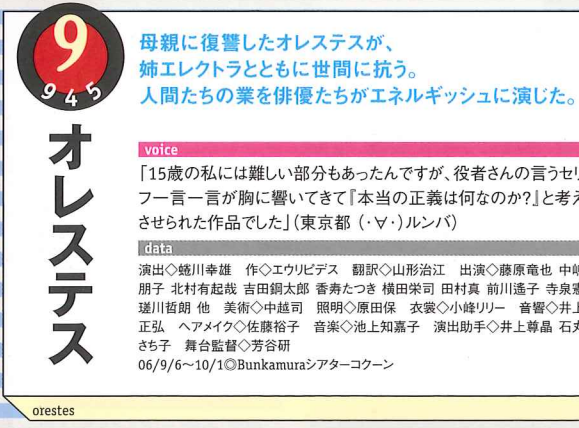
voice

「06年、一番泣いた作品です。終演後、アンケートを書きながらロビーでまた泣いてしまい、涙を止めるのが大変でした(大阪府 うらん)、「『演劇』は限られた人達にしかわからない世界だと思っていた考え方が変わった『出会い』です(北海道 nya)」

data

原作・梶尾真治『クロノス・ジョウターの伝説』(朝日ノラマ刊) 脚本・演出・成井豊+隈部雅則 出演・岡田達也 岡田さつき 西川浩幸 細見大輔 前田綾 青山千洋 阿部文二 小林千恵 小多田直樹 美術・キヤマ晃二 照明・黒尾芳昭 音響・早川毅 振付・川崎悦子 舞台監督・村岡晋 矢島健
06/3/23~27◎シアターBRAVA!、4/1~2◎メルパルクホールFUKUOKA、4/7~5/3◎シアターアプル

宣伝デザイン・ヒネのデザイン事務所
十森成三



orestes

9 オレステス

voice

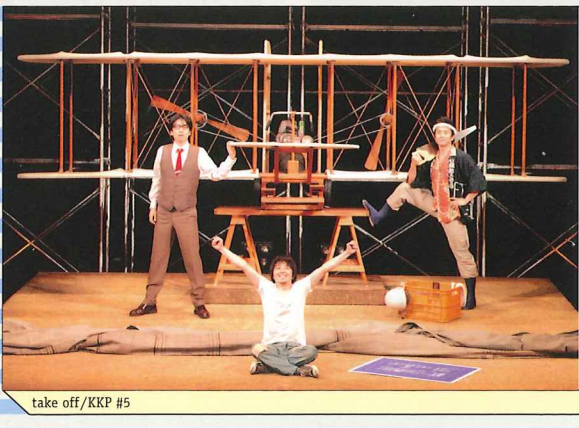
「15歳の私には難しい部分もあったんですが、役者の言うセリフ一言一言が胸に響いてきて『本当の正義は何なのか?』と考えさせられた作品でした(東京都 (・v・)ルンパ)」

data

演出・蛭川幸雄 作・エウリピデス 翻訳・山形治江 出演・藤原竜也 中嶋朋子 北村有起哉 吉田鋼太郎 香寿たつき 横田栄司 田村真 前川達子 寺泉恵 堀川哲朗 他 美術・中越司 照明・原田保 衣裳・小峰リリー 音響・井上正弘 ヘアメイク・佐藤裕子 音楽・池上知嘉子 演出助手・井上尊昌 石丸さち子 舞台監督・芳谷研
06/9/6~10/1◎Bunkamuraシアターコクーン



宣伝美術・アタタム・インターナショナル



take off/KKP #5

10 TAKE OFF ~ライト三兄弟~ [KKP #5]

飛行機に夢を賭ける男の三人芝居。
役者たちの演技なのかアドリブなのか判別できない、
独特のゆるい笑いが新鮮。

voice

「舞台上の迫力と熱気で、観終わってから何日間もずっとワクワクさせてくれた作品でした(茨城県 a)、「『面白い』舞台はたくさんあったけれど、あんなに『楽しんだ』舞台にはなかなか出会えないと思いました(神奈川県 まる)」

data

作・演出・小林賢太郎 出演・オレンヂ 久々沢徹 小林賢太郎 音楽・LOSALIOS 06/5/19~21◎新神戸オリエンタル劇場、5/24~28◎西鉄ホール、5/31~6/18◎本多劇場、6/23~25◎ファクトリーホール

宣伝美術・good design company



sho-nen radio/caramel box

2 少年ラヂオ [演劇集団キャラメルボックス]

畑中智行が初の主演に挑戦したキャラメル流冒険活劇。
大正15年の東京を舞台に、関東大震災で両親を亡くしたスリの少年・
小林ラヂオが実直に生きようともがく姿は多くの人の共感を呼んだ。

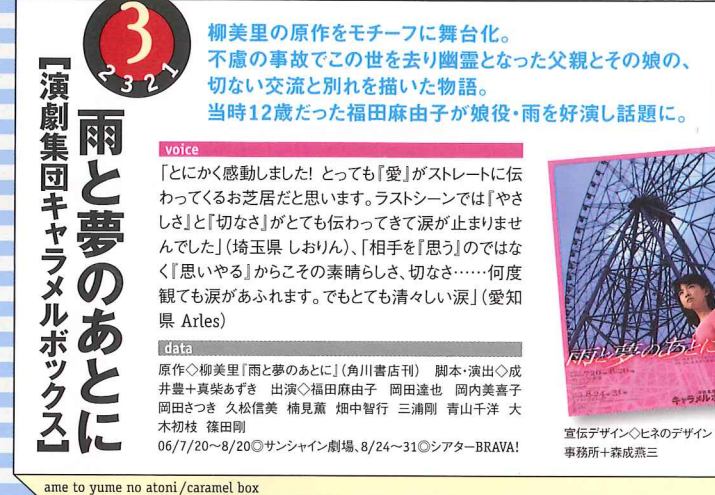
voice

「久々のキャラメルボックス王道の『愛と勇気の冒険活劇』にわくわくさせられっぱなしでした(東京都 nero)、「毎回変化していくラヂオに心熱く舞台を観ていました。弟思いでまっすぐなラヂオが大好きです(福岡県 らん)」

data

脚本・成井豊+隈部雅則 演出・成井豊+白井直 出演・岡田達也 大内厚雄 菅野良一 坂口理恵 岡田さつき 岡内美喜子 畑中智行 温井摩耶 三浦剛 左東広之 青山千洋 實川貴美子 他 照明・黒尾芳昭 音響・早川毅 美術・松井るみ 振付・川崎悦子 舞台監督・矢島健 村岡晋 製作総指揮・加藤昌史 プロデューサー・仲村和生 06/11/2~5◎西鉄ホール、11/10~20◎新神戸オリエンタル劇場、11/25~12/25◎サンシャイン劇場

宣伝デザイン・ヒネのデザイン事務所+森成三



ame to yume no atoni/caramel box

3 雨と夢のあとに [演劇集団キャラメルボックス]

voice

「とにかく感動しました! とっても『愛』がストレートに伝わってくるお芝居だと思います。ラストシーンでは『やさしさ』と『切なさ』がとも伝わってきて涙が止まりませんでした(埼玉県 しおりん)、「相手を『思う』のではなく『思いやる』からこそ素晴らしいし、切なさ……何度観ても涙があふれます。でもとても清々しい涙(愛知県 Arles)」

data

原作・柳英里『雨と夢のあとに』(角川書店刊) 脚本・演出・成井豊+真実あずき 出演・福田麻由子 岡田達也 岡内美喜子 岡田さつき 久松信美 橋見薫 畑中智行 三浦剛 青山千洋 大木初枝 篠田剛
06/7/20~8/20◎サンシャイン劇場、8/24~31◎シアターBRAVA!



公演10回目となる今回のウーマンリブ公演は、
松尾スズキと古田新太を迎え、官能小説家と彼に対して
複雑な愛情を抱く女性解放運動家の話を主軸にした
ほんのりミステリー。オフビート感あふれた舞台は
一転してホラーな展開に……?

voice

「今までのシリーズよりさらにおもしろかった! (群馬県 野良猫)、「古田さんと松尾さんが! という嬉しいコラボ。さんざん笑って、見終わった後はスカッとした(静岡県 ムラッパ)」

data

作・演出・宮藤官九郎 出演・松尾スズキ 池津祥子 伊勢志摩 矢野美和 猫背椿 菅川雅時 荒川良々 平岩紙 少路勇介 星野源 宮沢紗恵子 宮藤官九郎/古田新太 舞台監督・青木義博 照明・佐藤啓 音響・山口敏宏 (Sound ConcRete) 舞台美術・加藤ちか 音楽・富澤タク 星野源 衣裳・戸田京子 企画・製作・大人計画 南モチロン 06/11/2~19◎サンシャイン劇場



宣伝美術・吉澤正美
チライイラスト・篠崎真紀



rope/noda-map

5 ロープ [NODA・MAP]

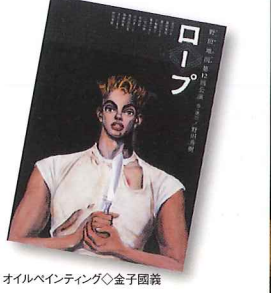
プロレスの世界がいつしか『戦争』になり、様々な形の暴力を問う……。
野田秀樹の新作は、ストレートにメッセージを叩きつけ、観る者を圧倒した。
ラストにはかすかな希望も込められている。

voice

「改めて世の中のあるゆる『暴力』について考えさせられました(栃木県 けいすけ)」

data

作・演出・野田秀樹 出演・宮沢りえ 藤原竜也 渡辺りり子 宇梶剛士 橋本じゅん 三宅弘城 松村武 中村まこと 明星真由美 明楽哲典 AKIRA 野田秀樹 他 美術・堀尾幸男 照明・小川幾雄 衣裳・ひびのこづえ 道曲・効果・高部幸男 舞台監督・瀬崎将孝 プロデューサー・北村明子 企画・製作・NODA・MAP 06/12/5~07/1/31◎Bunkamuraシアターコクーン



オイルペインティング・金子國義



5
111

畑中智行

【演劇集団キャラメルボックス】



Tomoyuki Hatanaka/caramel box

06年はキャラメルボックスでの公演のほとんどに出演し、年末には入団7年目で初主演を果たした。運動量の多い役を担う事が多く、そのはつらつとした演技で人気急上昇中の若手俳優の1人。要チェック!

voice

「初主演の重圧の中、これほどまでに成長著しい役者さんは珍しいのでは?」(東京都 あさひい)、
「素敵な笑顔、真っ直ぐな感情が伝わってくる演技、キレのいい動き。全てが魅力的な役者さんです」(茨城県 あさお)

schedule

活動予定◎演劇集団キャラメルボックス「まつきをな」

4
182

古田新太

【劇団☆新感線】



Arata Furuta/gekidan☆shinkansen

06年の舞台は、年をまたいで上演されたNODA・MAP『腐作・罪と罰』、ウーマンリブ公演、そして年末に始まった『蘭の森〜』3本に出演。包容力と説得力、そして色気と三種の神器を兼ね備えた俳優として安定した人気を誇る。

voice

「舞台の上であんな自由な人を他に知りません。TV、映画での活躍が多い年でしたが、何といっても舞台上のこの人は無敵です!」(大阪府 あずみ)、「古田さんの存在感と色気はピカイチ!!」(東京都 エルニー)

schedule

活動予定◎「森原校校」5/8〜31◎Bunkamuraシアターコクーン

7
979

松たか子



Takako Matsu

『メタル マクベス』では、コメディエンヌとしての才能を見せる一方で、狂気を越えたキレっぷりが鳥肌ものの迫力だった。06年頭の『腐作・罪と罰』の濃とした力強い立ち姿も印象的。

voice

「アツアツバカッパルのマクベス夫人、サイコーでした! あんなにぶっ飛んでるのにチャームなのがスゴイ」(奈良県 鳩三郎)、「新感線に松たか子?と不思議な気持ちだったけど、観たら初新感線とは思えない相性の良さだった」(山梨県 ローズ)

schedule

活動予定◎映画「東京タワー〜オカンとボクと、時々、オトン」4/14公開◎映画「HERO」9月公開予定◎松たか子3rd全国ツアー5/18〜全国公演

6
1002

橋本じゅん

【劇団☆新感線】



Jun Hashimoto/gekidan☆shinkansen

『桜飛沫』、『メタル マクベス』、『噂の男』、『獅子流森の石松』、『ロープ』と、話題公演に立て続けに出演した06年。シリアスとコメディの間を縦横無尽に駆け回るその姿はどんな作品に出ても健在。

voice

「やはり今年は舞台にフルスイングの橋本じゅんさんがNo.1。どの芝居も見終わった後胸の中に熱いものが残りました。じゅんさんの熱いハートのせいだったのかな」(神奈川県 ならこ)、「笑いも狂気も切なさも、ふとした表情でガツンと伝える、そのハートフルな演技は何回見ても心をつかまれます!」(東京都 ほし)

schedule

活動予定◎劇団☆新感線2007年夏休みチャンピオン祭り「犬顔家の一族の陰謀」7月◎イオン化粧品シアター、8月◎サンシャイン劇場

1
3021

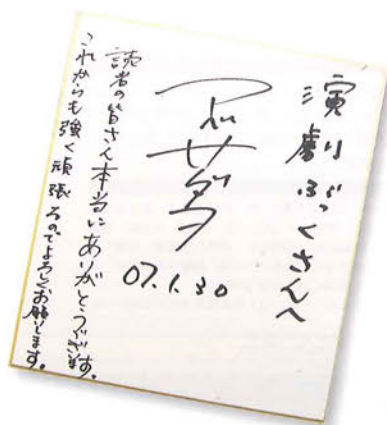
阿部サダヲ

【大人計画】



Sadawo Abe/otona keikaku

切れ味鋭く、だけどキュートな魅力をまんべんなく発揮して、ついに初の1位獲得! 06年は大人計画本公演、グループ魂での夏フェス参加、大人計画フェスティバル、そして年末からの『蘭の森に棲む鬼』と、全力で駆け抜けた。今年は舞台とライブの他、6月に、初の主演映画『舞妓 Haaaaan!!!』の公開も待ち受けている。新時代の幕開けとなる予感!



voice

「この人の名を1位に書くようになって何年になるだろう。いくら見ても飽きない。もっともっと見たくなる。どんな役でも惹きつけられる。これからも目が離せないです。阿部さん」(大阪府 あち)、「阿部サダヲという名優がこの日本に存在している事がとてもステキで嬉しい」(兵庫県 まゆ)、「阿部さんが舞台上にいると空気が違う。華がある。隣にいても目がいく。そして目が離せない」(東京都 あっこ)

schedule

活動予定◎「グループ魂の対バン」張っていいし張らなくてもいいし三都市ツアー」3/16・17◎恵比寿リキッドルーム、3/24横浜BLITZ◎大人計画本公演「Dの輝き」5/10〜6/3◎本多劇場◎主演映画『舞妓Haaaaan!!!』6/16公開

10
703

小林賢太郎

ソロプロジェクト・POTSUNENの「○-maru」では、遊び心いっぱいのアイデアを次々と披露し、演劇ユニット・KKPの「TAKEOFF」では、共演者とともに演技ともアドリブともつかない絶妙な笑いを提供。機密に構築された彼の「笑いの世界」は独特。

voice

「ソロ第2弾、KKPと常にステップアップし続ける賢太郎さんの姿を観ることができました」(神奈川県 M.m)、「観る者に期待以上のモノを見せ、観る者は彼の席に! 今まで味わったことのない世界を小林賢太郎さんなら魅せてくれます」(大分県 じろう)

schedule

活動予定◎ラメンズ「TEXT」3/13〜25◎東京グローブ座、3/28〜4/1◎札幌がでるホール

Kentaro Kobayashi/Rahmens

9
771

堤真一



『労働者M』では両極端の役を難なく演じ、『タンゴ・冬の終わりに』では元俳優で狂気に取り憑かれた男を、繊細な表現でナチュラルに演じてみせた。どんな難役も「難役」と感じさせずにさらりと演じられるのは、後しかいない。

voice

「『タンゴ』での繊細さと狂気と。静かに、強く印象に残った。また新たな一面を見た」(東京都 あっこ)、「どうしてだろう堤さんのおしばいを見ているとどんだん心が引き込まれていって最後には涙が流れている自分がいます。舞台ではよりいっそう素敵な姿を見せてくれる日本一の俳優さんです」(大阪府 リン)

schedule

活動予定◎「写楽考」4/5〜29◎Bunkamuraシアターコクーン

Shinichi Tsutsumi

8
820

栗根まこと

冷酷無比な悪役でも堅実な善人役でも柔軟に演じ、俳優として絶大な信頼をおける実力派。『BIGGEST BIZ』で鳴った06年、『メタルマクベス』ではドラム演奏を披露し器用な一面もそそがせた。また、ゲスト出演の際などに見せる情熱ぶり、特にゲーム全般への造詣の深さは相当なもの。

voice

「テロリスト、研究発表者、魔法学校生と06年も楽しませていただきましたが、目玉はやっぱりドラム演奏!! ずっと見たいと思ってたので念願叶って本当に嬉しかったです。一粒で何度もおいしい栗根さん、ずっとずっと大好きです!」(神奈川県 ののちゃ)、「『Cat〜』のオープニングの一人芝居が3時間続けばいいと思ったのは私だけ? (ではないハズ)」(神奈川県 テール)

schedule

活動予定◎演劇集団キャラメルボックス「まつきをな」◎劇団☆新感線2007年夏休みチャンピオン祭り「犬顔家の一族の陰謀」

Makoto Awane/gekidan☆shinkansen

3
1965

藤原竜也



Tatsuya Fujiwara

『ライフ・イン・ザ・シアター』『オレステス』『ロープ』の3本の舞台に出演したほか、映画『デスノート』が大ヒットするなど、まさに大活躍だった06年。『オレステス』では新たな発声方法を試みるなど、俳優としての鍛錬を欠かさない姿勢には脱帽。

voice

「善と悪、光と影……コントラストの強い役たちを見事演じてくれた! 彼ほど可能性を秘めた役者はいないのでは?」(神奈川県 永澤ルイ)、「どの作品も言葉がストレートに響いてくる。そして常に新しいものを見せてくれる。次回は次回は心おどる気分にしてくれるのも彼だけの力だと思う」(群馬県 トラエモン)、「役が乗り移ったかのような演技、お芝居に対する精神、気高さ……全てが魅力です」(東京都 はるか)

schedule

活動予定◎「ヴェニス」の商人」8/17〜9/30◎天王洲銀河劇場

2
2501

岡田達也

【演劇集団キャラメルボックス】



Tatsuya Okada/caramel box

キャラメルボックスの屋台骨を支える看板役者の1人として正に大車輪の活躍! 『雨と夢のあとに』の父親役・朝晴は、娘への愛情とそれ故の苦悩を真摯に演じ、ファンの圧倒的な支持を得た。

voice

「『雨夢』の優しいお父さんや『ミス・ダンデライオン』の優しい憧れのお兄ちゃんから『少年ラヂオ』では悪役……ホント何を演じててもキマってしまっただけにますます♡です。今年はまた違った役が見たら良い!!」(千葉県 しろうま)、「作品ごとに別人になっていたのが印象的でした。今年もまた違った岡田さんを見てくれると期待しています」(埼玉県 ようこ)

schedule

活動予定◎演劇集団キャラメルボックス「まつきをな」4/7〜5/6◎サンシャイン劇場、5/10〜12◎ももちパレス、5/18〜27◎新神戸エンターカル劇場

23
244

北村有起哉



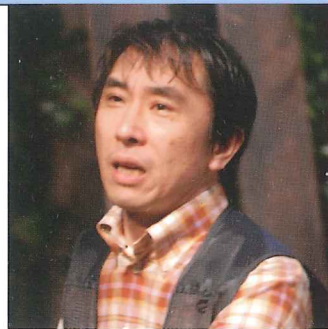
『メタル マクベス』では王の忠臣とヘタレなボーカリストという裏表の顔を見せ、「オレスティス」では竜川幸雄演出作品に新鮮味をもたらした。

活動予定◇「CLEANSKINS/きれいな肌」4/18〜28◎新国立劇場小劇場 THE PIT

Yukiya Kitamura

22
256

段田安則



『ヴァージニア・ウルフなんかこわくない?』では、奇妙な夫婦の関係をときに激しく、ときにクールに演じた。読売演劇大賞・最優秀男優賞受賞。

活動予定◇「政原後校」

Yasunori Danta

21
274

池田鉄洋

【猫のホテル】

急上昇



精力的に舞台に関わりながら、映像への進出もめざましかった06年。アクの強い個性が徐々にやみつきになる魅力の持ち主。

活動予定◇猫のホテル「苦勞人」4/18〜29◎シアタートラム

●急上昇ランクインの感想は?

光栄です。これからも猫のホテルと表現・さわやかを応援してください。

●急上昇した理由は何だと思いますか?

うちの主宰、千葉雅子のおかげだと思います。こつこつ公演してきて良かったです。

●ファンに一言

「お好きな方にはたまらない」を目指し邁進して行く所存でございます。これからもよろしくお願いいたします。

Tetsuhiro Ikeda/Neko no Hotel

12
598

大内厚雄

【演劇集団キャラメルボックス】

急上昇



『少年ラヂオ』ではクールな二枚目・明智小五郎役で観客を魅了。『あした あなた あいたい』では主演を務めた。

活動予定◇演劇集団キャラメルボックス「まつさをな」

●急上昇ランクインの感想は?

いやあ、ビックリですね。舞台はキャラメルの本公演2本のみで、後は映像だったので、一番舞台出演の少ない年に急上昇ってことは、あまり舞台に出ない方がよいのかな、俺? という不安が(笑)。何はともあれ、嬉しいです。ありがとうございます!

●急上昇した理由は何だと思いますか?

キャラメルの冬公演『少年ラヂオ』や、舞台ではないのですが、大河ドラマ「功名が辻」へ出演したことなどが、大きいのでしょうか。そして昔から変わらず応援してくれているお客さんのおかげですよね。

●ファンに一言

感謝。皆さんの期待以上の表現活動ができるように頑張りたいと思います。劇場でお待ちしております!

Atsuo Ouchi/caramel box

11
621

久ヶ沢徹



もはやKKP公演には欠かせない存在。『ジェイル・レイカース』でも、人を脱力させる存在で客席を沸かせた。

活動予定◇スーパー・エキセントリックシアター「偉人の噂〜やがて沈黙するタイムスリップ生弾研伝〜」3/9〜11◎東京芸術劇場中ホール◇G2produce+三蔵芸術文化センターpresents「ツグノの森」5/3〜6◎伊丹AI HALL 5/11〜13◎西鉄ホール 5/18〜6/3◎三蔵市芸術文化センター星のホール

Toru Kugasawa

11-30

俳優

チャート

25
203

三宅弘城



ナイロン100℃、NODA・MAP、グループ魂などで活躍。彼の演じるバカかわいいキャラは唯一無二の存在。

活動予定◇「グループ魂の対バン張ってもいいし張らなくてもいい三都市ツアー」◇「宝塚BOYS」6/12〜24◎ル テアトル銀座 他

Hiroki Miyake/NYLON100℃

24
231

森山未来



06年はなんといっても『メタル マクベス』で見せた、王子然としたたずまいと華麗なタップが最高の存在感を示した。

活動予定◇「血の婚礼」5/3〜20◎東京グローブ座 他

Mirai Moriyama

29
173

星野源



ウーマンリブ公演では全裸の好青年を爽やかに演じ、シャイそうなのに時折見える屈託のない笑顔で今回見事にチャートインを果たした。自身がリーダーをつとめるバンド「SAKEROCK」の人気も上昇中。

活動予定◇「グループ魂の対バン張ってもいいし張らなくてもいい三都市ツアー」3/16◎恵比寿リキッドルーム(SAKEROCKで出演)◇「開演前夜2007」3/31◎渋谷O-WEST(SAKEROCKで出演)

●急上昇ランクインの感想は?

演劇ぶっく。高校生の頃、松尾さんの連載を読むために、毎号買っていました。その頃、演ぶチャートは一生縁のないものと思っていた。ところで、「ぶっく」は何故ひらがななんですか?

Gen Hoshino

26
203

三上市朗



劇団M.O.P.での活躍に加え、「BIGGEST BIZ」、「カラフルメリイでオハヨ」など客演も多数。

Ichiro Mikami/M.O.P.

17
378

八嶋智人



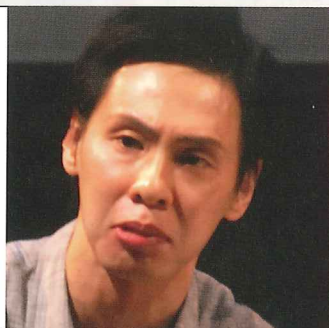
カムカムミニキーナ本公演、「噂の男」、「イヌの日」と立て続けに出演。キレのよい演技に深みが加わり、俳優としての円熟味を増した。

活動予定◇「橋を渡ったら泣け」

Norito Yashima/come come miniki-na

16
395

大倉孝二



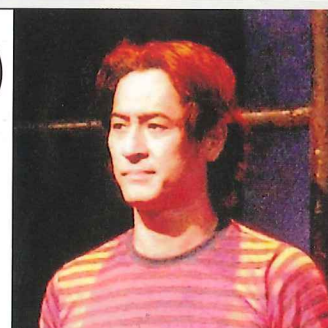
観客を惹きつけるその存在感はやはり秀逸。ナイロン100℃の2作品に加え「開放猿」などに出演した。

活動予定◇「橋を渡ったら泣け」3/5〜29◎Bunkamuraシアターコクーン

Koji Okura/NYLON100℃

15
426

橋本さとし



「ベガーズ・オペラ」「噂の男」「トーチング・トリロジー」と、久々に舞台出演が多く続いた06年。「噂の男」で見せた漫才は圧巻!

活動予定◇「レミゼラブル」6/8〜8/27◎帝国劇場◇映画「ゲゲゲの鬼太郎」4/28公開◇映画「舞妓 Haaaaa!!!!」

Satoshi Hashimoto

30
172

宮沢りえ

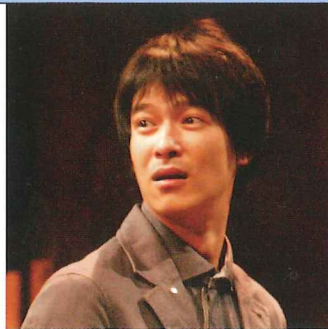


『ロープ』のタマシイ役の彼女は、野田秀樹の「折り」をまさに体現したような存在。紀伊國屋演劇賞受賞。

Rie Miyazawa

28
180

堺雅人



1年ぶりの舞台「噂の男」では、さんざんいたぶられながらも心に闇を持つ屈折した劇場支配人役を好演。

活動予定◇「恐れを知らぬ川上音二郎一座」11月◎シアタークリエ

Masato Sakai

27
189

音尾琢真



舞台「しあわせのつば」では喜劇と屈折を抱えた青年を演じ、TEAM NACSとは違った面を開拓した。

活動予定◇TEAM NACS「HONOR〜守り続けた痛みと共に」3/9〜4/1◎天王洲銀河劇場、4/6〜15◎シアター・ドラマシティ、4/26〜5/13◎道新ホール

Takuma Otoo/TEAM NACS

20
286

片桐仁



「泥棒役者」「Love30」など、外部出演が続いた06年。どんな舞台に出ても、彼のちょっとキモかわいい個性は光る。

活動予定◇ラーメンズ「TEXT」◇G2produce+三蔵芸術文化センターpresents「ツグノの森」

Jin Katagiri/Rahmens

19
310

高橋洋



竜川幸雄演出作品に次々と出演した06年。「間違いの喜劇」では初めて進化役に挑み、明朗な台詞回しとキレのある動きで観客を沸かせた。

活動予定◇「恋の骨折り損」3/16〜31◎彩の国さいたま芸術劇場◇「お気に召すまま」7月◎Bunkamuraシアターコクーン 他

Yo Takahashi

18
331

宮藤官九郎



脚本家、俳優、演出家、バンド活動と相変わらず多忙を極めた06年。大人計画本公演、ウーマンリブで見せる飄々とした持ち味も健在。

活動予定◇「グループ魂の対バン張ってもいいし張らなくてもいい三都市ツアー」◇大人計画本公演「ドブの輝き」◇劇団☆新感線「犬顔家の一族の陰謀」

Kankuro Kudo/Otona Keikaku

各メディアが
注目期待する

2007年の演劇

構成
伊藤主枝子

テレビドラマでは小劇場系の俳優が多く活躍し、小劇場を舞台にしたドラマも生まれた06年。映画などの映像作品では小劇場出身の監督も多く生まれ、文芸界では本谷有希子、前田司郎、松尾スズキ、江本純子など小説を書く作家も増えています。演劇というジャンルを越えて活躍をする才能が世間をにぎわした2006年。「えんぶチャート」で06年を振り返ると同時に、では今年の演劇界で注目すべきものは何なのか、演劇に詳しい各メディアの鬼才10人に直撃!!

1 『激情』再演 ポツドール (@本多劇場)

駅前劇場での初演の衝撃を、大きな舞台の本多劇場で、三浦大輔はどのように行うのか?『激情』は脚本がサイコーだ!同じく大きな舞台だった三鷹市芸術文化センターでの『ANIMAL』のような実験をやってくれるだろうか?実験的な演劇に挑戦している、ポツドールのたくみに期待。観た人は、負の衝撃を受けて、立ち直れなくなるかも知れないと覚悟しよう!

2 『若い夫のすてきな微笑み』 城山幸の会×三鷹市芸術文化センター (@三鷹市芸術文化センター)

CMの世界では知らない人はいない奇才、CMディレクター山内健司の作・演出する舞台。三鷹芸術文化振興財団、森元氏からの熱烈オファーから数年。満を持して、大きな舞台で公演。山内健司は、ここに至るまで、3年連続で舞台公演を打ち続け、いずれも高い水準と圧倒的に変な「笑い」と「美しさ」に満ちた舞台を作り上げている。4月公演が本当に楽しみ。

3 『劇団、本谷有希子第12回公演』 (@吉祥寺シアター)

昨年、「劇団、本谷有希子」を初めて見て、その上手さと、舞台の「場」の作り方にびっくり。ココロの中に潜む闇と追い詰められた場起こるユーモアが同居して、独特の世界へ追い込んでいく技術が凄い。文芸の世界でも、注目されている彼女は、吉祥寺シアターで、6月に1ヶ月のロングランを敢行する!見るべし!

1 山内ケンジさんの新作(4月)

世間にはびこる「ゆるい」表現が、なんか逆に威圧的で疲れるのは私だけでしょうか?山内さんの演劇はスピードがあって笑えるのに人でなしで、何より「キツチリ」していて気持ちいいです。

2 蜷川幸雄さん

毎年爆発する富士山。ドキドキします。

3 本谷有希子さんの新作(6月)

昨年の「遺離」はキワドかった。成熟とか全く関係ない勢いでキワドくて感動しました。今年も、痛い部分を思いきりグリグリやっちゃってください。



吉田大八
[CMディレクター・映画監督]

よしだたいはち○映像製作会社「ティー・ワイ・オー」で多くのCM作品を手がける。劇団、本谷有希子の戯曲「肺抜けども、悲しみの愛を見せる」の映画版を監督。活動予定○監督映画「肺抜けども、悲しみの愛を見せる」初夏公開



山下治城
[CMプロデューサー]

やましたはるき○TVC制作会社「ニッセンアルティ」プロデューサー。1980年頃より舞台を観始める。観劇歴27年、プロデューサー歴18年。

1 ヨーロッパ企画の快進撃とデス電所の飛躍

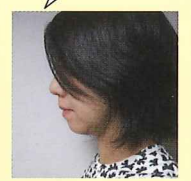
映画「サマータイムマシン・ブルース」以降、活動の場をますます広げているヨーロッパ企画。彼らの、演劇のみならずメディアでの活動も含めて期待。また、デス電所やットキャップシアターをはじめとする、同世代の関西を拠点にする劇団の飛躍にも期待したい。

2 庭劇団ベニノなど関西外からの関西公演

06年は、前田司郎(五反田団)やシベリア少女鉄道、表現さわやなど関西外の演出家・劇団・ユニットによる関西公演が関西演劇界に良い刺激を与えた。今年も関西外からの新風が期待。とにかく、関西の地でもオモシロイものをいろいろ、たくさん観たい!

3 悪い芝居など、若手劇団に注目

昨年あたりから、京都を拠点にする悪い芝居(悪いけど芝居させて、の略)や、大阪芸術大学出身者による兎町十三番地など、若い劇団の活動が目立ち始めてきた。その少し上の世代である隕石少年トースターなども含めて、若手劇団の動向を見守りたい。



金田明子
[編集者・ライター・コーディネーター]

かねだあきこ○関西の情報誌編集を経て、現在はフリーの編集者・ライター、そして東京の劇団を関西に誘致するコーディネーターとして活躍。



藤田一樹
[中学生ブロッガー]

ふじたかずき○91年生まれ。ウェブブログ「藤田一樹の観劇レポート」で幅広いジャンルの芝居を取り上げている。06年は学業の合間をぬって151本を観劇。

1 青年団リンク・サンプル

松井周さんが今年旗揚げされたばかりのユニット。外見は青年団テイストの静かな劇なのに、中身は過激でグロテスク。人間を描く鋭さは刺激的かつ周到で、その不道徳さにハマる!僕と同じようなサンプル中毒者が、これからきっと増えていきそうな予感がします。

2 イキウメ

作・演出を手がける前川知大さんの描く本格派SFは見応え十分。緻密な構成と密度が高く、洗練された完成度の高い舞台を作り出しています。吉祥寺シアターや青山円形劇場などに進出するなど、今後の活躍が大いに期待されるでしょう。

3 ハイバイ

岩井秀人さんが作・演出を手がけられている劇団。シュールで独特の世界観を持った現代口語演劇を展開しつつ、その巧妙さでは奥深い世界観は見逃せません。爆笑しながら狙いの鋭さに舌を巻き、様々な演劇的手法が使われるステージに刺激を受けました。



大根仁
[映像ディレクター]

おおねひとし○オフィスクレシェンド所属のTVディレクター。フジテレビ深夜「劇団演技者。」シリーズで総合演出として多くの作品を手がけた他ドラマ「アキハバラ@DEEP」「ライオン丸G」シチュエーションコメディ「30minutes」の演出なども記憶に新しい。

1 岸田戯曲賞・該当作品なし

演劇に関して門外漢である私ごときがはざくのも気が引けますし、「最も期待している」に反してしまうかもしれませんが、これはものすごく期待できる状況なのではないでしょうか?個人的には大人計画以降世代の演劇界は昨年の岸田戯曲賞ポツドール三浦大輔によって完全に更地状態になったと思います。そして私事ですが、昨年末で放送していたドラマ+演劇をコンセプトとしていた「演技者」シリーズが終了した理由の一つに発掘すべき才能の枯渇ということが、正直ありました。キャリア・集客なんぞまったく関係なく飛びぬけた才能の出現を期待しています。劇作家・役者含め。もちろん今年ノミネートされていた方々も含め。テレビ界の薄汚いブローカー・野郎が漁りに行きますからね、ほんと期待しています。あと三浦君は再演やする場合じゃないと思う。あー、また「演技者。」やりたい!ほんとにやりたいんだよ!!



玉山悟
[王子小劇場代表]

たまやまさとし○97年から王子小劇場の立ち上げに参加。仕事の傍ら年間150〜200本は観劇し、期待の若手劇団を集めたフェスを行うなど積極的な活動をすすめている。

1 smart ball

核心のセリフを出すまでに5分でも10分でも下準備をする作家の周到さに注目しています。演出もヒリヒリといいです。過激な題材が注目されがちですが、その中の「人が人を愛う姿の美しさ」を描くシーンにいつも泣かれます。

2 小指値

ダンスなのか?芝居なのか?今はどちらともつかない作品を発表しています。今後どちらかにふれるのか、今のままでいいのか、それとも全く違う新しいなにかを始めるのか?いつも違うことをやってくれるので、客席にいくのがホントに楽しいな団体です。

3 劇26.25団

「会話が途切れるのを全く恐れない」前回の公演は衝撃でした。人物の丹念な書きこみ、事件の起こしかた・展開のさせかた、会話の端々のセンス、いたるところに作・演出家の贅力を感じます。

孫家邦

[リトルモア代表取締役・映画プロデューサー]

そんなかほろ○「どついたるねん」「鉄拳」などのプロデュース後、出版、音楽製作、映画製作など多くを手がける会社「リトルモア」の経営に参加。製作に関わった最新映画「東京タワー〜オカンとボクと、時々、オトン〜」が4/14公開。

1 困難な、喜劇の現在

高い戦略性をもって公演を重ねている上田誠率いる「ヨーロッパ企画」、ちょっとだらしない(見える)ノホホンとした感じの「動物電氣」、なんにも考えてないだろう、成井くんって言いたい「鉄釘アルパトロスケット」に注目しています。

2 ポツドール「激情」と庭劇団ベニノ「笑顔の砦」

下北沢駅前双六の「あがり」に足踏で駆け上ったポツドールと、「ふりだし」にあえて今、胸を置いたベニノは、今の時代の「シリアス」を感じる双壁だと思っています。

3 リトルモア地下の活動

手前味噌になりますが、昨年の毛皮族、新年明けのゴキブリコンピナートの長期公演に新しい「場所」の胎動を感じました。劇場プロデューサー増井めぐみの胆力に舌を巻きます。



柿原和子
[演劇ジャーナリスト・元演劇ぶっく編集長]

さかきばらかずこ○演劇ぶっく創刊時から編集に携わり、97年から2005年まで演劇ぶっく編集長を務める。現在とはくにミュージカル・宝塚歌劇に造詣の深い書き手として活躍中。

1 「Tommy」のいのうえ演出

いのうえひでのりが70年代の人気ミュージカル「Tommy」の日本初公演に挑む。THE WHOの楽曲とともに伝説となっているロックオペラをどう新感覚流に見せてくれるか。

2 本場ウィーンより『エリザベート』が3月から来日公演

梅田芸術劇場の大ホールを改造して、本場の舞台装置と転換を見せることも注目の的だが、5月より雪組で上演される宝塚版の「エリザベート」とともにそれぞれの魅力を楽しみたい。

3 シアタークリエの誕生

森光子の「放浪記」で知られる元芸術座シアタークリエとして生まれ変わる。その劇場のこけろ落しと三谷幸喜の新作喜劇というところ、これからの劇場の方向性とともに興味深い。



松本邦彦
[ランダムハウス代表取締役]

まつもとくにひこ○ラジオCMなど声の仕事を手がけている会社「ランダムハウス」代表。現在、J-WAVEで毎月最終日曜25時に小劇場の人材を発掘・活用するラジオドラマ「THEATER☆MAZMOTO」をプロデュースする。

1 ケラリーノ・サンドロヴィッチ VS岸田國士

先年亡くなった岸田今日子の尊父にして、岸田戯曲賞にその名を残す岸田國士だが、さてその作品は、となると実は余りよくわからない。いや、見たことも聞いたこともない、というのが一般であろう。正月の世田谷PT。80年前の岸田の戯曲を使い、ケラが演出。トリビア人気のふたり=八嶋智人&高橋克実が演じた「命を弄ぶ男達」。PTには珍しく、立ち見客や着物姿の観客もかなりいて、なかなかの賑わい。だが、この浮ついた熱気は岸田の芝居の深奥を味わうには少し邪魔であった。5月の青山円形。再度ケラは、手駒のナイロン100℃を操り、岸田戯曲をコラージュして挑む。「犬は鎖につなぐべからず(仮題)」楽しみだ。気がかりは、なぜ犬の犬山イヌコがないのかだ。

2 笑福亭福笑VS 9・24「劇」小劇場

落語ブームといわれて久しい。寄席は満員。ホール落語もチケット即完。結構な話である。でも本当に面白い、本当にうまい落語に出会っているのだろうか。笑福亭福笑。酒癖・女癖が悪く、営業下手。性格の悪さが災いし、顔も名前も一握りのタレント落語家の後塵を拝しているが、笑いの激しさ、芸の細やかさ、いまい一番だと思ふ。去年、一昨年とシアターXで独演会。今年は下北沢「劇」小劇場に場を移す。年に一回の東京公演。狭い小屋だ。さらに熱い「芸」を披露してくれるだろう。

3 アジアの人VSアジアの人

4月に新国立「小」で見た。鶴山仁演出「カエル」。中国の社会派劇作家・過士行の書き下ろし作品であった。舞台の中央、ヒタヒタと染み出て溢れる水の中で、一番現代的なヘアスタイルは何かを模索する理髪師と客。地球環境の危機を見事な情感で描いていた。音楽や映画について舞台でも、韓流・華流、さらにはもっとたくさん「アジアの人々」の交流は深まるだろう。アジアの視点から問いかける作品はますます増えるだろう。それにどう向き合っていくかはこれからの大きな課題だと思ふ。



A full-page photograph of a male actor in a dramatic pose. He is wearing a dark, patterned robe over a red garment, holding a sword in his right hand and a fan in his left. The background is dark with blue lighting.

A full-body photograph of a performer on a stage. The performer is wearing a costume that includes a denim jacket over a patterned vest, a red scarf, and a wide tan belt with a large knot. They are holding a sword in their right hand and standing on a stage with blue lighting.

龍の森に棲む鬼

Lord of the Lies

The top photograph shows a person in a blue and green costume with a red bow, standing against a blue background. The bottom photograph shows a group of people in red costumes performing on stage, with a large red umbrella in the background.

構成・文◇僧侶和子
 文◇渡辺敏恵(阿部) 園田喬(古田) 坂口真大(山部)
 撮影◇コスガデスガ(舞台) 岩田えり(人物) 岸隆子(泉五郎)

構成・文 ◇ 榎原和子
文 ◇ 渡辺敏恵(阿部) 園田喬(古田) 坂口真人(川原)
撮影 ◇ コスカデスガ(舞台) 岩田えり(人物) 岸隆子(染五郎)

悪の魅力を徹底的に演じぬいて

前作の『アオドクロ』から3年の時を経て、市川染五郎と劇団☆新感線のコラボシリーズ「新感線」が、いよいよ新しい展開に入った。

より広いジャンルから人間を描くという、このうえ歌舞伎の第二章で、染五郎が見せた顔は、これまでの彼のどの作品にも出てこない強烈で魅力的な「悪」だった。

なぜ？と考えさせる面白さ

——染五郎さんにとって新しい、新感線の第二章を、悪役で迎える心境はいかがでした？

作家の中島さんと演出のいのうえさんが考えてくださったことには、僕は100%信頼を置いていましたから、新しい方向での第1作がこういう本になり、役になったのもまったく悩みませんでした。それよりも、04年の『アオドクロ』で、新感線が「区切りついて、そのあとという気持ちで新感線と付き合っていくつもりか」ということは、すごく考えました。どうせ付き合うなら中途半端な形はいやでしたから。

——そして徹底的に演じた、悪ですが、あそこまでの自分のやつっていることを信じているとカッコイイですね。

話としては「こういう悪い男がいました」という一言の、そういう芝居ですからね。無理に共感できる部分を作ったり、実はいい人とかいう、戻りは切ない。そこが面白いとかカッコイイとか言ってもらえるとうれしいですね。

——ライの悪は、染五郎さんはどう受け止めますか？

悪いことをするって人間らしいと思いますよ。善いことをしたほうが裏があると思われたりする。でも受け取る側は自由なんです。そして自由に受け取るのもうためにも、演じる側は悪い男に徹したほうがいかなうかと思えます。確かに、実はいい人だったとかいう結末は、話を狭くしますね。

——「なぜ」というわからない部分が面白いんだと思います。何の理由もなく人を殺す、「なぜなん

だろっ？」といういろんな事を考えさせる。そこがドラマの深さとかステリアスな魅力につながるという気がします。

過程を楽しむ男

——今回は立ち回り、衣裳の着こなし、またスケール感と、歌舞伎役者市川染五郎なしには成立しなかった舞台でしたね。

それができなかったら歌舞伎役者と名乗れないですよ。いのうえ歌舞伎、という場で歌舞伎役者を名乗っている人間がカッコ悪くなるわけにはいかない、というプレッシャーは、歌舞伎に出るとき以上かもしれません。

——体力的にもハードそうなのに、毎回ものすごい迫力。

稽古は最初の『阿修羅城の瞳』に匹敵するくらいシンドイ芝居でした。ただ、動く量は今まででいちばん少ないんです。最後に水の中で立ち回りをするくらいで、なによりもしゃべっている言葉がシンドイんです。すごい量ですから。

——そのセリフですが、ウソと知りつつもレトリックの見事に酔わされます。

言う側としては、お客さんをはじめ皆がウソとわかっていることをしゃべって、それでもうまく成立させられるだろうか？というのが、いつもありますね。それはたぶん、セリフの抑揚とかキャラクターの色気とか、そういうもので埋めていかなくてはならないんじゃないでしょうか。そこが面白いけど、うまく成立させられるかなと、最初は不安もありました。

いのうえさんには、ライは自分で自分の言葉に酔っている、それを目指してやってくれと言わ

れました。ライというのはたまたま選ばれただけ、特別みんなと違う者ではなくて、くじに当たった、みないな人物だと思っんです。それがオボロに「王になる」と言われたら、それを信じてどこまでもいってしまう。最終的にはすべてが自分に戻ってきちゃうんですが、王になる器でもないし、

本当に王になりたいのかといえばそうでもない。過程を楽しむ男なんだろうね。そして達成したら興味がなくなると、次はまたオボロとの戦いに向かっている。

——つねに戦い続けるしかない。染五郎さん、この公演の成果を持って次は何を目指していますか？

自分のほうから、こういうふうになりたいとか、こういう役がやりたいというより、市川染五郎でこれを見てみたいと言われたいですね。そのためには、いつもまっさらな状態でいたいと思っています。

市川染五郎

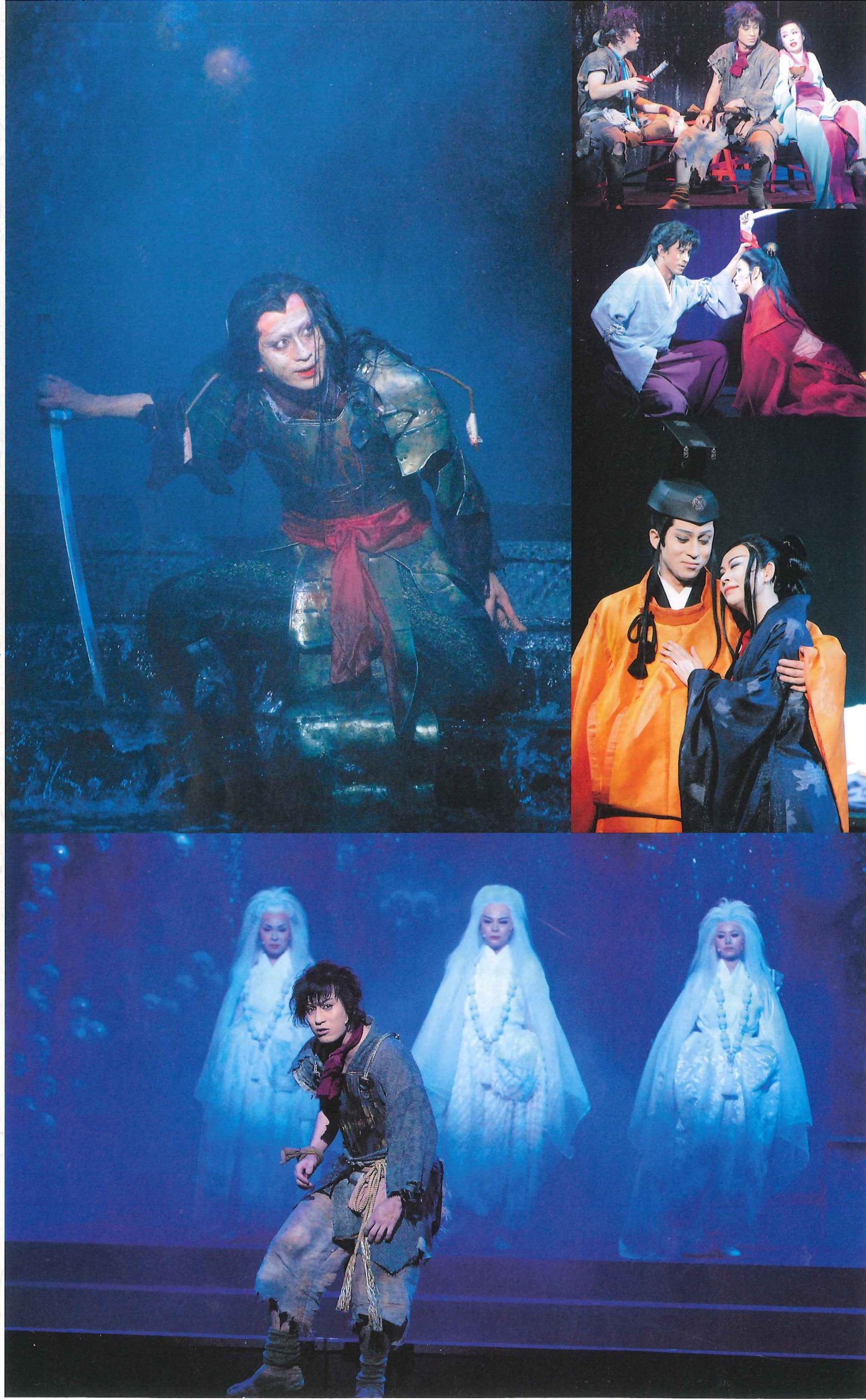


いちかわそめごろう○73年生まれ、東京都出身。79年歌舞伎座で初舞台。81年七代目市川染五郎を襲名。94年名代昇進。古典はもとより復活狂言や新作歌舞伎の上座、現代劇やTV、映画への出演、また日本舞踊家松本錦升として踊りの会に振り付けするなど、多岐に渡って活躍中。

次回予定○五月大歌舞伎「歌舞伎十八番の内 鳴神」5/1～25◎新橋演舞場



血よ！俺の中から流れ出る赤い血よ！オボロの森を真っ赤な嘘に染め上げろ！鬱蒼と静まりかえったこの森を嘘の森に染め直せ、それが俺の最後のペテンだ！！



……駄目だよ、アニキ。あんたの言葉、全然届かねえよ。目が見えなくなって、よくわかる。あんたの言葉は嘘まみれの薄っぺらい破れ紙だ。



純粹さゆえの哀しみ

ライの弟分・キンタを演じた阿部サダヲは、キレのある動きと持ち前の演技力で客席を沸かせた。ちよっとおバカで愛すべきキャラクターのキンタは、ライのことを心底信じ切っているのに、裏切られてしまい、その後の復讐劇をさらにドラマティックに見せていた。



——阿部さんは「いのう歌舞伎」は初めてということで、すごく挑戦しがいのある作品だったのではないかと思いますがいかがですか？

そうですね、楽しいです。体力的には大変ですけど、以前にいのうえさんと一緒にやらせていただいた「天保十二年のシェイクスピア」「レッツゴー!忍法帖」も運動量が多かったし、それは覚悟していたので、やっぱりやって気持ちいいんですよ。花道も使えるし、花道で見得を切ると、お客さんが拍手してくださるんです。それが本当に嬉しくて。染五郎さんはいつもこれやっていると、それは気持ちいいだろうって(笑)。掛け声かつたら最高だよと(笑)。他ではなかなかこういうことはできないので、新鮮だし、出演させてただけでよかったなと思いますね。

阿部さんが演じられたキンタは、ライのことをひたすら信頼してくっついて行く、すごく純粹な人ですよ。

はい。でもキンタほど純粹な人って、悪くもなれちゃうんですよ。実際、女も金も望み放題だ、つてそのかされて、人を殺したりしています。でも途中でライに裏切られ、それがキンタという役にとつてすごくいいドラマになっていると思います。「アニキが俺のことを騙すわけがねえって言つて、物凄くライのことを信じ切ってる分、ライに騙されたときの哀しみが増すのかなど。

——阿部さんの殺陣の場面がかなり多かったですが、動きにキレがあつてすごいなと思いました。後半の殺陣は大変でした。最初に台本を読んだとき、ト書きに「以前より(剣が)物凄く早い

と書いてあつたので、大変なんだろうなとは思ってたんですけど、やっぱりこの感じ(笑)。

これはいのうえさんの案なんですけど、剣は順手と逆手というのがあつて、キンタが盲目になつてからは逆手になるんです。観た人からは「座頭市」って言われるんですけど、それがすごくわかりやすいというか。みんな「座頭市」になつてからの殺陣が面白かつたって言うてくださるんで、よかったなと。染五郎さんも自由にやらせてくださるし、すごく大きい人ですね。

——キンタが盲目になつて再び現れるシーンはカッコよかったです。

カッコよくキマるシーンですよ(笑)。雨が降つてなかつた剣を振り回して斬るのも、劇場入つてりハッサルやつたとき、ちよと笑っちゃいました。カッコよくて、台詞も「てめえらには、悪党という言葉もつたないえよ」って言うじゃないですか。普段絶対言わないでももんね。カッコいいこと言つてんなあと思います(笑)。

いのうえさんの演出で、殺陣とかも、先にこういうふうによつてからこう動いてください、とか、わりと細かく言うてくださるので、入りやすいんです。自分で好きによつて、つて言われたら、あそこにはいかなだろうとか、あの台詞言うときに正面向いて言えないだろう、とかいふのはありますね。ちよとカッコよすぎるというか、いいですね。みたいな感じで(笑)。でも、キンタの役はすごく面白かったですし、それがカッコよく見えているとしたら、やっぱり嬉しいですね。



阿部サダヲ



あべさだを○70年生まれ、千葉県出身。92年より大人計画に参加し、以降ほとんどの公演に出演。外部出演も数多く、新感線では「天保十二年のシェイクスピア」「レッツゴー!忍法帖」に出演している。

次回予定○大人計画「ドブの輝き」5/10-6/3○本多劇場○「グループ魂の対バン」張つてもいいし張らなくてもいいし三都市ツアー「3/16-17」○恵比寿キッドルーム、3/24○横浜BLITZ、3/29○なんばHatch○映画「アンフェア the movie」3/17全国東宝系ロードショー○映画「舞妓Haaaan!!!」6/16公開

悪党は往生際が肝心ですぞ！



唯一俯瞰で物語を見ている人物

——古田さんが演じられたマダレは暗黒街のボスという設定でしたが、単に腕っ節が強いだけではなく、ちゃんと心を持ったキャラクターだと感じました。

そうですね。国一番の極悪人って言われている割には、それを發揮するシーンがひとつもないし、そういうエピソードもない。だから、顔出しの後にライの口先に乗っかって仲間になっちゃうというのをどう表現したらいいのかな？と最初は思いました。でも、演劇としてみた場合には、最後にツナとの関係が分かって若干の良心がみえるというところでん返しがあるので……裏社会のボスの割にはいい人なんじゃないかなって(笑)。

そのマダレとライのやりとりはスリリングでとても引き込まれました。そういう空気を出せたらいいなと思いつながらやってみました。オオキミとシキブを殺したシーンでも、まんまとライの作戦通りになっているじゃないですか。その辺でもちゃんとギョウシャクしたいというのがありまして。協力関係はあるんですけどマダレ的には「その物語にのまればいいよ」という感じがあると思っただけ。今は緒に遊んでいるけど、完全に信用してあげられないよという立場を常に持っているというか、この『腑』の中で、唯俯瞰で物語を見ている人物というポジションなんじゃないかな。だから、マダレは二幕から出すばかりで、物語の周囲にはいるんですけど、ほんとと台詞を言わないで傍観している感じなんですよ。

劇中で、ライとある程度対等にやりあった

のは、やはりマダレかなという気がします。

そこがラジオウという街をずっと仕切ってきた人間としての意地だと思っただけです。マダレはライのスピードには勝てないから、いっぱいはいではあるんですけどね。それでもなるべく離れないように、しかも手下ではないような立場でいようという、マダレのせこい考えが見え隠れした方が面白いんじゃないかなって。

そんなことが楽しみ

——パンフレットの中で「短いシーンにどれだけ感情の起伏を入れられるか、という楽しさを発見をした」と書かれていましたが、そういうシーンは実際にありましたか？

はい、やってますよ。例えば、ツナ達一行がライに剣を突き刺すシーンで、マダレはキンタに「刺せ！」って言うんですよ。で、キンタは剣を捜す芝居をしていて、それを見てツナが「私が！」って言うんです。その時に、僕はキンタの目の前に剣を置いているんですけど、それでもキンタは動かないで欲しい。つまり、ライにとどめを刺せないキンタっていうのがいて欲しいんですよ。今は芝居の流れ上、ちょっとスピードアップしているんですけど、本当ならもう少し長いところがあるんですけど、キンタが動かないということをお客さんが認識して、それを見てツナが「私が！」って言う流れになればいいと思っています。私よね。

——おおう。それは深い!! 確かにキンタは心のどこかでライを憎みきれない部分を持っている気がします。そうですね。そうですね。その後ライが逃げていく姿

古田新太



ふるたあらた○65年生まれ、兵庫県出身。大阪芸大在学中の84年に劇団☆新感線に参加し、以降看板俳優として活躍。話題作への客演も多い中、TV、ラジオなどでも精力的に活動し多忙な日々を送る。

次回予定○「蔵原俊枝」5/8〜31○Bunkamuraシアターコクーン ○劇団☆新感線2007年夏休みチャリティ公演「大頭家の一族の陰謀」7月○イオン化粧品シアターBRAVA! 8月○サンシャイン劇場 ○映画「サイドカー」に大107年公開予定 ○TBSラジオ「ふるた」毎週土曜深夜1:00〜2:00

俯瞰から見る森

ラジオウという暗黒街に君臨する裏社会のボス・マダレを演じた古田新太。

派手なスポットがあたり、息をのむような濃厚なシーンが続く最中、

古田はまた別の視点から物語を盛り上げていたようだ。

を、ツナとキンタは追わないじゃないですか。とどめを刺しに行けるのに、行かない。でも、僕の中では、マダレだけはとどめを刺さうと思っただけ。という解釈をしていて、本当は転んだままでもい

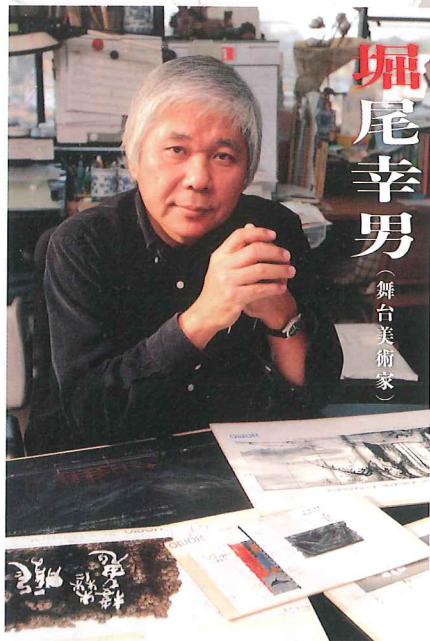
——なるほど! そういった事はあのうえさんではなく古田さんご自身が役作りをされているんですか？

——僕も気が付きませんでした。そういうシーンが沢山あるのは面白いですね。単に僕らが面白いただけなんですけど(笑)。これはやっける側の楽しみであって、お客さんにはそれぞれ別解釈する楽しみがありますね。



水と闇市とボツシュ

新感線ならではのアクションとスペクタクルをより効果的に見せるには、優れた舞台美術が欠かせない。
大滝での戦いを中心に、森の幽玄や人の棲む街の猥雑、また宮廷の格調高さを、次々に展開したこの舞台。
美術家は人気公演で次々に新しい世界を見せてくれる堀尾幸男。



堀尾幸男 (舞台美術家)

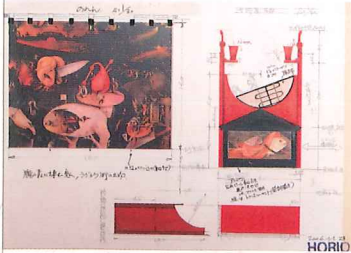
ほりおゆき男○舞台美術家。武蔵野美術大、西ベルリン国立芸術大学で舞台美術を学ぶ。82年以降、二期会オペラや演劇を中心に活躍。96年、99年に読売演劇大賞最優秀スタッフ賞、99年に紀伊國屋演劇賞を受賞。最近作はNODA・MAP「ロープ」、新感線の「メタル マクベス」など。

次回予定○横浜ポートシアター「火山の王宮」3/16～18○シアターX、3/21～24○横浜赤レンガ倉庫1号館○展示会「舞台美術市場」4/4～15○世田谷パブリックシアター○「コンフィダント・絆」4/7～5/6○PARCO劇場

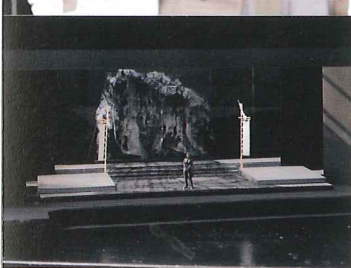
今回の最大の見せ場は、一番最後の大滝の立ち回りで。その場面を前提に舞台美術のプランはスタートします。まず滝の水を流す、前に流す、ということとで傾斜のある、八百屋舞台にする。あとはそれを使って別の場面を見せるにはどうしたいかがですね。水は何度も手がけていますが、新橋演舞場は市川猿之助さんの公演などで水に慣れているので、安心して。今回、水の流し方を3つに分けてあります。滝の下はそこだけで、また床は床だけで回ります。全部つながっていると1カ所トラップたら全部ダメになりますから。



紗幕のもとになった伊藤草白の絵。



ラジョウの背景に使ったボツシュの絵。



装置のミニチュア模型。



また水は重いんです。1メートルの長さだと1トンになります。劇場は300キロくらいしかOKしてくれない。では重さを自分の1にするためにどうしたらいいか、どこに逃がせばいいか、そういう問題は技術、つまり大道具の会社が考えてくれたり、アドバイスしてくれたりします。

水を流すだけでなく、そこで動くのが芝居ですから、今回も稽古場とは別に倉庫を借りて同じ装置を作り、本番と同じ条件でテストしました。とにかく役者さんが滑らないで戦えるように、川の中にある台を、最初は木目を細かく並べて、これなら大丈夫と

私の考えるアジアの色

洗練されているのどこか懐かしい、古典の重みがあるのに自由に崩されている。そんな複雑な魅力を持つ衣裳のデザイナー小峰リリー。今回もまさに彼女ならではの技術とセンスを駆使して、「臘」の登場人物たちを彩ってくれた。



小峰リリー (衣裳デザイナー)

こみねりー○東京都出身。衣裳デザイナー。ロイヤルシェイクスピア・カンパニーの衣裳部で3年間、NYの衣裳制作会社で1年間学ぶ。以後フリーに。89年グループ色を設立。映画、舞台、コンサートなどさまざまな場で活躍中。いのうえ演出とは「天保十二年のシェイクスピア」[アオドロ]「吉原御免状」と付き合い、今回は4本目。最近作は徳川幸雄演出の「コリオリナス」。

次回予定○「ジキル&ハイド」4/5～29○日生劇場

のキヤラから来ているんです。ちうと脳天気な色でしよう笑。
染五郎さんのライは、青くらい着ています。衣裳の見え方や着こなしは大事ですが、染五郎さんは鏡の前でよく研究して綺麗に着まね。それにどんな重い衣裳でも言も重いつ言わないんです。
ライは出世によってどんどん衣裳もよくなっています。素材も表現の材料で、最後に殺されるころでは王様になつてますから、上着も正絹で、軽いけど生地代が高いんです。でもシルクは素材に品があるのでやっぱりいいですね。

最後のシーンの赤いコートの、赤は、実は京都に赤しか染めない染屋さんがあって、そこに頼んで染めてもらんですが、すいすいですが、日本つて、白から、何回も赤に染めていくんですが、そうすると色が深くなるそうです。私は好きな赤というのがある、それは黒から染めて赤にするのですが、普通に見るとどういふことな色なんですか。でも照明に出るとすごく深い赤になるんです。

衣裳は予算に基づいて、どこにお金をかけたらいのかを考えます。表に見えているのは正絹でも裏は化繊とか、上着は汚れにくいから正絹でスボンには化繊にしてしまうとか、新感線は「天保」のときき初めて衣裳を作ったんですけど、本物の正絹で作ったと動きが激しいから切れちゃって、汗もすいし色が変わってしまいました。その経験でいろいろ研究するようになったんです。袖にもマチを入れてアクションしやすくなるとか、新感線仕様のウハウハがあります。

私はいつも、着た人が動いたときのことを頭においてデザインします。動いて素敵に見えるのがいい衣裳ですから、それに衣裳によって表現が大きくなる事もあるのだと思います。時には稽古場で、こういう動きと綺麗に見せられまよと演出のかたに情報をインプットしたり、衣裳も演じる人も最大限よく見える形を私なりに考えています。

経験とアイデアで、いつも新しい仕事に取り組んでいくのですが、スタイルや色は、毎回違うのを作りたいと思っています。そういう意味では新感線のいのうえさんとの仕事は楽しいですね。基本ささわりあえは、あとは自由に作ってもらえるので、とくに場所や時代が限定されないのも遊んでいくのは私得意なんです。



ライの衣裳、上はゴムで、紫のストレッチの入って動きやすいサテンのスカート状オリエンタルパンツ。



ライの衣裳、黄色の上着は正絹。



ライの衣裳、中の甲冑はインディ高橋が製作。



主方向から見せませす
臘の森に棲む鬼大特集!



激しい立ち回りは、知的計算の産物

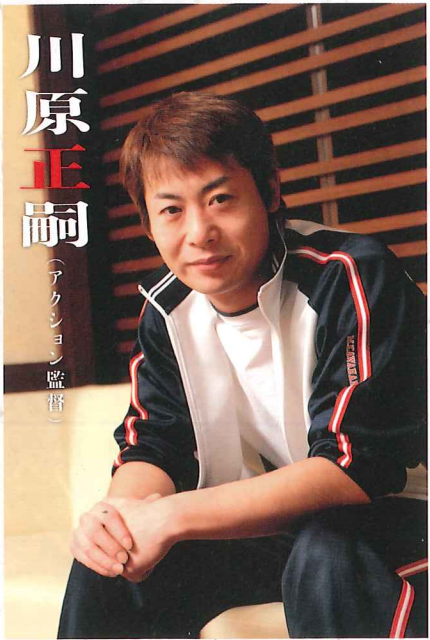
アクション監督のネーミングは、ただ振り付けの人というだけではなく、演出の領域まで踏み込むそのこだわりから、激しい立ち回りからは窺い知れぬ、知的な振付けの構造は、俳優やスタッフとの丁寧なコンタクトと、自身も俳優として出演している経験からでもある。キヤラクターショーや戦隊ものをやっていた川原正嗣が、劇団☆新感線の公演に参加するようになり、そして歌舞伎の様式と出会う。低通するなにかが表現の垣根を越えて出会う妙がそこにはあった。

今回の舞台は水を使ったり、段差があったりで、腰、膝、足などに負担がかかるし、滑ったりすることも心配ですね。私のなだにはアクション監督として、い立ち回りをつくることはもちろんですが、「石橋をたたいて渡らず」という考えがあつてこの段差であの足運びはあふないと思つたら、全部排除していきます。そのうえで、どう迫力のあるアクションができるかを考えています。この舞台では、まず、随所でカッコいい染五郎さんを見ていただきたくですね。いままで染五郎さんがやってきた新感線の舞台つて、止まるときの所作のカッコよさであつた、その延長上の立ち回りが多かったんですけど、今回は強い役ではないので、剣に操られることによって剣の達人になっているだけなので、その見せ方は染五郎さんともすいぶん話し合い工夫をしつくつていきます。

阿部さんのキンタも見どころでしたね、座頭市のように、いのうえさんがそれを逆手にとっての区別目が見えている時と、見えなくなつてから）をしてほしい、ということをつくったんですけど、最初腕力だけで振り回していたキンタが目が見えなくなるここによつてもピンポイントで攻撃しをければいけないという形がうまくできましたし、阿部さんの頑張りがありました。

劇団☆新感線は前から、殴られたりしたときの、あのバシッパシッとか独特の効果音がありました、わかれわれが携わつて、特にアクション監督という役割を与えてもらつてからは、音質だったりとか、そういう無理を言つてます。音効の大本さんはプロフェッショナルな方で、どんな新しい音源をつくつて聞かせられるんですけど、殴る音を足して欲しいとか、今回だとライ役染五郎さんが、オボロの剣に操られるときに「ぐおん」という効果音を入れて、操られているというイメージがより効果的に見えるようにしています。もちろん照明の原田さんとも、何度も話し合つてより効果的にみえるアクションにしています。

おさしさんです、今回アラドウという役で、役者として出演させてもらつて、前々から戦わな役がやりたつて冗談で言っていたんですが、念願かなつて、すごく楽しくやらせてもらっています。これは、同じ側にもいるということで、振付けをするときに、役者さんがあがあるほど」と思ってくれるメリットもあります。



川原正嗣 (アクション監督)

かわはらまさつぐ○69年生まれ。アクション監督、俳優。アクションクラブ所属。時代殺陣、中国拳法、マッシュアルーツ、スタントと何でもこなすオールラウンドプレーヤー。アクション監督としては劇団☆新感線作品のほか「ラストショー」「ダブリンの鐘つきカピタン」「Cat in the Red Boots」など多数。

次回予定○劇団☆新感線「大頭家の一族の陰謀」7月○大阪・シアターBRAVA!、8月○東京・サンシャイン劇場



インディ高橋の

Patchy 小道具研究所

第26回 | 『朧な甲冑 & 烏帽子祭と私』

↑タイトルシフトに入れないと私



雨がざばーとか滝がどどーとか、ぶっさーつ、血のりがどっばーつ、とかの関係上、同じものが2個必要(2ステージの日もある)だったので、甲冑の数が全部で59個。そして、いつも通り、もりだくさんな小道具。

甲冑と小道具の同時進行ははっきりいって危ない。寿命を縮めます。まじで。あんまり真似しないほうがよいでしょう。ちなみにその頃の月刊目標は「**死なないように生きる**(働く)」だったような。さらにちなみにコノ原稿を書いている、現在の月刊目標は「**大丈夫なのかしら、私。……きつと大丈夫っ**」2月は3日すくないので要注意。

それはさておきちなみに、ざっくりと甲冑の作り方はと、いいますと、私の場合、まず、出したい上半身の形をサンベルカで一発こきえて、これをもとに、型紙をおこましてですね、ベースとなる形を作りまして一人一人、合わせて微調整をします。腰のラインとかは美しいプロポーションと動きやすさを考え、少々ハイウエストな感じでいきます。で、腰だれは長さや大きさは位の高い人は長いとか自分ルールに基づき何パターンか作ります。あと、動きによっても違ってきます。で、スプレーボンド等で合皮はって、ミシンで縫うわけです。

ついた血のりをふきとるために合皮を使用。動き重視なので部分的にアイルレットを打ってゴムでつないであります。ゴムの結び目は手縫いで殺して(とめて)ます。これ大事です。殺しとかないとゴムがほどけて、みっともないコトになります。動いている間にだんだん、裸んぼになります。あと、早替え対応というコトでカッチン(プラスチックパーツ)には大変お世話になっております。あとファスナーも。と、まあざっくりとですがこんな感じです。詳しく知りたい方は手伝いにきてみて下さい。

さて、**甲冑**とくれば**兜**。まあ、ヘルメット。メットです。少し大きめに作ってウレタン等で詰め物をして微調整をします。固定用のベルト(人によってはゴム)はそれぞれ合わせます。脱着はやはり、カッチン。

で、**烏帽子**。烏帽子もそう、少し大きめにこさえて詰め物したり、サイズを縮めたり。デザインのしは和物でもなく、中華でもなく、和と中華のまぜまぜといいますが、どこの国が解んない感じ、大陸系とでも言いますが、そんな感じです。確か、いのうえさん、そう言ってたと思います。

●**烏帽子祭**●
「偉くなってからのライの烏帽子」**U**
スチール用は長ーい羽がついておりましたが、本

番では牢屋の低いドアから入ってきますし、殺陣もあるのでこのような感じです。
「ツナのミニ烏帽子」**U**
宮中内は烏帽子(烏帽子風)をつけるというルールのもと、髪型に似合うものということでこんなでました。ちなみにウラベ、サダミツもミニ烏帽子です。

「ショウゲンの烏帽子」**U**
検非違使カラーのブラック&レッドでセめてみました。デザインもブラック&レッドでございます。

烏帽子はかつらの上に取り付けることが多いので、取り付け方法等は床山さんやヘアメイクさんと色々、作戦会議を行います。

●**甲冑祭**●
「ライの一番偉くなった時」(通称金エイアン)**U**
血のりがぶしゅーなので2個あります。

「ライのラスト」(通称ボロエイアン)**U****U****U**
滝でどどーつなので2個あります。ちなみに金エイアンを4個つくって2個ボロにししました。肩に刺さってる矢は倒れてもあたって大丈夫。柔らかい矢です。

「ライのだいぶえらくなった時」(通称黒エイアン)**U****U**
肩パーツの模様がブリ〇ゲルスにも見えますね。

「ヤスマサ」(通称赤エイアン)
しだれの模様は私なりのカラス。**U**
2幕頭でライも同じものを着てます。**K**
ライの手甲は早替えの為マジックテープ使用になっております。**U**

「検非違使」**U**
赤でステッチを入れています。これ好きなんです私。

「マダレの部下」
チームマダレの皆さんは銀を三角形に打つのが私ルール。**N**
マダレの肩パーツもほら。**U**

と、いうわけで「朧な甲冑&烏帽子祭と私」終了。

演出部を初め各セクションの皆様、そして小道具部隊の皆様のおかげで私、**今も生きております**。有り難うございます。

「研究結果」
毎日、16時間以上働く家庭に居場所がなくなります。なかなか家庭内のシフトに入れてもらえません。なので4月の月刊目標は「**さりげなく家庭内シフトに入る**」にしてみます。

それでは次回
「これは、はたして小道具なのか?と私」でお会いしましょう。たぶん。

いんていかはし〇68年生まれ、大阪府出身。大阪芸大在学中より劇団☆新感線に参加、現在は役者兼小道具チーフとして様々な物を生み出し続ける「現代の匠」。

次回予定〇劇団☆新感線「犬顔家の一族の陰謀」7月
〇イオン化粧品シアターBRAVA!、8月〇サンシャイン劇場



本日のPatchyと私



●Patchy商品取扱店●
PUTUMAYO ラフォーレ原宿BF1.5
PUTUMAYO 原宿路面店
VISIBLE 大阪市中央区
西心斎橋2-8-33
アメ村スクエア-2F

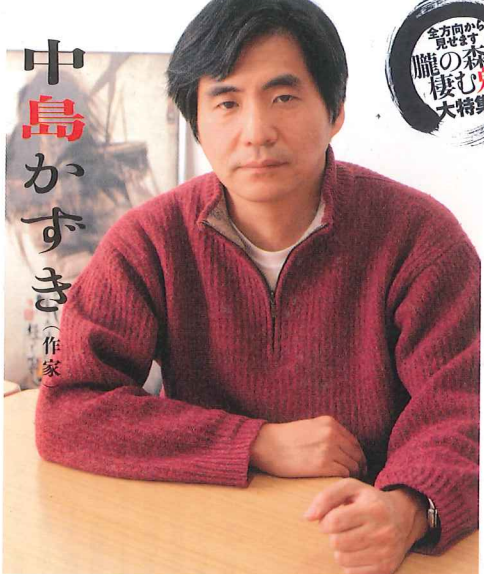
修飾語の多い台詞を書く気持ちよさ

世界の暗部を切り裂く言葉の刃は鋭い。『朧の森』で、物語作家・中島かずきは、その並々ならぬ才能を改めて見せつけてくれた。

いのうえさんのリクエストで「リチャード三世」をモチーフにしたのですが、シエクスピア作品に抵抗はなかったのですか?
それはなかったんです。彼が「天保十二年のシエクスピア」の佐渡の三世次を好きでやっていたのは知ってましたから。いちは抵抗があつたのは新橋演舞場の1月公演といふことですね。まあ、重い話ですが最後は静謐なものが出ればいいな。
小気味いいくらい、良心とか優しさがいい主人公がいいですね。
悩むキヲより悩まないほうがカッコいい、方向性は初めから決めてました。マクベスとか「ハムレット」は何が不満かという悩む小人だから。マクベスが悩まされる亡霊すらも高笑してしまおう自己肯定的、反省はしないというのが、そもそも新感線ですから(笑)。
セリフがまたカッコいい。
今回、修飾的な長いセンテンスのセリフでいってみたいと思っただけです。修飾語が多くて染さんも「勘弁して」「みたんだんですが今までがまんしてたような長いセリフを、ズラズラと連ねて、相手を酔わせていくというのができたのは気持ちよかった。戯作者は人をだますのが商売ですから(笑)。
この舞台の背景は具体的にはどこかをイメージしてないです。

僕は実はヨーロッパを考えたんです。染五郎さんがやることでちやうど混じっていいかなと。作品世界は日本なんだけどヨーロッパ的な「マクベス」やってみようかなと。それがいのうえ演出によっていろんなイメージが混在化することになったんです。
背景と場所は抽象的ですが出てくる人間関係はリアルで、かえって言葉が立つてる感じがしました。
確かに、言葉が生きて、言葉が人間を動かしていくみたいなものがよく見える舞台になったと思います。役者さんたちももうまい人はかりだし。とくに最後の場面でライと立ち回りをすることになる秋山さんと、古田と阿部ちゃんはその関係性がとても深く面白いと思います。
ライという人は愛せないけど引きずられますね。染さんが「アオドロ」で沙霧をいじめてるのがすごく似合ってたから。秋山さんを牢屋でいたぶるときなんか、色気があるし徹底してるでしょう。あそこまで言いたくないと古田のマダレが裏切れない、妹だて言えない。追いつめられれば人間は本当の自分になれるし戦えない。それはまあいつもの新感線なんですけどね。
シエクスピアを元にした、いつもの中島さんの世界観がそこにはあるんです。
シエクスピアは面白くて古典で、あの時代だからこそ成り立ち、理不尽な話も多。でも僕は今の僕らのリアリティを大事にした。シエクスピアの構造を使いつつ解釈を変えることができれば、よりコアな部分や人間関係の面白い部分を、取りこんでしまえると思うんです。翻訳家の松岡和子さんは「シエイクスピアの内面化」がきけると言っていたんだと思ってます。
シエイクスピアを呑み込んで、人間ドラマを書く作家として、第三章に新たな踏み出した中島かずきというところですね。
やはり「メタル マクベス」があったとは大きかったですね。宮藤官九郎くんが、外部作家であれだけ新感線のよさを出した。じゃあ、座付きの自分だけ新で出来るだろうと、そういふフッシャーを突き付けられたから。これからますますいいのうえが書かなくちゃって、僕1人だけというわけにはいかない。もっとと他の作家、いのうえのコーポレーションが始まると思いますよ。

中島かずき (作家)



ていたのですか?

僕は実はヨーロッパを考えたんです。染五郎さんがやることでちやうど混じっていいかなと。作品世界は日本なんだけどヨーロッパ的な「マクベス」やってみようかなと。それがいのうえ演出によっていろんなイメージが混在化することになったんです。
背景と場所は抽象的ですが出てくる人間関係はリアルで、かえって言葉が立つてる感じがしました。

シエイクスピアを呑み込んで

凝った美術に派手な立ち回り、いや何より見せ場は、悪者のカッコいい死にぎまどう。昨年の『メタル マクベス』に続いて、センサー・シヨナルなシエイクスピア舞台を作りあげ、今や堂々のシエイクスピア演出家と呼ぶにふさわしい、この人。

「吉原御免状から、いのうえ歌舞伎」の第二章なんです。あの作品に比べてファンタジー性が強いような。

作家が中島かずきさんで、その差ですね。もともとフアンタジーをやらないうちはなくて、見せ場を先におくがドラマを先に置くかの違いです。昔はずっと見せ場中心だった。客いじりあり、歌あり、ここにライが入るといふよ。まずドラマありきというのを強く意識してるのが、いのうえ歌舞伎第二章なんです。

「ヒロ」が極悪ですが、ここまで徹底した悪を描きたくなかった内面的変化というのは?

普通のヒロにリアリティを感じなくなった、あり得ないとか。ヒロとして葛藤がないと。今までやってきた女好きでいざとなると強くなるみたいな、そういうのは今はいいかなと、もちろん悪人だけが内的葛藤があるわけじゃないですが、今回はたまたま悪人を描きたかった。

社会的にいえる、のくらの悪もリアリティある時代ですね。

客観的な状況ではね。意識したわけではないので、野田秀樹さんじゃないけど、時代との偶然のシンクロでしよ。シエイクスピアが急に好きになったとかではないから、どこのリチャード三世に惹かれる要素があるんでしょう。まあ、どうせやるなら欲望に前向きな人がいいから。

演出の根っこに日本ものナアルファがあつたのはなぜでしょう?

はつきり日本ものに限定してしまふワンのつきようがない。時代にははられるし自分自身にもはられる。日本らしきものが舞台だけ、普通のものにした。サムライが出てくればいいの。いつの時代かわからないアジアのどこかというくらい、漠然としたイメージのほうがファンタジーになりやすい。
想像力が広がりますね。あと見せ場ですが、滝での死の方がカッコいい。

映画の「蜘蛛巣城」の死に方を滝で見せたいと思っただけです。そこにいるよわからないうちの契約があつて、そのあと成り上がって、最後にあそこに戻って死ぬという構想はあった。それから死に方も新感線はお祭りみたいなものだから、血潮も使った水使って、エディンバラはだわりますよ。
染さんありきの舞台でもありますね。
着物を着てきまる、普通に手をふところに入れて

きまる。花道に普通にいれる。そういうのが血というかな、楽屋に棲んでる人たさよ。
中島さんの本の面白さは、やはり「メタル マクベス」効果でしょうね。
明らかに作風が違いましたし、キャラクター造形に深みが出て、またいまだ面白くなった。
このいのうえ歌舞伎第二章ではこれからは人間を描く方向が強くなりませんか?
人間を描くことに意識的になるでしょうね。今までのとりあえずキャラが立つていけばいいみたいなことではなく、そこより深いつらに持っていきたい。見せ場主義で、ロールプレイングゲームだったと思うんです。ここがこい裏切って、ここどういうのを発見してとか、そういうのではなく、裏切の内実とか葛藤とか、そういうところが描かれるというのが大きいんじゃないかな。

新感線がそのワザを持ったからこそ、今回シエイクスピアを下敷きにできたのは?

シエイクスピアを借りて、そこにいろんなものを持ち込んだのが「メタル マクベス」だったから、今回はこちらのスタイルにシエイクスピアを呑み込んだということでしょうね。

このシリーズは今後続きますか?

シエイクスピアをやるかは別に、いいときに染ちゃんやりました。染ちゃんってこういうのをやりたいというのが先にあって、そついで健全な形でね。

いのうえひでのり (演出家)



いのうえひでのり〇福岡県出身。劇団☆新感線主筆、作家、演出家。80年に大阪芸大在学中に劇団を旗揚げ。奇抜なアイデアとハードロック魂、活劇にこだわり、独自の世界を構築している。ネタものといのうえ歌舞伎に加えて、最近ミュージカル界にも進出している。

次回予定〇the who's 「TOMMY」3/12〜31〇日生劇場、4/20〜26〇梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ



作・演出○ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演○峯村エ 大倉孝二 / みのすけ 松永玲子 長田奈麻 新谷真弓 / 安澤千草 廣川三泰 藤田秀世 喜安浩平 大山鏡則 吉増裕士 杉山薫 植木夏十 皆戸麻衣 柚木幹斗 佐藤賢 / 志賀廣太郎 原金太郎 坂田聡 池谷のぶえ 加藤啓 / 立石涼子
06/12/9~24◎世田谷パブリックシアター

かつては裕福だったが、今は没落してしまい家族間にも冷たい空気が流れている廻(めぐり)家は、格安家賃の古アパートに引っ越したその日に、大家夫妻から立ち退きを懇願される。大家夫妻が言うには、実はこの浴槽はタイムマシンになっていて、湯加減で行きたい時代を調節することが出来るのだとか。そうとも知らず風呂に入ろうとした父親・廻時雄(佐藤賢)は、17歳の自分が不自由なく暮らしている1964年にタイムスリップしてしまう……。

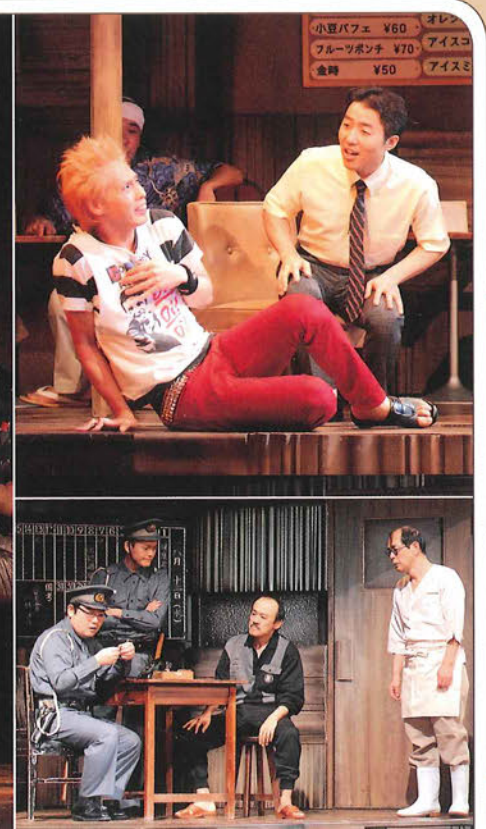
NYLON 100℃ 29th SESSION

ナイス・エイジ

Welcome to

NICE AGE !!

劇団関係者から「ナイロン100℃の入門編的作品」という意見を多く聞いたタイムスリップコメディの大作『ナイス・エイジ』。ポップでナンセンスなテイストは明らかにナイロン色。だが、そのストレートな物語は観客全員を乗せてひた走る巨大トロッコのような力強さがある。箱船ならぬ「湯船」に揺られ、この一家の、そして人類の行く末は!?





佐藤誓

さとうちかう○62年生まれ、岩手県出身。88年の『怪獣身毒丸』より劇団・花組芝居に参加し、『ザ・隅田川』『いるは四谷怪談』等、多くの公演に出演。00年に同劇団を退団し、現在では舞台出演を中心にTVドラマや映画等で活躍している。

次回予定○日中共同プロジェクト公演「下町村〜花に嵐のたえもあるさ〜」5/15〜20○新国立劇場 小劇場 映画「アンフェア the movie」3/17公開

大倉孝二

おおくらこうじ○74年生まれ、東京都出身。舞台芸術学院を卒業後、95年にナイン100℃のオーディションに合格。以降、同劇団の看板俳優として活躍するほか、外部公演への出演やバラエティ番組へレギュラー出演するなど、活躍の場を広げている。

次回予定○「橋を渡ったら泣け」3/5〜29○Bunkamuraシアターコクーン ○映画「ユメノ夜〜第六夜〜」公開中 ○TV「ココロミラクルライブ」毎週水曜22:26〜22:54 O.A.中

『ナイス・エイジ』の隙間から

劇中で「冷え切った家族」を演じていたが、このインタビュー中に「実はあの家族、仲が良くんですよ!」と語った父親役・佐藤誓と息子役・大倉孝二。確かにそう言われると、お互いに悪態をついてはいるものの、本当は仲の良い家族にも思えてくる。今回は、作品の隙間から垣間見える、その景色の奥の方を家政婦ばりに覗いちゃいました。

劇団員の仲が良い(笑)

——佐藤さんはナイン100℃にずっと出たかったとおっしゃっていたそうですが、今回、実際に参加して初めて気がついたことはありますか？
佐藤 色々ありますね。まず演出に関して言えば、もつとテクニカルで細かい部分がメインなのかと思っていましたが、実際は「きちっと内面から芝居をしましょ」という感じだったので、その辺が予想とは違っていましたね。後は……劇団員の仲が良い(笑)。もつと、クールなイメージがあったんですけど、変にベタベタし過ぎない程度に仲が良いんだって。
——大倉さんは劇団員としていかがですか？
大倉 うーん……仲は良いのかな……。わかんないです。
佐藤 外から見ているのと同じなのではやっぱり違う？
大倉 変わりましたよね。昔と比べると。やっぱり若い頃は、相手に対して多少強気になるじゃないですか。今はみんな人間的に少し大人になって、あからさまにそういう悪い雰囲気にならなくなったってことなんじゃないかな(笑)。折衷したというか。
佐藤 昔はひどかったんだ？(笑)
大倉 特にそういう訳でもないんですけど(笑)。でも、昔は年に何本も公演やって、一年中一緒にいた訳です。
佐藤 今は皆さんナイン以外の芝居に出ているから。
大倉 そうそう、たまに会うくらいなんですよ(笑)。芝居にしても普段の関係にしても、少し余裕が出来たのかもしれないけど……。みんなちょっと優しくなりましたね。
佐藤 あんまり飲みに行ったりしないのかなと思ったら、飲みに行く人も結構多くて。
大倉 寂しい人間が多いですから(笑)。

ホントに馬鹿になって欲しいと言われて

——大倉さんは初演と同じ配役でしたが、同じ役を演じるというのは難しいものではないでしょうか？
大倉 難しいというか、嫌ですね。「1回やった役はもういいんじゃないかな?」って僕は思ったんですけど、でも、KERAさんにしろ役者にしろ、初演の時はどろどろ面白くてどろどろいのかと、そういうことがいまちがらないままやってた部分もありました。それに対して、再演の方がこういう所が良かったから、というのを分かってやっていて、いいことだと思います。KERAさんもそういう演出でしたよね。その良さをひとつひとつはつぎりさせるという感じで。

佐藤 再演から入る立場からすると、初演の方が良かったと言われるのはちょっと嫌だと思います。なんかそれは、すごく細かい所なので、他の人が観て気が付くかどうかは分かりませんが、そういう感覚がたぶんありません。
——なるほど。インタビューは以上です。どうもありがとうございました。
大倉 やつぱり、前回がすごく良かったか?というところ、そんなに良かったとは思っていないんです。僕は。今回は、前回では出来なかったことが出来た。なんかそれは、すごく細かい所なので、他の人が観て気が付くかどうかは分かりませんが、そういう感覚がたぶんありません。

ちゃうんですよ。だから、火がつくのがいつもよりちょっと遅かったと思います。「ああ」なんて思いながら。
佐藤 そうなんだ(笑)。

大倉 初演時の稽古場では、その日その日に台詞が出来てきて「こんなことになっていくんだ!」「とか「こんな奴だったんだ!」とか、すっごくいい様に言ったらワクワク感があつたんですよ。でも、今回はすでに分かっちゃってる役があつた上で、これと同じ風にやるのもつまらないし、かといってどうやって変えたいんだろ?という感じがして。
——エンディングが良かったってありましたか？
大倉 KERAさんに「6年前はそのままでいい。でも大倉は時次(ときつぐ)・大倉さんが演じた役名」だった。まだ若かったし、いい加減で馬鹿だった。あの頃に比べたら今は随分大人になっているから、それだけに意識してくれ!って言われたんですよ。とにかく、馬鹿っぽくやってる風じゃなくて、ホントに馬鹿になつて欲しい。そこから、馬鹿になることをいって稽古場で、すごい適当なことばかりやってたら、それが結構楽しくなってきた(笑)。

佐藤 そういうのは最近こないの？
大倉 あんまりなかったんですけど、ナインにおいては。
——小学生役もやられてますね。
大倉 昔はあんな役ばかりだったんですよ。だからすごいね、懐かしくなつた。僕だけじゃなくて、昔の劇団の人達もあんな僕をすごく懐かしがってくれて。
佐藤 新台とか舞台上でお客さんになって笑ってたね。
大倉 楽しかったですよ。でも、あのシーンを一所懸命やっていた元々良くなつた腰の調子が余計におかしくなつて。日々腰をひどくしていましたね(笑)。

その良さをひとつひとつはつぎりさせるという感じ

——今回の『ナイス・エイジ』では、初演(00年)時より、作品の持っている面白さが更にくつきり出たという印象を受けました。
大倉 初演とか再演とかがついでなのは、実はやってみると意識してないんですよ。

佐藤 ……なんか真面目な話ばかりになっちゃったね。
大倉 もつと色々な話をすればよかった。原金(原金太郎)さんが本番中にシャワーを浴びていた話とか。
佐藤 そうそう、出番の合間にシャワーを浴びて(笑)。
大倉 その後ベッドに入るシーンがあるから、その為に浴びていたんだって言うんだけど、あれは完全に自分が気持ちよく帰るために浴びてましたよね。

佐藤 しかも最初はシャワーなんか浴びてないって嘘ついて。
大倉 何に驚いたかって、50過ぎた大人がそんなちっちゃなことまで嘘をついたという事実にびっくりしました(笑)。
佐藤 もつとこういう話をすれば良かったねえ(笑)。
大倉 あと、加藤啓がいかにもダメな男かって話を……。
——(笑)。



至急 劇団員募集



子どもたちに夢を!!

北海道から沖縄まで全国綿毛の旅

応募資格／18歳以上健康な人
選考基準／面接重視
応募方法／電話お待ちします
待遇／完全給与制
社保、寮完備
経験者優遇

劇団創立 61 周年

文部科学省許可

社団法人教育演劇研究協会

劇団 たんぽぽ

〒435-0015

静岡県浜松市子安町323-3

TEL 053-461-5395

FAX 053-461-6378



Fabrica 10.0.1 本広克行・演出

【10年間】という時間の流れの中を生きてきた人間の姿を、【映画】というファクターを通して様々な形に切り取る。その無数の人生の断片はそれぞれ自立しながら、どこかで繋がっていく。俳優を50音順に紹介すること。舞台、DVD、映画……媒体を増殖させていくこと。それらは大きくも小さくもなく。表も裏もなく。等しく世界の断片に過ぎない、と作品は物語るかのようで……。



大学で自主映画をつくっていた仲間たちが10年後に再会。それぞれの生活はだいぶ変化していた。そんな自分たちの過去から現在までの姿をドキュメンタリー映画に収めようと考えて……。

演出◇本広克行 作◇高井浩子 出演◇石原康也 瓜生和成 川田希 富岡晃一郎 永野宗典 野口かおる 原田裕子 弘中麻紀 古山善太郎 ムロンヨシ 吉本菜穂子 渡辺裕樹 1/20〜28◎赤坂RED/THEATER

高井浩子

たかいひろこ○女優として宮沢章夫プロデュース公演などに参加、青年団を経て、95年東京タンパリンを旗揚げ。劇作家、演出家として活躍。外部公演でも活躍する。数々の人間関係の描写には定評がある。

次回予定◇東京タンパリンenfans「彼岸花」西荻カフェカノン◎3/24〜4/2

本広克行

もとひろかつゆき○映画監督。制作会社のディレクターとして参加したドラマ「踊る大捜査線」シリーズは人気となり、映画化、スピンオフ企画など次々話題を呼ぶ。96年以降映画を撮り始め、06年「UDON」で10作品。本格的舞台演出は今回が初めて。

次回予定◇今秋Fabrica続編予定



いろいろな劇団の演出家さんが来ていて、様々な意見を本広さんが取り入れていたこと。
本広 本書を観て来てくれたミダス・イマーズの蓬萊(竜太)君や、グリンクの青木(豪)君なんかは意見をもらって、高井 蓬萊さんを「弟です」と紹介されて、本気にしちゃいました(笑)。
本広 (長塚圭史君なんか意見もくれました。本番中も毎日意見を取り入れて芝居が変化していききました。稽古場でも俳優たちがアイデアを出しあて

日々芝居が作られていく過程は本当に刺激的でした。
高井 私も、いつもと違う客層の方に観て頂いたり、初めての俳優さんに出会えたりおもしろかったです。本広さんがこの企画に飽きないで続けてほしいですね。
本広 舞台、舞台のDVD化、スピンオフの作品制作など、いろいろな作品が繋がっていくのがいいですね。ですが、いつかはこの舞台を映像化してみたいですね。

舞台への挑戦 200612→200702

望月六郎、堤幸彦、塚本晋也、本広克行、行定勲(公演日時順)。

2006年の年末から2007年の2月にかけて5人の映画監督が舞台演出に挑んだ。この同時多発現象は何なのか。舞台と映画の違いはあるのか。そんな区分けは関係ないのか。

そもそも演出とは何か?

そんなことを考えながら個性豊かな全5作を総ざらい。



説明したい、説明しない
本広 高井さんに台本をお願いする時は、30代の群像劇で大学の同級生が10年後に再会するという概要をお伝えして、あとは必ず大きなクライマックスをつけてほしいとお願いしたいんですね。
高井 それで、主要人物の母親の介護問題と死をクライマックスにもつていきました。
本広 連ドラみたいに少しずつ台本が来ていたので、この最後には驚きました。それまで楽しく稽古をしてきたのに、芝居の方向性はこれでよかったのか? っ……。
高井 私は、登場人物が母を殺したのが現実なのか、映画の世界なのかかわからないようにしたかったんですが、本広さんのお葬式まで描いてほしいと仰ったんですね。
本広 お葬式があつて、舞台の奥が開いて外気と共に落ちもの(桜)が降るといふことをやってみたかったですよ。
高井 演劇をよく観ていらつしやるだけに、いろいろな演劇的手法を試してみました。
本広 冒頭は、素舞台でやることを強調するために、少し長めに俳優達に動いてももらったりもしましたリアルなセットのない素舞台上に俳優たちが出てくる抽象的なオープニング。
高井 ラストの演出は本広さんのアイデアですが、基本的には私が台本に書いた書きに忠実にやってくださって、意外にも全体的に(東京)タンパリンに近い世界になっていました。
本広 それは意識してやりました。話の途中で「時間が逆回りになる」というト書きを実現するのは難しかったけど、タンパリンのメンバー瓜生(和成)君が参加していたから、彼の指示でそれらしくできました。
高井 おばさんの会話が「場面が変わるとテレビの音声になっている」というト書きも忠実にやってくれました。
本広 高井さんのト書きは細かくておもしろいです。会話が重なる部分とかも、☆印をつけて「ここが重要な」という指示が台本上にあるんですね。なるべくそのまようと思いましたが、俳優が、高井さんの台詞を二語句変えないで演じることに驚きましたよ。語尾を自分が言いやすいように変えたりやりやすいのと思うところもあるのに笑。
高井 私が「演出をやる時は、書かれた台詞は絶対変えちゃいけないです(笑)」。
本広 稽古でアドリブを入れてみたりもしたけれど、やっぱり台本のままが一番おもしろいんですね。高井さんに稽古を見てもらってアドバイスをもらったりもしましたね。
高井 最初はあまり演出に口を出さないうが、いいのになって思っていました。が、いろいろ聞いてくださったので、メールで何度もやりとりをしました。特に女性の心理描写は話し合いましたね。
本広 例えば、コップの水を浴びせかけたり、なんでそこまで女性同士はするんだ? っということがわからないんですよ。その場合、前の時間の芝居に手を加えることで後のシーンが成立させられたりするんですね。演劇って時間軸をいじれるんだ! っって感動しました。映画は撮ってしまつたものはもう変えられないですから。
高井 女性同士の描写にはモデルになった映画を言ったりもしましたね。『疑惑』の岩下志麻と桃井かおりです、とか(笑)。
本広 女優たちはその説明ですぐ納得して驚きました。あと、おもしろかったのは、僕は映画の世界の人間だから説明しない。冒頭の10年後の描写なんかも、映像だったら「××年」とか絶対入れちゃうんだけど、高井さんは入れなくていいと言っていましたね。
高井 私がおもしろかったのは、稽古場

哀しい予感

塚本晋也・演出



演出○塚本晋也
原作○吉本ばなな
小説『哀しい予感』より
出演○市川実日子 加瀬亮 藤井かほり 他
1/5～21◎本多劇場、
1/26～28◎シアター・ド
ラマシティ

映像的リアルを演劇空間に持ち込む？
親戚の叔母と想っていた女性が実は姉で、実の弟と想っていた青年と恋をするヒロインの真実の自分探しの物語。吉本ばななの原作に惚れ込んで、原作に忠実に誠意をもって作ったという印象を受けた。自宅、叔母の家、軽井沢の山荘、恐山―映像なら口々に済む主人公を取り囲む世界の変化を、まわり舞台を駆使して見せた。失踪した叔母を捜して向かう、家族で最後に出かけた旅行先、恐山の装置までつくった苦勞が偲ばれる。また、姉の散らかった部屋を映像なみにこれでもかと飾り込み、舞台スタッフたちを驚かせたらしい。映像系の俳優たちは、ぼそぼそとリアルな立ち居振る舞いで会話していく。椅子のなげない座り方、ちよとした背中、角度などはカメラのアップでなくては届かないのでは？と思いきや、意外にもささやかな息づかいが伝わってきた。鉛屋法水の音楽が主人公の感じる「哀しい予感」の震えのように聞こえた。
緊張が溶けない静かな三時間の途中、叔母の年下の恋人（奥村知史）が登場すると、他の人物が真実との関係に迷っている中、迷わず叔母を愛しているという真つ直ぐさというちょっと違う空気を発して「瞬コリ」をほぐしてくれた。

フルフォアラブ

行定勲・演出



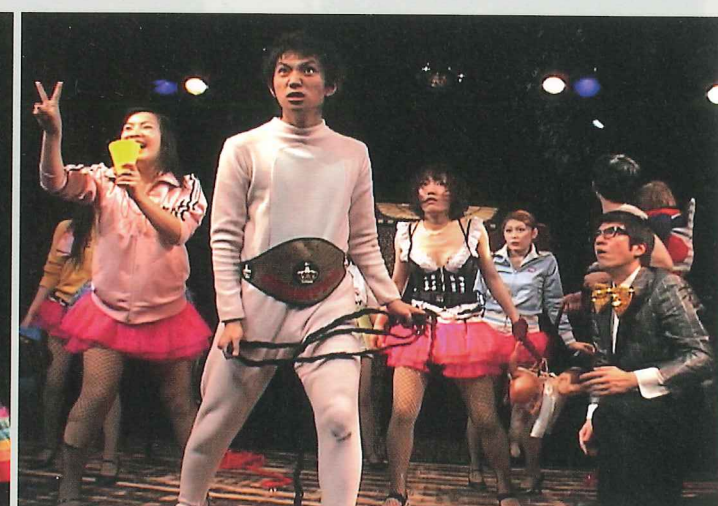
演出○行定勲
作○サム・シェパード
出演○香川照之 寺島しのぶ 甲本雅裕 大谷亮介
2/7～25◎PARCO劇場
映画の脚本や俳優でも活躍するサム・シェパードの80年代の戯曲。

人間の行為を引いた視点でみつめる
異母兄弟で愛し合っていたエディ（香川照之）とメイ（寺島しのぶ）の絡み合っている関係は濃密に描く90分。別れると言ったものの、男が出ていこうとすると叫んで呼び止めるメイ。ボーイフレンド（甲本雅裕）が来るから帰ってと言いがまた呼び止める。モーターの音。部屋の中は真ん中のベッド。奥に窓、上手は外へ通じるドア、下手には洗面所に続くドア。さらに下手には、老人（大谷亮介）の座る椅子。こういったシンプルでセッティングの上にはこの部屋を引きで見た絵が描かれている。広い砂漠の中にボツンと立つ小さな小さなモーターのイメージ画だ。空の色の变化で時間の経過を感じさせる。冒頭、血が下がりそうなのは床ずれに低く頭を下げた異様な恰好でベッドに腰かけている寺島しのぶから、状況の異様さが伝わってくる。時に、ドアの閉まる音を轟音（銃声のような）で響かせ、部屋の外から照らすヘッドライトをフラッシュバックのように強く光らせる演出以外は、俳優同士の生身のぶつかりあいを引いた視点でカメラがみつめているという印象。それはまるで、上部の引きの画のような天からの視点で、人間の愚かなまでの愛をみつめているようだった。

DOGA DOGA+

贗作「人形の家」

望月六郎・演出



作・演出○望月六郎
出演○浦川奈都子 川崎一葉 瀬戸知香 戸田佳世子 村松恭子 他
06/12/27～12/30◎アドリブ小劇場
次回予定○7月には第二回公演予定。出演者のオーディションも予定。
詳細は<http://www.doga2.com/indexpc.html>

踊り子の身体を演劇にという試み
メインキャストはヒップホップ系のダンサーたち。望月六郎は彼女たちを「踊り子」と呼ぶ。「下町の劇場」「踊り子」というキーワードが見せ物小屋的猥褻感を感じさせる。物語も、仕事に疲れた男性が「人形の家」というシニイの店に迷い込み、そこで生き生きと生きる人々に触れあい新たな人生をみつけるというものの、「子供の頃からダンサーを目指して肉体訓練をしてきた女の子たちの身体は魅力がある。ダンスをやりたい道を行って。男性俳優もいわずに後ろで踊っていたという女の子たちが、舞台の前に立つて芝居をしたらどうなるか？ 今までのないユニットにしたい」と望月は語る。10代の時、演劇部に所属していたこともあり、客席通路を現実、舞台を別世界「人形の家」に見立てて使うなど手慣れた処理を行っている。男性俳優もいわずに映画の望月組常連などではなくオーディションで選んだ。人形の家を経営者役で出演した元新宿梁山泊の村松恭子が凄みあるアングラ魂を発して、舞台全体を引き締めた。

Tsutsumizo Teatro

明解・日本語アクセント事変

堤幸彦・演出



演出○堤幸彦
作○佃典彦
出演○野添義弘 半海一晃 岩尾万太郎 多田木亮佑 他
06/12/29～07/1/2◎中目黒ウッディシアター
次回予定○今年も年末年始に公演予定。

脚本、演出、俳優が持ち芸で勝負
「芸術や知的な作品を目指すのではなく、あくまで年末年始のお祭りとしての舞台公演をはじめて5年目。今年は佃典彦に脚本を頼み、同じ脚本家でベテラン、若手二組に分かれて公演を行うなど新趣向を試みた。洋画のアフレコの仕事をしに集まった俳優たちが、台詞のアクセントがもとで、それぞれの出身地を否定し出す。東京至上主義の現在、出自にコンプレックスを抱いている人々がやがて開き直り自分の地域の方で台詞をしゃべりだす。「台本がしゃべりしているからこそ自由に遊べた」と堤。大きくデフォルメしたキャラクターとスピード命のコントの応酬で2時間を駆け抜けた。ベテランは決して外さない！というベテランの貫禄を見せ、若手はなんとか自分のキャラをつくり出そうと悪戦苦闘して、それぞれ熱が舞台に充満、小さな劇場ならではのライブ感が溢れた。転換の間は女性シンガーのブロードウェイふうな歌を挿入するの、ハリウッド映画のアフレコという設定にも重なる、良いアクセントになった。



新宿の漫画喫茶(マンキツ)でバイトをしているフリーターの男子3人は、30歳を過ぎた。そのうちの一人は、同じバイトをしている新卒の女の子と恋愛が始まり、やがて終わる。一方、たびたびマンキツに出没するホームレスの対応などを巡り、彼らと20代のバイトたちとの考え方の差も見え始め……。



作・演出◇岡田利規
出演◇岩本えり 下西啓正 田中寿直 南波典子 松村翔子
村上聡一 山縣太一 山崎ルキノ 山中隆次郎
06/12/7～23◇新国立劇場小劇場 THE LOFT



おかだとしき○73年生まれ、神奈川県出身。97年に「チェルフिट
チュ」を結成し、作・演出家として横浜STスポットを拠点に活動。05年
「三月の5日間」で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。
チェルフिटチュHP:<http://chelfitsch.net>

次回予定◇チェルフィッチュ『三月の5日間』4〜7月◎山口、福岡、高知、ベルギー、パリ◇DVD『三月の5日間』、小説『三月の5日間』『わたしたちに許された特別な時間の終わり』発売中

リアクションの振り幅の大きさ

——舞台が奥にかけてゆるい傾斜になっている、俳優たちが奥に滑って落ちていくように見えるのが面白かったです。

——舞台上にビデオカメラを持ち込み、オンタイムでスクリーンに映像を流していました、どういった狙いがあったのですか？

客席から直接見えないところに漫画喫茶を作れないかなと思っていて、それを美術の伊藤さんがああいいう形(舞台装置の裏に本棚を作った)にしてくれたんです。でもそれをお客さんに見せるには結局カメラで映すしかないのです、その時点でカメラを使うということが決まったという感じがですね。だから、明確なカメラの意味というのがあつてやつたわけじゃないんですけど、実際に作ってみて思うのは、映像を通したときに、かえってある種の生々しさが出るということが起きることがあつて、それを使いたかつたんだろくな。

個人を通して社会を描く

——今回は30代のフリーターの視点から、フランスで起きた学生デモなども絡めつつ、現代社会の労働問題に向き合っていました。

新国立劇場初登場となった岡田利規の「エンジョイ」。若者のしゃべり方そのままの言葉、だらけた動きなど、その独特のスタイルは健在ながら、テーマが明確で、いつもの岡田作品よりもわかりやすい印象を受けた。幅広い観客の様々なリアクションに戸惑いを見せながらも、初めて観る人に「傷を与えたかった」という岡田の試みはどうやら成功したようだ――。

「外」に向けて想いをぶつける

かたんだです。ホームレスを登場させたのもそういう意味です。年長のフリーターの焦燥の先に、自分もホームレスになるかもしれないという思いも、もちろん個人としてはあるんじゃないけど、今回僕がやりたかったのはある個人が焦燥してる話ではなくて、それを通した社会の話なのでホームズを我々がどのように排除してるか、というふたつとも含めてやりたかったんです。

——四幕で構成され、それぞれのエピソードが語られますが、こうした構成は当初から考えておられたのですか？

僕はハナ書きというのをいもしないので、いきあたりばつたりなうそですね。ただ最後はなんか明るく終わらんと。本当は全然明るく終わってないんですけどね。あれば。見た目だけというワルみたいな(笑)。そういう風にしようということ是最初から考えてました。そうじゃないと「エンジョー」じゃない。

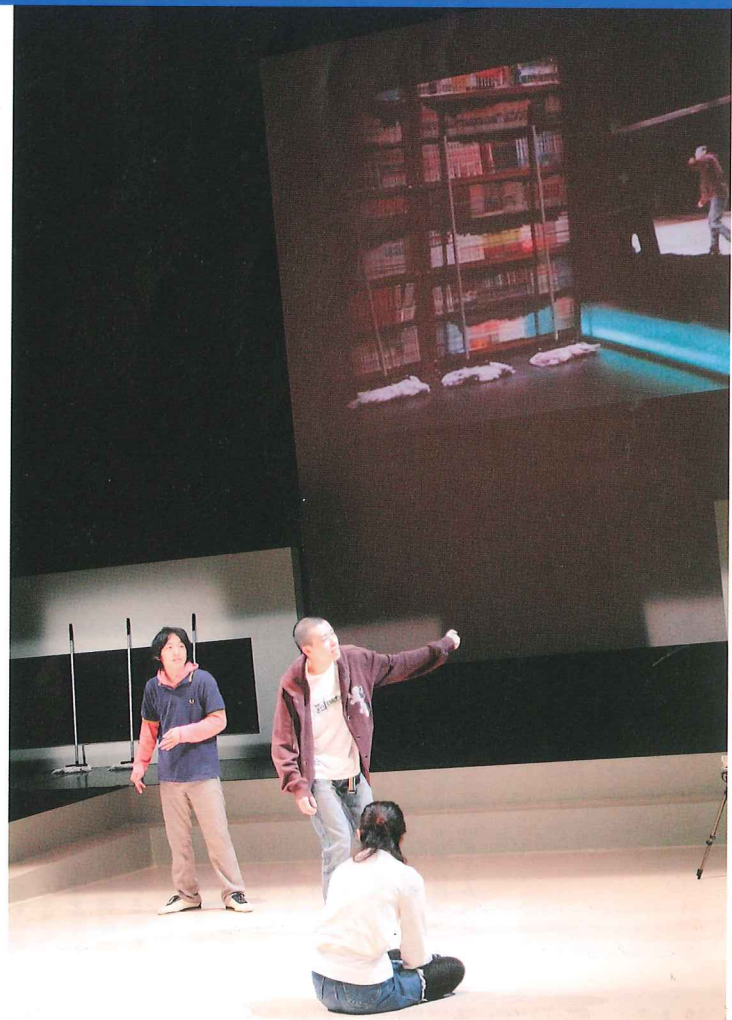
て観てくださる方たちにとどうやったら「傷」を与えることができるかということを考えたので。もちろん、広い空間を生かさうということも当然考えましたけど、それは副次的なもので。

——10代から70代まで、幅広いお客様が観に来られたそうですが、手応えはいかがですか？

手応えはありますよ。やっぱりよかったし、やることはやっていたとは思ってます。ただ、今回の作品が面白くのかつまらないのかという評価が、本当に分かれて。僕自身ともうわからないうちに感じてます。新国立劇場という場所や、あとは選んだテーマや内容とかもいろいろ関係すると思うんですけど、僕にとっては賛否の振り幅が今まで一番大きくて。でもそれだけ幅広いお客さんに観ていただいて、様々なリアクションを得

た。また、僕自身が毎日気持ちよくて、ビールがおいしく飲めるから、そういうフィードバックは今回は全然ないけど」笑。公演の成功は必ずしも作り手である僕の快感とかとは関係ないんだ、ということを、今回初めて実感しましたね。でも、毀譽褒貶というのが強烈にある、という状態をずっと維持できれば、それが一番いいだろうとは思っています。

今回やったところへの不満はひとつもないですが、次の公演は、今回の反動みたいなものをすごく使った作品を書くでしょうね。幅広い観客に対してわかりやすく、テーマも明確に見えるものを作りたいことに対する反動というのを使っと思うし、同時に今までいろいろな僕がやってきた方法のある種の集大成を『「エジソン」でできたと思ってるので、そういう意味でも次に行けるだろう』と思います。



コリオレイナス

作：W・シェクスピア
演出：蜷川幸雄 脚本：松岡和子
出演：蜷川幸雄 白石加代子 藤村俊彦 吉田栄子 藤田まき 堤川信子 他
1 23 12 6 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
3 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 55 57 59 61 63 65 67 69 71 73 75 77 79 81 83 85 87 89 91 93 95 97 99 100
3 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 55 57 59 61 63 65 67 69 71 73 75 77 79 81 83 85 87 89 91 93 95 97 99 100

【シェイクスピア最後の悲劇】と言われる後期に書かれた作品は、人間の尊厳を描いた物語。
蜷川幸雄は、「権力対民衆」の構造を明確にすれども、どちらかに偏ることなくそれぞれの生き様を丹念に演出することで、複雑な感情や真実が渦巻く人間曼陀羅を描き出した。

紀元前五世紀頃、共和制のローマ。コリオレイナスは、最高権力者執政官の候補になつたが、執政官になるには市民の支持が必要。市民に支持されることを拒んだコリオレイナスは、放逐される。敵国ウォルサイに身を寄せたコリオレイナスは、ローマを攻撃するが、後のもとに母が現れ身を伏して暗殺されたことにより、攻撃を中止。その決断により、彼をよく思わないウォルサイ将軍オーフディウスは、コリオレイナスにつけ込まれ殺されてしまう。製作の影の国さいま芸術劇場より。



ローマを勝利に導き、最高権力者・執政官に登りつめた英雄コリオレイナスだったが、市民に愛想を振りまかないため失墜し祖国を追われる。黒い衣裳が、貴族たち。茶やグリーンの衣裳が平民たち。

血糊、頭部の刀傷など、最強の男の姿を演出している。キラキラとした燃える目をラストまでカッと見開き続けた唐沢寿明。



ローマのコリオレイナス、ウォルサイのオーフディウス。二人はこの上もない宿敵同士。オーフディウス役の藤村俊彦は、コリオレイナスへの執着は意図的に好意を抱いているからと解釈した。

真の自己責任を全うした男の物語

人に媚びず影響されず、自分の実力と考えだけを信じて生きてきたローマの武将コリオレイナスは、唯一母の嘆願を聞いて意志を曲げたため死を招くことになる。しかし、国と国との闘いの中、母の思いを尊重し戦闘を辞めるという大きな決断は潔さの極致と言える。コリオレイナスを演じた唐沢寿明は、自分に誇りを持ち他者に揺るがない真つ直ぐな人間を、鍛えられたしなやかな筋力ある身体で表現した。その電光石火のスピード、無数の兵士たちの攻撃を軽やかに縫いながら20段の階段を風のように駆ける足腰の強さ、長い槍を豪快に振るう腕力は無敵の武将らしかった。一方、コリオレイナスをとり囲む人々はそれぞれの野望を抱き行動し、その本心は霧の中。名もなき民衆達は信念がなく、コリオレイナスを英雄視したかと思えばあつという間に非難する。コリオレイナスに故郷を攻撃されたウォルサイの将軍オーフディウスは、宿敵コリオレイナスを愛していたから彼を簡単に迎え入れたのかそれともすべて作戦だったのか……。民衆の姿をできるかぎり多く見せようとグルリと三方に鏡を設置した蜷川演出は、シェイクスピアが我々に問いかけた、正解なき人の心のような角度を映し出しているようにも見える。その中でひとり信念をもった人間が葬られるラストシーンはシェイクスピア最後の悲劇にふさわしく重い。鏡は観客をも映し、日本やアジアの生理に訴える衣裳、装置の力も得て、この悲劇が他人事ではないことを突きつけた。



ウォルサイで自分よりも民の支持を受けるコリオレイナスをおもしろくなく思ったオーフディウスは、彼がローマ攻撃を辞めたことを理由に、暗殺殺してしまう。



敵国に身をよせ、ローマを攻撃しはじめたコリオレイナスを、ウォラムニアが説得する。今まで持論を曲げたことのないコリオレイナスが初めて、他者の言うことを聞いた瞬間。

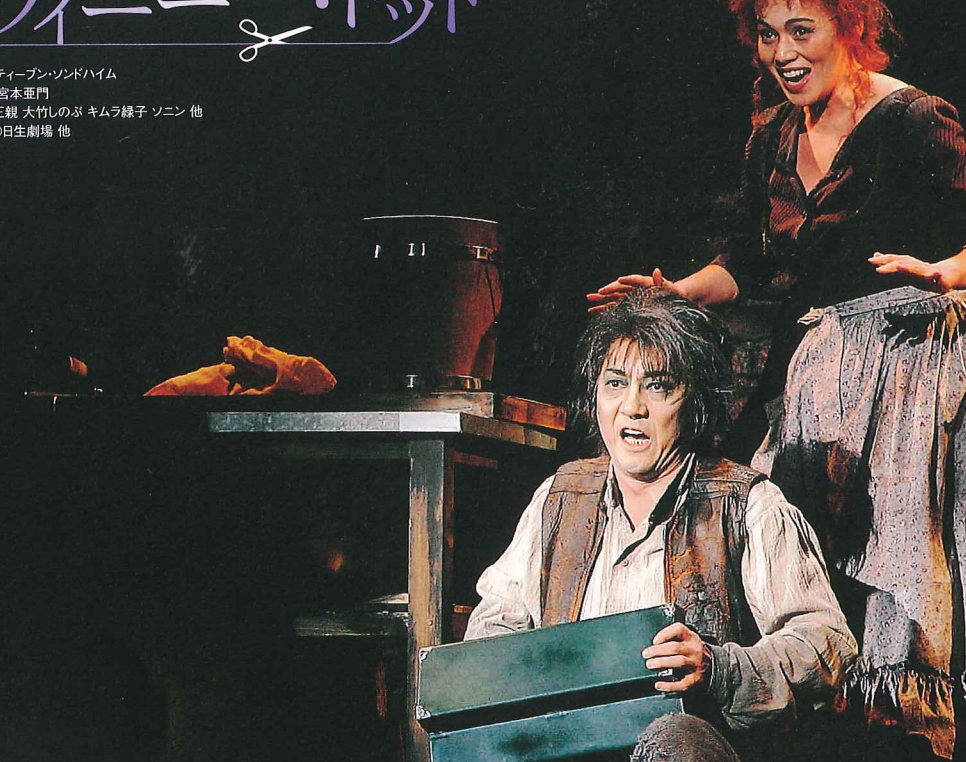


コリオレイナスの母ウォラムニアは息子の出世を望み、栄誉のためなら死んでほしいとさえ願う。白石加代子が、重厚な美術、衣裳、大人数の屈強な男達をものともしない強大なエネルギーで演じた。

ブロードウェイミュージカル

スウィーニー・トッド

作・音楽◇スティーブンス・ソンドハイム
演出・振付◇宮本亜門
出演◇市村正親 大竹しのぶ キムラ緑子 ソニン 他
1/5～1/29◎日生劇場 他



18世
ベンジ
ンにま
を営
を知
判事
その
彼は
の2階

A portrait of a man with a shaved head, wearing a dark, buttoned shirt. He is looking slightly upwards and to the right. The background features a diamond-patterned metal fence and lush green foliage. The lighting is bright, suggesting an outdoor setting during the day.

あおきごう○67年生まれ、神奈川
県出身。97年にグリングを旗揚げ。
以降全作品の作・演出を手がける。
外部活動に文学座『エスぺラント』
(脚本)、シス・カンパニー『猫のゆ
りかご』(作・演出)などがある。

「虹」は、教会を舞台に、そこに集う人間たちの心の變を丁寧に描いた群像劇。神父の妹夫婦のエピソードを中心としながらも、神父の亡くなった兄をめぐる謎や、信徒の夫婦のトラブルなどの様々なエピソードが、回想や超常現象をも交えて描かれる。最後はH・I・Vに感染した夫と、夫を励ます妻の「愛」にすべてが収束していきます。

.....

グリーンは自分のホームグラウンドなせいか、わりと僕自身の体験が作品に反映されることが多いです。今回も、聖美と広志の夫婦のエピソードは実体験に基づいて、僕も結婚するときにH・I・V検査を受けたんです。検査結果が出る日は物

どんなことがあっても生きる
という姿勢



子が梅毒に犯されているんです。「幽霊は梅毒が治らない病気だ」と頃に書かれた作品なので、今の時代だったら梅毒ではなく HIV なの、今のかなと思って。

幽霊が出てくるシーンは結構賛否両論だったんですが、僕としては今まででやれなかったことをやってみようという気持ちが強くて、がんばります。ずっとリアルに作ってきたので、がんばりがめになっちゃっていいなと思って。

グリングの作品は基本的にワンシチュエーションで、そのなかで動く人間関係を、見せる、という方法なので、大体 20 分単位

でたりして。結局シロだったんですが、もしクロだったらその後という人生だったのかな、ということを描きたいなと思って。H・V について重い問題ですけど、それを社会的なテーマとして取り上げたわけではなくて、プライベートで自分が体験して怖かったことを取り入れたという感じです。それ

くらいで登場人物の出入りを決めて、それで書いてます。ハコ書きをしないものでですか、僕自身も、今書いてるところより先の話は全然わかっていうよりは、勘にまかせてそれを語りたいというよりは、勘にまかせて今自分とはちに行きたいのかとか、こういう進み方は嫌だなとか思いながら書いていくうちに、だんだん形になつてくるんですね。だから今回も、広志がH・I・Vに感染しているのかどうかということまでは、書いています。でも、もしはくわからないままだったんです。

結局最後は感染しているということになりましたが、感染してなくてよかったね」で終わるといいう選択肢もあったと思うんです。でもそうしてしまっても、実際に感染している人たちを切り捨ててしまっていくことになるんじゃないかと思つて。感染している人のことをウツなぞでいろいろ調べたんですが、やっぱり皆さん最初はショックを受けるんだけど、やがて受け入れて日常生活を淡々と生きいかざるを得ないんですね。そういう姿には非常に力をもらいます。ということがあつてもまだ生きるんだ、ということには最後に伝えたいと思ひました。



彼女がソロを歌いだしたとき、劇場がかすかにどよめいた。何て、透明な声だろう。ジョアンナという娘の、清らかさ、寂しさ、切なさが、伝わってくる。かごの中の小鳥のごとく閉われた身から、朗らかな青年とのささやかな恋、孤独な精神病院から殺人の現場へと、運命はジョアンナを激しく揺さぶってゆく。演じるソニンが……。

最初、音楽が始まったとき、涙が出そうでした。でもぐっとこらえて……。カーテンコールで稽古ギアニストの方をオケボックスに見つけた途端、とうとう泣いてしまいましたね。やはり稽古は大変だった。ソンドハイムを歌うこともですが、役を演じながら歌うって、自分の中のどういう声を出したらいいんだろってすごく悩ん

だ記憶があります。役作りも、初日でもややもや。でも
 亜門さんに勇気づけてもらって、すっかりして。亜門さ
 んはいつもしっかり私を見ていてくれました。本当に愛
 情豊かな人で、「今、足りないことは自信を持つことだ
 よ」と言ってくれたり、心強い存在です。

——ジョアンナを演じる日々はいかがですか。

私、これまでなかなか芝居で泣くことができませんでした。なのに今回、ジョアンナという存在が私に大きくかぶさってきて、特に2幕の後半はもう涙が止まらなくなりました。離れ離れになった恋人アンソニーを想って泣き続け、目の前で育ての親が殺されたときは、昔のことが色々と脳裏をめぐって、「ジョアンナ、これ食べるかい」というような言葉までが聞こえてくるんです。その後で箱の中に隠れながらも、悲しみと不安と恐怖心でワンワン泣いて、舞台袖に逃げ込むと、アンソニーに「とにかく側にいて欲しい」と、スタンバイしている彼の衣裳の裾を握ってなんです。終演後だって感情が収まりきらずくて、過呼吸にもなってしまう、「どうしたいんですか?」って、大竹しのぶさんの楽屋に泣きながら相談に行きました。大竹さんは「感情があふれてあふれて、というのは、芝居をやる上で素晴らしいことで役者としては楽しいこともあるけれど、舞台上で私たちはお客さんに台詞をちゃんと伝えなきゃいけないんだから……」と、具体的に教えてくださいました。そういう方法を試しながら、毎日、感情も変われば涙の量も違うというライブの舞台で学んでいるって感じですよ。

——心と体全体で学んでいるという……。

そうですね。舞台って一度立ってしまったら、何が起
こるかわからないし、どうやって最終地点に持っていく



かってことですよ。だからこそ、自分の役をしっかり理解して、その役として乗り越えていかなきゃいけないと思うんです。そのためには相当な集中力とパワーが必要です。ほんと、市村さんをはじめ舞台をずっと続けてこられた俳優さんたちって、すごいと思う。私も歌と芝居が好きで、その意味では、ミュージカルは自分の可能性を広げることの出来る場所だなんて思ってるんです。亜門さんに言われたんですが、「これから色んな舞台を経験していくことになると思うけれど、『スウィートロード』は絶対に原点になるよ」って。

——さて、次はロルカの『血の婚礼』の花嫁役ですね。
台本を読みました。詩的な台詞回しが印象的で……。演出の白井晃さん、共演の森山未來さんも初めて。森山さんとはなんとなく同じ匂いを感じます。でも、また駆け落ちする役なんです(笑)。



ソニン

そにん〇83年生まれ、高知県出身。00年に歌手デビュー。音楽活動と並行して、女優活動にも精力的に取り組み、『高校教師』(TBS)、『東京湾景』(CX)等の人気ドラマや、『空中庭園』『バックダンサーズ』等の映画に出演。舞台は04年の『8人の女たち』に続いて2作目。

次回予定◇アトリエ・ダンカン・プロデュース『血の婚礼』5/3～20◎東京グローブ座、5/23～6/12◎全国公演

構成・文◇谷田尚子

作・演出◇青木豪
出演◇杉山文雄 萩原利映 鈴木步己 中野安樹
藤本喜久子(無名塾) 高橋理恵子(演劇集団 円) 泉陽二
鬼頭典子(文学座) 星耕介(Oi-SCALE)
東恵司(劇団枚数童子) 井出みな子(演劇集団 円)
06/12/20~24◇紀伊國屋ホール



あるカトリック教会では、神父(東憲司)とその家族たち、信徒たちがクリスマスの準備をしている。神父の妹・聖美(森原利映)とその夫・広志(杉山文雄)の間にはなかなか子供が授からず、神父の母親・澄江(井川みづ子)は広志に辛く当たっていた。そんな折り、教区内でのボヤや、車への悪戯など、不穏な事件が起り始め……。

文◇園田喬 撮影◇鏡田伸幸

水 夏 希

Mizu Natsuki

みずなつき○宝塚雪組主演男役。千葉県出身。獅子座・A型。93年「BROADWAY BOYS」で初舞台、のち月組に配属。ダンスの実力と現代的でシャープな容姿で注目され、95年「ME AND MY GIRL」の第一部で新人公演初主役。97年、花組に組替え。99年、「ロミオとジュリエット'99」でパワフル初主演。00年にベルリン公演参加後、宙組に組替え。01年、「ベルサイユのばら2001」ではオスカルとアンドレの役替わりに挑戦。04年、宝塚歌劇団創立90周年イベントにより雪組、花組へ特別出演し活躍する。05年4月、雪組に組替え。06年1月、星組公演「ベルサイユのばら—フェルゼンとマリー—アントワネット編」にオスカル役で特別出演。06年2月からの雪組「ベルサイユのばら—オスカル編」ではアラン役、アンドレ役の二役を役替わりで演じる。さらに06年7月には、全国ツアー公演「ベルサイユのばら—オスカル編」ではオスカル役で主役を務め、半年にわたる「ベルばら」ブームの立役者の一人となった。昨年12月25日より、退団した朝海ひかるの跡を引き継いで雪組主演男役に。

次回予定○雪組公演「エリザベート」5/4～6/18○宝塚大劇場、7/4～8/12○東京宝塚劇場

宝塚のスター地図に
大きな変化がある今年。
5組のうち3組で、
主演男役スターが新しく
誕生している。
そのスターたちを、
最新の舞台とともに
紹介するシリーズ。
第2回は雪組の水夏希。



総司の突き抜けた明るさ

——名古屋公演の「星影の人」が幕を開けますが、31年前の名作と言われている作品の手応えはいかがですか。

どの場面もさすがに充実していて、下級生まで役が多く、稽古場が生き生きしています。私は沖田総司の役なのですが、史実にはない沖田の恋物語をメインストーリーにしているところが、とても宝塚らしいと思います。もちろん土方歳三や隊の仲間たちとのやりとりや立ち回りもたくさんありますから、こちらも楽しんでいただけます。

——沖田役を演じるうえで大事にしていることは？

彼の透明な明るさをどう見せるかという点ですね。すぐ冗談を言ったり、とにかく明るいですよ。でもそれは、少年の頃に親を亡くしたり貧しい中で育ってきた裏返しだと思わなければなりません。総司は寂しさを明るさで乗り越えてきた」と土方さんに言われる場面もあるんです。そんな彼の過去を具体的には見せないで、でもただ明るさだけではなく沖田の悲しみや寂しさも、うまく出せたらいいなと思っています。

憧れの役、トート

——そして5月には、大作「エリザベート」に挑むわけですが、水さんはトートの病気のわかったあとの嵐山、という

かなりあるほうと聞いていますが、

集中はしますね。でも最近、追い込み型になってきているんです。子供の頃は夏休みの宿題を毎日きちんと片付ける子だったんですよ。でも舞台の仕事って、一人でできるものではありませんから。周りの芝居ができなくて、急に前に進めたりするんですよ。トートのボスター撮りでも、本当に私がこれをやるのか？みたいな、実感がありません。まだ当日になつたんですけど、メイクして衣装を着たら、あ、私トートになれるわと思つたんです。

なるべき時期になれた

——今、主演男役になつたわけですが、水さんにとって夢でしたか？

最終的には、常に小さな目標を立ててやっていたので、その順番で言えば、あつたということですね。

——なれそうでなれないという時期もありましたね。

そのときは、まだ勉強しなければいけないんだ、足りないものがあるんだ、と思っていました。今、それだけの中身になったのかと言えは、それだけのかはわからないのですが、でも、あの時に、なつていなくてよかったと思っています。たぶん、不安と、がんばらなければ



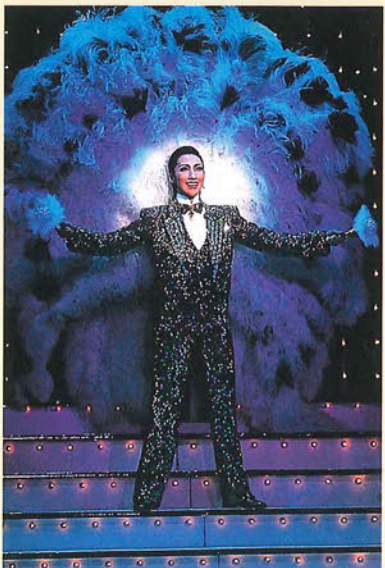
『星影の人』宝塚歌劇団雪組中日劇場公演
2/2～25○中日劇場
作・演出○柴田侑宏
演出・振付○尾上菊之丞
出演○雪組／水夏希 白羽ゆり 彩吹真央 未来優希 飛鳥裕 灯奈美 他
専科／鈴鹿照 汝島伶



『エリザベート』トート、衣装写真



『星影の人』



『Joyful!! II』作・演出○藤井大介

今の自分だから応えられる

5月に大作「エリザベート」でお披露目をする水夏希だが、2月にもブレお披露目として、中日劇場で主演、沖田総司役で、満員の客席を沸かせている。

男役らしさが冴えるダンスと、幅広い役柄を違和感なく見せる演技力、加えて「エリザベート」では、歌の魅力にもチャレンジする。

そんな水夏希に、2月のブレお披露目直前にインタビューした。

感じですが、そのなかで、玉勇役の白羽ゆりさんとお互いに初恋みたいなドキドキしている感覚を大切に演じたいと思っています。

——そして「Joyful!! II」の主演男役の朝海ひかるさんのお披露目のリメイクですが、水さん仕様になつていくとか。

半分くらい変わっています。演出の藤井大介先生が「大人の雰囲気にする」と言われたのですが、オープニングの次に入った、故小原弘稔先生のシー「クレッシェンド」の名シーンなど、さすがに洗練されていてオシャレなんです。それから中盤の「カルメン」を使った場面や、フィナーレの私と白羽のデュエットも、大人っぽく仕上がっています。

——白羽さんとちゃんと組むのは初めてですね。

3年前には同じ公演に出ていたのですが、ダンスも上達しているし、組んでいて楽しいです。1月にもイベントでちょっと組んだのですが、銀橋を通るとき、目の前にいるお客様をちゃんと見ないんです」と言っていて、意外に初々しいんですよ。見かけは大人っぽいの、そのギャップが面白いですね。

——という気持ちだけで、いっぱいだったと思います。

——今なら落ち着いて受け止められる？

いい意味で自分なりに大人になったと思うし、舞台に対しても人間関係でも、それなりの経験を重ねているので、いろいろなことを受け止められるようになった気がします。そういう自分を信じられるようになったし。

——本当の自信ですね。そこまで大きくなったのは、何回も組替えをしたいろいろな苦労をしたからかなと。

そうですね、苦労はしました（笑）。でも苦労してきてよかったと思います。苦しいけれど、がんばられるほうなので（笑）。

——そして、新しい雪組はどんなふうになりそうですか？

雪組に来てまもなく2年になるので、組の人たちも私のことをわかって

近松賞

第4回

正式名
近松門左衛門賞

戯曲募集



主 催 尼崎市 イラストレーション：今駒理子

応募資格 一切問わず。

募集作品 現代演劇の戯曲。

作品内容 近松作品が発揮した演劇の力強さ、深さ、それを生んだ人間把握の新鮮さとの現代的連関を感じさせる作品。

応募内容 日本語によるオリジナルの未発表、未上演の作品(脚色不可)。400字詰め原稿用紙(縦書、A4サイズ)または、パソコン原稿(縦書、A4サイズ20字×20行)で150枚以内。「作品の概要、あらすじ」(800字以内)を添付。引用した場合、作品名を明記。

応募方法 作品原稿1部のみに「作品名、枚数、氏名(ペンネームはカッコ書き)、住所、電話番号、年齢」を明記し、そのコピー2部には、作品名のみ記入。(計3部)

賞 正賞 ブロンズ像 副賞 300万円
(出版権料、上演権料、税を含む)

発表 平成19年11月

応募締切 平成19年6月30日
(平成19年5月1日より受付)

選考委員 太田省吾、栗山民也、別役 実、水落 潔、宮田慶子(50音順、敬称略)

出版と上演 受賞作品は冊子にして発行。平成23年3月までに上演予定。なお出版権、上演権、放送権は平成23年3月31日まで尼崎市に帰属。

お問い合わせ先
〒660-8501
兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号
尼崎市役所ちかまつ・文化・まち情報課「近松賞」係
TEL06-6489-6385 FAX06-6489-6393
http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/



のんきな人の、豊かな演劇。

注文が捌ききれなくて、死んじゃおうかなと思っているパン屋さんが作っているパンは、家の隙間の詰め物に使われている。人が本棚を背負って歩く、移動図書館で貸す大量の本には、正しいことが書かれていない。一方、加齢臭のため爆発寸前の主人がいる小ハーレムでは、3人の妻や医師達がこれをくい止めようと大騒ぎ。一つの物語だけでも大変なのに、これに加えて、素敵な唄が何曲もはいる。さらに加えて、舞台から溢れんばかりの装置と、出入りにおおきに支障をきたす図書館員たちが背負う細長く大きな本棚もある。この困難な出来事たちに、心ならずも出会い、困惑する、狂言回し役のパン屋の店長とバイトちゃんを、うだうだと好演した、佐伯さち子さんと斉藤マリさんが語る冒険譚。

佐伯さん「野鳩」以外の芝居に出たのは初めてですか？
佐伯 初めです。
佐伯 いかがでしたか？
佐伯 稽古期間が短かたんで、本当に全然まだ分かってない感じですね。
「ロリータ男爵」はいつもそうなんですか？
斉藤 いえ、違います。今回は特別で、客演の方には、ちゃんと台本ができて上がってから参加したくというところもあり、いろいろと……。
佐伯 すこかったですね。
斉藤 あつという間だった。
佐伯 それじゃあ、佐伯さんはとまどいましたか？
佐伯 でもまあ、みんな同じなので。わたしは別にそんなに、心配はしてませんでした。
斉藤 やっぱ心配する人いると思うんですよ。だけど、佐伯さんは、まあいいやとか言ってるから、いいんだなとか(笑)。
佐伯 絶対できるでしょ、と思って。本番までには。
佐伯 そういふ人なんです。佐伯さんは、佐伯さんですね。のんき。うちの野鳩も遅いんですね。だから、まあ、あと少なければいいなと思ってたんですけど。

何が？
佐伯 セリフとか。
斉藤 それはみんな思ってた。今回は、今回ばかりはちょっと。
佐伯 お二人の役は注文を捌ききれないパン屋さんの、優柔不断な店長(佐伯)とバイトちゃん(斉藤)で、変で、とてもいい雰囲気だと思っただけです。色々相談はされたんですか？
二人 相談はしてないですね。
斉藤 まったくしてないですね。
佐伯 練習しかしてないですね。
斉藤 台本読んで練習して、ひたすらセリフ覚えの練習。
佐伯 そうなんです。か！とてもそういふ風には見えないですよ。注文が捌けないから、死に死にやおうという間柄なんですよ。
佐伯 間柄といっても、そんなに結託はしてない。バイトちゃんですものね。
斉藤 安易に死に死にやおうと思うだめなバイトちゃんですか。
佐伯 でもバイトちゃんが主導権を握っている感じでした。
斉藤 外に行くのと店長を立てるといふか、自分は責任持つの嫌だから……。
佐伯 お互いがかなり依存し合っている感じで。
佐伯 そうですね。そんなもでも感

よかったですね。お二人の唄がとっても素敵ですね。すぐに終わってしまうのももったいない。
佐伯 私もこの歌「死ぬのは明日」がすごく好きで、歌詞を配られたとき、すごくいい、この歌すごくいい、うさぎぐらい。
斉藤 あんまり言うから、佐伯さんがこの歌好きなの知ってるよって(笑)。
佐伯 すごく好きですね、泣きそうになつてしまいました。
佐伯 公演が終わってみたいかがですか。
佐伯 私は野鳩でしかやらないとなかつたので、野鳩の演出は100%振り付けなので、自分から何かするということはなくて、私は操り人形なんです。なので、自分がほかの劇団でなにかやれるというのが全然想像できなくて。今回のような人がパン屋の二人をほめてくれたんで、それがすごくうれしくて。あつ、私もうちよつと、野鳩じゃなくてもやる道があるのかも知れないと自信になりました。だからすごく良かったです。
斉藤 私はもつと時間がほしかったですね。名残惜しいというか、あれもこれも、もつとできたかと思って、でもギョツと詰まっていたんで、深い充実した期間ではありましたが、次は準備をたつぷりとしたいですね。

「家来!図書館のテーマ」
古ばけた 裏表めくれば
むかしむかしの おどろ
斬新! ページの向こうは
チンパンカンパン 方程式

並んだ背表紙 指でなぞれば
高鳴る世界で その指はとまる

遠く誰かも 夢見たものがたりを
今では私が 夢見ているのね
私が見つけた ことばのたからものを
いつかは誰かも、そうするのかもね

それは街から街へ旅する
旅人たちの気持
いつかどこかでまた逢える

「2人で死のう」
いいことなんてさ ちっともなかったし
生きてる意味とか よく分からないし

いっそ いっそ おわりにしよう
後悔はなにもない……

さよなら この人生
少し恋をしたかった……
おいしもの食べたかった……
夏に海行きたかった……

「パン、もしくは本(場合によっては猫か犬)」
カレイッシュ シューシュカレイッシュ
息が詰まりそう カレイッシュ
カレイッシュ シューシュシューシュシュー
鼻も もげちゃう シューシュカレイッシュ

お父さんの耳の後ろから 出ている臭いがそれさ
旦那様を驚かせる様な 隙間 隙間をうめろ!

描き集める 描き集める パン、もしくは本
(Bread or Book)
描き集める 描き集める パン、もしくは本
(Bread or Book)

場合によっちゃ 場合によっちゃ 猫もしくは犬
(Cat or Dog?)
場合によっちゃ 場合によっちゃ 猫もしくは犬
(Cat or Dog?)

この私 独り 独り 何と何だ
この体 変わりわりはない すこぶる快調

「天まで届け」
本を貸し出せば 一つか増えると言ってくれ
俺の本棚は あまに選り抜けない
俺の蔵だけ 全てでいいやん しょうけど
でも俺の参段 四・五・六・七段

高けりゃ高けりゃ 低けりゃ低いで
それなり抱えるの 悩むもそれなり
でも肝心の 高さは 高さは 高さは
背負った俺の 中身

すなわち コンテンツ がある

Ah本棚
いつか高く高く 積み上げてみたいんだ
本棚 そんな夢の 道程は 遠いんだ
本棚 もっと高く高く 天まで届いて
あの雲を 抜けて あの空の 向こう
オゾン層 越えて 大気圏 越えて
銀河の 果てまで 届いて さらに
折り返す すくい 高い 高い 高い 本棚 だな

「プレッシャー」
貸した本を返せ! 本を! 本を!
頼んだパンは まだパンは? パンは?

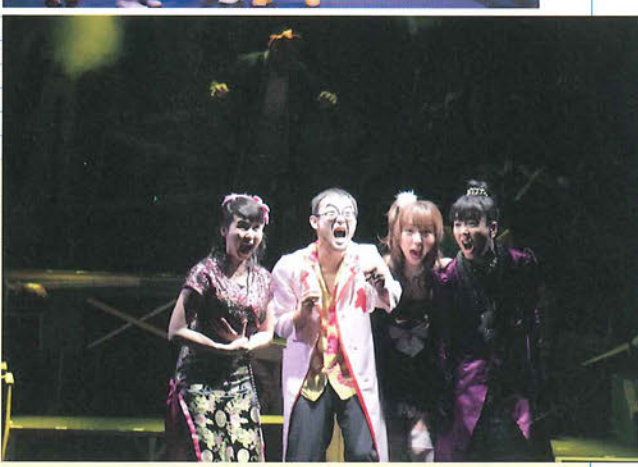
本はみんなのもの
本はみんなのもの
本はみんなのもの

作詞:田辺茂範 作・編曲:佐藤こうじ

ロリータ男爵

未来!図書館

作・演出:田辺茂範
出演:佐伯さち子 斉藤マリ 大佐藤崇
丹野晶子 津久井亜以 後者松尾マリ
濱井海 森知行 清水俊樹 山崎和如
立本恭子 大塚まゑ 斉藤麻耶 福屋吉史
加瀬澤拓未 新実真代
1/31~2/4 中野ザ・ポケット



佐伯さち子

さきさち子〇所属する野鳩で演じるヒロイン(主に女子中学生)は可愛くて、残酷で、清潔で、好色で、まさに本物より本物で、強烈なファンを獲得している(ただし少数)。作・演出の水谷主ワールドの体現的存在。

次回予定〇野鳩「君は人のために死ぬのか」3/14~18 〇下北沢駅前劇場

斉藤マリ

さいとうまり〇ロリータ男爵第三回公演より参加。ほぼ全作品に出演、攻めるも守るも自在のプレイヤーぶりは圧巻。そのあまりにも不思議な存在のため、一児の母ではないかとの噂もあるが、真偽のほどは定かでない。

次回予定〇ロリータ男爵「タイトル未定」8/29~9/3 〇下北沢駅前劇場

JOKO 演劇学校

33年間続いてきた劇団昴演劇学校が名前を変え、これまで以上の充実した授業内容で再スタート。開校は07年4月、二年制の演劇学校です。

◎授業の三つの柱◎

①アレキサンダー・テクニック、その他のボディワークを演技とつなげたムーブメント

②「自分・相手・観客とつながる」呼吸・声の創造を目指す、ヴォイス・トレーニング

③スタニスラフスキー・システムを主体にした演技指導

◎JOKO演劇学校の特徴！

英国 RADA(英国王立演劇アカデミー)、ロシア 国立サンクト・ペテルブルグ演劇アカデミーのベテラン教師陣による、各3週間づつの集中ワークショップを年間40週の授業のうちで行います。

●募集学科 フルタイム演技コース [2年制] 第一学年 定員22名 月～金曜日 9:30 ～ 16:00

●応募資格 18歳以上28歳未満の健康な男女

●募集期間 2007年3月末日迄

●願書受付及び応募方法
所定のオーディション用紙を提出の上、受験、募集は期間中随時受付。

●オーディション料 5000円

※願書提出時にお支払いください。

●入学手続きに必要なもの

①保証人連名の誓約書 ②学費／入学金 50,000 円・授業料 850,000 円

JOKO演劇学校は07年4月から、みらい館大明にて開校！

東京都豊島区池袋3-30-8
東京メトロ有楽町線・要町駅より徒歩6分
JR池袋駅西口C-1出口より徒歩10分

●お問合せ・願書受付●
JOKO演劇学校 事務局
〒171-0014

東京都豊島区池袋2-14-10

ミゾタビル5-6F

TEL03-6907-9213

※受付時間は日曜・祭日を除く

10：00～18：00

2[マォーティーズインディアン]
冬物語[群の会・リリック]
明石原人[民芸]
豪奢博覧会[楽々一座]
第八回☆全国安産大会
[Last Brand]

ハイ・ライフ[流山児★事務所]
蝶のやうな私の郷愁[晴光群]

424 1
きみ去りしのち[IOH]
あ・うん[あ・うん製作委員会]
Going Home[avecピース]
ア・ラ・カルト
HARVEST[Eb]
乃崎さんのついた嘘
[劇団イナダ組]

いろいろ橋
URASHIMA[ACファクトリー]
これからのエッハ[エッハ]
顔に自信がある
ねこはる[KAUKUTA]
和宮様御留

[新橋演舞場六月公演]
つの隠し[空間ゼリー]
超訳ハムレット[楠美津香]
グランドホテル
日本経済黄金郷ツアー2006
[コンドルズ]

2人ばっち[ザ・おさむショー]
人間にならなかった猫[劇団四季]
詩人の恋
昭和歌謡シアター・時の流れに身をまかせ[劇団シニアグラフィティ]
職人気質vol.2コマツマツリ
夢があるから[劇団スイセイ]

双六
怒りの葡萄[劇団品]
I see[SLEEP]
染模様恩愛御書
植物大図鑑[タッタタ探検組合]
TAP MANXPIANO MAN
ダム・ショー
つつく[IOJOI]
釣鉤[野村萬喜・国立能楽堂]
天国を見た男
電馬の妻とその夫と愛人
[東京ヴォードヴィルショー]

透明人間
3才目人間
[特攻舞台Baku団]
IRON[翔ぶ劇団]
鶴 NUE[宮沢卓夫]
漆黒の系譜 delusion[Neo Mask]
BURN THIS
罪と罰[俳優座]
ヴァギナ・モノクロース
四畳半ブルース[BACK FRONT]
華の志
クロコダイルズ[ババロワ]
ピンク[ハラホロシャングリラ]
ヒマラヤ驛巾団[ひげ太夫]
家なき子[劇団ひまわり]
サヨナラとさようならをする
[Play unit・fullfull]
男たちよ、懐かしなさい
[方南ぐみ番外公演]
ポップモード[POSTER COVER]
アウトダフ[マレピトの会]
オセロ[群の会・リリック]
眠れぬ夜のホンキートンクブルース
～HOST2～[水木英昭プロデュース]
壬生の人
僕の腕枕、君の髪ばさみ[無機王]
ASSASSIN[劇団め組]
ゆきてかえらず
[モダンシマイズ]

八重村麻郷
[歌舞伎座十二月公演]
山田家の人々
リズム解体新書[四十馬力]
6週間のダンスレッスン
呼吸する鳥[One on One]
ワンダーボックス

パッドボーイズバスケット
[第3水曜日]
THE BEST SCENE&SONG
SELECTION[DOWN TOWN
FOLLIES vol.4]
エンター・ザ・レビュー
[宝塚歌劇花組]
コパカバーナ[宝塚歌劇宙組]
東亜軽便航空[タッタタ探検組合]
この子たちの夏 1945、ヒロシマ・
ナガサキ[地人会]
Miss Saikonミス再婚
[TSMミュージカルファンデーション]
東京會館ミュージカルサロンvol.12
隙間の蝶[同居人]
ご長ねばねばランド[劇団扉座]
彼岸島の不思議な顔
[トリプルクラウンプロデュース]
夏の夜の夢[三日月劇場]
ブラックインザダーク
[演劇実験室万有引力]
赤い月[文学座]
ベルナルダ・アルバの家
鯉[ホチキス]
マクベス[リョーとびあ能楽堂]
クロスアレイ
[マシンガンデニーロ]
ミーアンドマイガール
道成寺[南座顔見世]
喜劇の殿さま[民藝]
赤木三兄弟[モダンシマイズ]
モーターサイクル・ドーン・キョーテ
[遊園地再生事業団]
雪之丞変化[2006
夢の森]

377 2
てふてふとやかん[アマネワ]
アンロジリーII
ルカ追送[伊丹AI HALL]
一心や恐怖百物語
今までのエッハ[エッハ]
DIVE into B-side
[N-TRANCE Fish]
きらめく星座
[演劇キックプロデュース]
東京2006[近江飛龍劇団]
ちがいます
[O.N.アベックホームラン]
オカマーズ7
Waoon!! キャンディーガール
[乙女少年団]
みどりのおばさん現る!
[クワイニャオン]
金毛犬[激弾スベースノイド]
クラッシュド・ザ・ウエディング
[劇屋いっくぐ堂]
海猫街[模範童子]
夢から醒めた夢[劇団四季]
河童の醜態[ジャングルベルシアター]
シラノ・ド・ベルジュラック
[鈴木忠志]
YEBI大王[新宿梁山泊]
英機の大演習[生活向上委員会]
やらずの雨[宝塚歌劇雪組]
演劇の毒薬[地人会]
ミュージカルテニスの王子様
Advancement Match 六角feat.氷
帝学園
ヘビーマタルハブン
[天然バイレーツ]
Dragon bowl[toon bullets]
ハッピーライド206
[ドラマティックカンパニー]
退魔師[とりにく]
二代目はクリスチャン
バーン・ザ・フロア～ラストダンス・
ウィズ・ユー～[バーン・ザ・フロア
カンパニー]
八月納涼歌舞夜第三部
パンビニー
ROMACAFE!
[演劇実験室万有引力]
青空プリズン[劇団B級遊撃隊]
TRANS-トランス
[ビーブハット★プロデュース]
カートリッジ[Hit And Away]
ジョリー・ロジャー[ファントマ]
ぶたばん2006
loversふたりだけのロミオとジュリ
エット(よろい編)[HEP HALLプロ
デュース]
疾しいのはお前だけじゃない
[劇団便玄太一座]
ボーイ・フロム・オズ

[男子はだまてなさいよ]
チック、チック…ブーン!
先橋さんの脚の間に
[チャリカルキ]
迷い犬のサクマさん
[超人予備校]
無防備なスキン
[Isumazuki no ishi]
皆に伝えよ!ソイレント・グリーン
は人肉だ!TPT]
悪路[TSMミュージカルファンデ
ーション]
天下御免の馬侍
[リリパットアーミーII]
浅葱風の息吹[東京幕府]
303[盗難アジア]
さかさまの靴80s[9ステイ]
トビウオ人間VS形の無い何か
[ニッポンの河川]
ポスト君ブルース[練馬49ers]
東京原子核クラブ
[俳優座劇場プロデュース]
笑う女、笑われる男?
[ビップフェイスプロデュース]
エンジェルダスト[ファントマ]
悪作・寺山修司～身毒丸
[風蝕異人街]
船弁慶[新橋演舞場十一月公演]
オトコとおとこ[文学座]
シラノ・ド・ベルジュラック
[文学座]
女のみち[ポツドル]
-2root in work[-(2)LDK]
Memory～はがされた時間～
ノラ・スクエア
[山本さくらのバントマイム]
幽霊はここにいる
乱雑天国VOL.2[乱雑天国]
レビュー狂時代

309 3
シリウスに向かって撃て!
[劇団赤鬼]
あしたのニュース
箱の中で散歩[Attic Theater]
美しい水-Blue- [and Endless]
亀屋ミュージック劇場
[劇団イナダ組]
そうですね、早くて1時間、1時間で
終わりますよ[宇宙Cコード]
よせばいいのに[売込隊ビーム]
露薔薇[S→←Nプロデュース]
お気にめすまま[SPSカンパニー]
MAMA[NG企画]
マカレモノ[男聲リレコース]
CUEドリームジャンボリー
[大泉洋プロデュース]
作品NO.4[OM-2]
OVER THE RAINBOW
クワイ[カンコンキンシアター]
京鹿子娘二人道成寺[歌舞伎座]
ここに海をもつ男[愚安亭遊佐]
クラリモンド
虹[グリング]
たくさんの天使たちへ[clover]
Dear…私様[クワイニャオン]
タイムカプセル[劇屋いっくぐ堂]
源氏物語 百花繚乱
十二夜[子供のためのシェイクス
ピアカンパニー]
兄おとうと[こまつ座]
祝砲[コメディオンパレード]
酒場劇場[コメディオンザボート]
大脱出[倶楽園プロデュース]
池袋大図鑑～笑える男達～
[30-DELUX]
一頭と一羽と一人と一輪
[TheStoneAge]
銀行ノススめ[THE PLAN 9]
あなたがここにいてほしい
[散歩道楽]
フェイス・ザ・ラビンス
[シアターキューブリック]
キャッツ[劇団四季]
PLAYZONE[少年隊]
change[少年隊PLAYZONE]
SHOCK
私生活
[シルバリーニングプロデュース]
おつごもり[新派]
スケリグ
面白く山をのぼる[拙者ムニエル]
悪鬼の如く～BENKEI～
[演劇集団2団]
返事[劇団零式]

211 5
郭 山月記・名人伝
先橋さんの脚の間に
[チャリカルキ]
contact
[いいむろなおきマイムカンパニー]
カクエイカク語リキ[今井事務所]
近松殺机焼心中[WATER33-39]
うす皮一枚
冬のサボテン[HHG]
Promoters!
[S→←Nプロデュース]
再演A～キミのなかのボクのこと～
[劇団SKグループ]
おキモチ大図鑑[高山広]
熱海殺人事件 売春捜査官
[北区つかこうへい劇団]
犬の生活[くろいぬパレード]
THE面接
散歩する侵略者[G-up presents]
マンマ・ミーア[劇団四季]
獅童流 森の石松
ここでキスして
[シベリア少女鉄道]
やわらかい服を着て[新国立劇場]
ガラスの動物園[新国立劇場]
劇場ズジナン[笑福亭鶴瓶]
99%[スベクタクルガーデン]
王生大激戦[劇団SWAT]
ソウル市民 昭和望郷編[青年団]
僕は雨の中にいた[前方公演場]
ソフィストリー
第32進海丸
アクロス[宝塚歌劇星組]
フェット・インベリאל
[宝塚歌劇星組]
THE LAST PARTY～フィッツジェラ
ルド最後の一日～[宝塚歌劇月組]
メイカ[DMF]
アンチコーネ/血
[テラ・アーツ・ファクトリー]
ザ★福袋[東京セレンDX]
豆さむらい[動物電氣]
三女の食欲[動物電氣]
半端ロックン27ローラー
[特攻舞台Baku団]
ゴリ村柴大彦
[トリオ天満宮HERO'S]
ミステイクホテル[パートナーズ]
草迷宮[演劇実験室万有引力]
空[劇団左]
夏の匂い[弘前劇場]
神様のレシビ
[ブレイング・ステージ]
地下室[文学座・青年団自主企画]
あたったNo.1[劇団方南ぐみ]
恋の渦[ポツドル]
仰げば尊くなし[三田村組]
復讐[南座顔見世]
ナイボー!
[わいわい組プロデュース]

258 4
愛の讃歌
静かなるドンチャン騒ぎ
[熱海五郎一座]
ここは、あったかい場所
[うめだ花月芝居もん]
山[売込隊ビーム]
エンジュー[新国立劇場]
エンドゲーム
ネムレナイト[大人の麦茶]
サイレントコメディ6
[が～まるちょぼ]
南国プールの熱い砂
[KAKUTA+青山円形劇場プロ
デュース]
クローバー春[ククルカン]
トリスタンとイゾルデ[ク・ナウカ]
コーラスライン[劇団四季]
水曜の男[自己批判ショー]
津田沼[THE SHAMPOO HAT]
上海夢魔夜会[Jules+ジュール]
煙が目にしめる
[鈴置洋孝プロデュース]
ヴァンパイア・レジェンド
[Studio Life]
上野動物園再々々襲撃[青年団]
ハートに悲しつけないで!
[セメント金魚]
トリアージ[双数姉妹]
維新回天・竜馬伝[宝塚歌劇宙組]
レ・ビジュー・ブリアン
[宝塚歌劇月組]
あ・うん[立川志らく劇団]
宇宙戦争

126 ～ 188

126 18 アルジャーノンに花束を
明日の幸福[新派]
3バカ[転球劇場]
ORANGE[PEAPLE PURPLE]
130 17 The winds of Godエル・カンパニー
ベテラン師と詐欺師
132 16 ラブハンドル
[Parco+Thirdstage Presents]
133 15 La notte
夜の姉妹[リリパットアーミーII]
135 14 恋が散る雪が舞う[前方公演場]
ニューヨークニューヨーク
137 13 海神別荘[歌舞伎座七月公演]
脳内DISCO[bug][QC3000]
桜鬼[clover]
アポロボーイズ
[東京ハートブレイカーズ]
141 12 サンドイッチマン2005～2006
[アングルジャム]
上方花舞台
小鹿物語
ビビビ
満月[夫婦印プロデュース]
146 11 ナンバー6～天使よ故郷をみよ～
[大塚雅史・多可町プロデュース]
Zi-PANG!
コルトガバメント
[東京ハートブレイカーズ]
銀のかんざし[日本香堂]
ENDLESS TRIP[PEAPLE PURPLE]
夢のひと[メイシアター近松プロデュース]
電光石火[ONEOR8]
153 10 STRASER GROUND ZERO[IQ5000]
センスフル[ウルトラナセンズ]
エリザベート[東宝ミュージカル]
Show the Black II[大川興業]
Shoes On!7
おさびしもの[ピチチ5]
159 9 アンデルセン・プロジェクト
SCARS[伊藤えん魔プロデュース]
GUNG-HO
[グーフィー&メリーゴランド]
WEL-COME toパラダイス
[劇団たいしゅう小説家]
三月の5日間[チェルフィッチュ]
天守物語[歌舞伎座七月]
密室彼女[劇団、本谷有希子アウェー]
166 8 AFTERGLOW[Eb]
さようなら僕の小さな名声[五反田団]
大喜利猿[小林賢太郎・野野英和]
三婆
ひかげの軍団[スクエア]
増嶋[劇団宝船]
書く女[二兎社]
ハゲレット
えん魔版曾根崎心中[ファントマ]
XVIII[フキコシ・ソロ・アクト・ライブ]
紫式部ものがたり
178 7 リトルプリンス[音楽座]
脳みそぐちゃぐちゃ人間[毛皮族]
山犬[劇団鹿死オルタナティブズ]
クレイジーフォーユー[劇団四季]
GS近松商店[椿組]
流れ星[東京セレンDX]
SMITH[ピースピック]
恋人たち[ブラジル]
ふたり～I'm Alive～
[フランケンシュタイナー]
いとしのエミー[ブレイメイト]
佐々木の船[ホチキス]
レインマン
純粋人～Juliet～[レモンライブ]
191 6 ボボボーボ・坊ちゃん[石原正一ショー]
ナット・トビラ[維新派]
七人の恋人[ウーマンリブ]
八百屋のお告げ[グループ・る。ばる]
四月のさかな[Sunday]
ジックス[ZIPANG stage]
残酷な神が支配する
[シベリア少女鉄道]
重みたるが隊列
[ジャブジャブサーキット]
I KILL[少年王者館]
女中たち
[G2プロデュース×3軒茶屋婦人会]
神霊矢口渡[歌舞伎座十二月公演]
上方スピリッツ[スクエア]
あいつは泥棒[劇団宝船]
オクラホマ[宝塚歌劇月組]
テングメン[TEAM発端・B・ZIN]
再生[東京デズロック]
戸惑いの日曜日
[東京ヴォードヴィルショー]
2学期の風
変幻自在
One on One
[眞琴つばさディナーショー]

51 ～ 121

51 136 ヘイズ・コード[宝塚歌劇星組]
52 129 昔の侍[サモ・アリナンス]
53 120 デンセイクンブー～転世薫風～
54 117 クロノス横浜公演
[演劇集団キャラメルボックス]
55 100 JUDY[グーフィー&メリーゴランド]
56 99 ファントム[宝塚歌劇花組]
57 93 Real River Vally[ファントマ]
58 90 OUR HOUSE
59 89 LOVE30[PARCOプロデュース]
60 87 クラウディアからの手紙
陥人～どぼんど～
[カムカムミニキーナ・ナレケブランニングpresents]
62 84 蒲田行進曲 城崎非常情編
63 82 父帰る/屋上の狂人
[シス・カンパニー公演]
64 81 大人計画フェスティバル
65 79 2007年メルヘン[コンドルズ]
66 78 初恋のひみつ
[ドナシタイン博士のひみつ学会]
67 77 夏の夜の夢[Studio Life]
68 75 涙う電球[オリガト・プラスティコ]
69 72 白夜の女騎士
70 71 マリウ・アントワネット
71 70 ゴルフ・ザ・ミュージカル～ゴルフなんて大嫌い!～
72 67 麗の森に棲む鬼
73 66 The Worst of…[王立劇場]
74 60 リンデンバウム～回転木馬の檻～
[三日月バビロン]
75 57 ネオ・ダンディズムII[宝塚歌劇星組]
76 55 あずみりターンズ
77 52 トーマの心臓[Studio Life]
78 51 走れオッサン[久保田組]
バンク侍、斬られて候[wat mayhem]
80 50 HUMANITY[地球ゴージャス]
クレオパトラ[ファントマ]
82 49 プライベート・ライヴズ
[PARCOプロデュース]
83 47 オルフェウス回路～地図から零れおちた庭～
[Jules+ジュール]
84 44 ベルサイユのばら[宝塚歌劇星組]
85 43 マジヨ[TEAM発端・B・ZIN]
86 42 銀のキス[Studio Life]
87 40 アジアの女[新国立劇場]
マンドラゴラの降る沼[シティボーイズ]
12人の優しい日本人
90 38 星屑の町 東京砂漠篇[星屑の会]
91 38 奇跡の人
GYF[グーフィー&メリーゴランド]
93 37 アルパトロス、南へ[宝塚歌劇宙組]
94 35 コパカバーナ[宝塚歌劇星組]
95 34 ベルサイユのばら[宝塚歌劇雪組]
NEVER SAY GOODBYE[宝塚歌劇宙組]
97 33 遭難、[劇団、本谷有希子]
98 32 りっしんべん[親族代表]
電界[猫のホテル]
100 31 百鬼夜行抄2[花組芝居]
Windows 5000[ヨーロッパ企画]
102 30 ウィー・トーマス[PARCO PRODUCE]
ザ・クラシック[宝塚歌劇宙組]
The old clock[PEAPLE PURPLE]
2 cheat 3[wat mayhem]
106 29 東海道四谷怪談[コクーン歌舞伎]
ATOM'06[THE CONVOY SHOW]
夢の城[ポツドル]
ブルーバース・ブリーダース
[ヨーロッパ企画]
うたかたの恋[宝塚歌劇花組]
落陽のバレル木[宝塚歌劇花組]
112 27 オレノカタワレ[30-DELUX]
全国ツアー・ベルサイユのばら
[宝塚歌劇宙組]
約束[月影十番勝負第十番 SASORIIX]
115 26 桜合戦狂騒曲
あかねさす紫の花[宝塚歌劇月組]
117 25 道子の調査
[ベンギンブルバイルバイルズ]
118 24 勝利への脱出[コンドルズ]
119 23 Young Bloods!～青春花模様～
[宝塚歌劇花組]
120 21 紙屋町さくらホテル[こまつ座]
121 20 MIND TRAVELLER[宝塚歌劇花組]
夕景殺伐メロウ[デス電所]
123 19 ナンパダ・ワールド・ダンシング
[スーパーエキセントリックシアター]
エキストラ[東京ヴォードヴィルショー]
わが歌ブキウギ

1 ～ 50

1 3192 メタル マクベス
[SHINKANSEN☆RS]
2 2307 少年ラヂオ
[演劇集団キャラメルボックス]
3 2321 雨と夢のあとに
[演劇集団キャラメルボックス]
4 1363 ウーマンリブ先生
[ウーマンリブ]
5 1367 ローブ
[NODA・MAP]
6 1366 噂の男
[PARCO presents]
7 1367 まとまったお金の唄
[大人計画]
8 1221 ミス・ダンデライオン
[演劇集団キャラメルボックス]
9 945 オレステス
10 878 TAKE OFF～ライト三兄弟～
[KKP #5]
11 933 BIGGEST BIZ
[AGAPE store]
12 776 イヌの日
[阿佐ヶ谷スパイダースPRESENTS]
13 711 悪作・罪と罰
[NODA・MAP]
14 692 Cat in the Red Boots
[SHINKANSEN☆NEXUS vol.2]
15 604 桜飛沫
[阿佐ヶ谷スパイダースPRESENTS]
16 601 タンゴ・冬の終わりに
[ナイロ100℃]
17 577 カラフルメリィでオハヨ
[ナイロ100℃]
18 523 ライフ・イン・ザ・シアター
19 498 ナイス・エイジ
[ナイロ100℃]
20 465 決闘! 高田馬場
[PARCO歌舞伎]
21 414 あした あなた あいたい
[演劇集団キャラメルボックス]
22 386 ヴァージニア・ウルフなんか
ごわくない?
[シス・カンパニー公演]
23 359 ○-maru-
[KENTARO KOBAYASHI LIVE
POTSUNEN 2006]
24 353 JAILBREAKERS
25 325 狼のゆりかご
[シス・カンパニー公演]
26 312 しあわせのつぼ
27 308 開放弦
28 296 労働者M
29 289 間違いの喜劇
30 263 ニコラス・マクファーソン
[Piper]
31 259 あわれ彼女は娼婦
32 230 タランテラ!
[宝塚歌劇宙組]
33 215 みんな昔はリーだった
34 199 トーチング・トリロジー
[PARCOプロデュース]
35 186 極楽トンボの終わらない明日
[演劇集団キャラメルボックス]
36 177 びっくり箱～姉妹編～
37 176 賢治鳥探検記
[演劇集団キャラメルボックス]
38 170 そこそこの男
[表現・さわやか]
39 167 スピズビ。
[劇団M.O.P.]
40 160 泥棒役者
[劇団たいしゅう小説家]
41 158 魔界転生
42 155 MYTH
43 153 愛するには短すぎる
[宝塚歌劇星組]
44 152 ELDORADO
～BEST OF CONDORS～
[コンドルズ]
45 147 タイタス・アンドロニカス
46 147 フロシキ
[カムカムミニキーナ]
47 146 聖天使の涙
[宝塚歌劇宙組]
48 146 俺たちは志士じゃない
[演劇集団キャラメルボックス]
49 139 ダンス・オブ・ヴァンパイア
50 139 ベガーズ・オペラ

作品 チャート

1-424

今回は何といつても「メタルマクベス」の圧勝!でした。新路線の持つ華やかさ、宮藤官九郎脚本のボツボツキャストの豪華さと、非の打ち所は何かといつても「メタルマクベス」の圧勝!でした。新路線の持つ華やかさ、宮藤官九郎脚本のボツボツキャストの豪華さと、非の打ち

ちドコロのない娯楽作品として多くの支持を集めたのも納得。続いて、毎年高い人気のキャラメルボックス作品が続けてランクイ

ン。原作ものの「雨夢」、オリジナルの「少年ラヂオ」、どちらもキャラメルボックスの魅力が満載。以降、宮藤官九郎、野田秀樹、福島

三郎&ケラリリーノ・サンドロ・ヴィッチ、松尾スズキ、蜷川幸雄、小林賢太、と、演劇界珠玉の才能の数々が名を連ねたランキン

発表!!

えんぶチャート

2006

2006年もつとも注目を集めた舞台&俳優を選ぶ読者の投票による人気ランキン、えんぶチャート!! あなたの心を奮わせた作品・俳優は果たして何位?

acteur

【アクチュエル】最新刊 No.5



表紙巻頭特集
オダギリジョー

インタビュー 井ノ原快彦、塚本高史、北村一輝、三宅健、中川晃教、Question?／ロングルボ 唐沢寿明／連載 小栗旬報、長塚圭史対談ゲスト柄本明 etc.、A4判変型／100ページ／定価980円(税込)

- バックナンバー
- No.1** 巻頭特集 **豊川悦司**
 - No.2** 巻頭特集 **妻夫木聡**
 - No.3** 巻頭特集 **阿部 寛**
 - No.4** 巻頭特集 **木村拓哉**
- 各巻ともA4判変型／定価980円(税込)

*** 編集部ブログ更新中! ***
<http://www.kinejun.com/acteur/blog.html>

長塚圭史対談集 COFFEE SHOP2



キネマ旬報社
東京都港区赤坂4-9-17 TEL 03-6439-6462
<http://www.kinejun.com>

倉本徹
栗原茂[三日月バビロン]
古賀剛[コンドルス]
古賀今日子
[Che carino/Che carina!]
後藤はは [はちみつパイ]
小林レイ [劇団左]
小林愛
[TEAM発砲・B・ZIN]
小林美江 [東京ヴォードビルショー]
小松由季
[Jules+ジュール]
小宮孝泰
小山力也 [俳優座]
近藤芳正
斎藤謙 [劇団昂]
堺沢隆史 [猫☆族]
坂本ユカ [ファンタマ]
佐本玲奈
さとうこうじ
佐野功
澤田育子
[拙者ムニエル]
汐風幸
詩梨
品川徹
清水広太郎
下西啓正 [乞丐]
真藤洋
菅原大吉
杉崎佳穂
鈴木つかさ
[THE PLAN9]
鈴木真実
[Jules+ジュール]
関根麻里
高田剛央 [TPS]
武田義晴
田村いづみ
土屋裕一
ツルオカ
富永研司 [JAE]
友成隆 [Hit And Away]
中村英司 [ZIB]
生井景子 [DMF]
南波典子
西田幸雄
[ビートル★プロデュース]
野田晋吾
島中洋
林真也
原朋也
[くろいぬパレード]
美音津雄介
ヒロシ
福井倫世
[POSTER COVER]
福田靖久
船橋裕司
[アクションクラブ]
堀内健
松下哲
三上俊 [Studio Life]
向田倫子 [ババロワ]
武藤与志剛 [劇団昂]
森光子
森谷ふみ
八代進一 [花組芝居]
山路和弘 [青年座]
山田かつう
[赤犬隊ビーム]
山本陽子
悠まひる [宝塚歌劇団]
横道義
吉田羊 [東京スウィカ]
吉田隆太
米村亮太郎 [ボッセル]
蘭寿とむ [宝塚歌劇団]
若杉宏二
[流山児★事務所]
渡辺正
渡辺美佐子 [地人会]

うまし [Hit And Away]
大高洋夫
大森南朋
岡島に美 [しずくま]b]
緒月遠麻 [宝塚歌劇団]
甲斐大介
[スペースノイド]
川内一子
[劇団21世紀FOX]
きたろう
[シティボーイズ]
木原春菜 [三日月バビロン]
別動隊Jules+ジュール
工藤由佳子
[渡辺源四郎商店]
黒田勇樹
後藤英樹 [そばごもち]
駒田一
小松君和
[神様プロデュース]
小山めぐみ
[劇団SKグループ]
斎藤ゆき
佐々木愛 [劇団文化座]
佐々木幸子 [野鳩]
重実百合
[クロムモリブデン]
篠田剛 [演劇集団キャメルボックス]
篠原涼子
白石加代子
城越理恵
関根勤
曾我泰久
高橋忍 [グーフィー&メリーゴロランド]
高橋優子
高山和之
[くろいぬパレード]
竹井亮介 [親族代表]
竹下宏太郎 [Piper]
築谷直緒
[三日月バビロン]
月野原りん
[ハグハグ共和国]
寺越隆喜 [NG企画]
なかつた
[トランスパンダ]
西田大輔
[アランドロメス]
西山ひな
[GOGOマグネツ]
春口智美 [維新派]
藤井理代
[テラ・ワーツ・ファクトリー]
藤本孝 [地人会]
布施明
舞風りら
真中健
美奈奈 [劇団前方公演]
南好洋 [劇団左]
美波
末涼亜希 [宝塚歌劇団]
山崎銀之丞
山崎清介
山田将之
山田百次 [弘前劇場]
山田豪 [しずくま]b]
吉田智則
芳野友美 [女優]
554
赤星マサノリ [sunday]
浅井さやか
[One on One]
旭道南半球
阿部有希 [グーフィー&メリーゴロランド]
石井壮太郎
[ダムダム弾団]
市川笑也
稲荷卓史 [唐組]
今村ねずみ
[THE CONVOY]
岩崎隆 [NG企画]
及川健 [Studio Life]
大友久志 [劇団零式]
大原優貴
[Jules+ジュール]
大森ヒロシ [東京ヴォードビルショー]
大矢愛弓
岡森謙 [劇団扉座]
岡田フレタ
おくむらたかし [グーフィー&メリーゴロランド]
小野寺隆一
[劇団前方公演]
カオティックコスモス
[はえぎわ]
加藤大輔 [Eb]
木内みどり
菊池敏弘
桐山ゆみ
[座☆スティング]

【えんぶチャート記念クイズ!!】
1位と2位が逆だった、2位と3位が…など、ものすごく惜しかったかたは5名。しかし、ビンゴ! 正解者は今回も残念ながらいませんでした。
また来年!

上村吉弥
榎本淳 [三日月バビロン]
近江新之介
[近江飛龍劇団]
寛利夫
片山健 [劇団前方公演]
加藤久美
[ブレーメン演劇隊]
加藤敦 [ホチキス]
クヰタマコ
[タタタ探検組合]
楠美津香
久保田浩 [遊気舎]
熊谷和徳
黒田大輔
[THE SHAMPOO HAT]
桑原裕子 [KAKUTA]
小島達子
[劇団イナダ組]
小林千恵 [演劇集団キャメルボックス]
小松利昌
[劇団☆世界一団]
桜井昭博 [Rel-ay]
佐々木さりえ
佐藤雄平 [盗難アジア]
三瓶大介 [ククルカン]
島田敬穂
新川将人
鈴木舞花
[劇団前方公演]
すほうれいこ
瀬川亮
タイシン大屋
[劇団☆新感線]
高井浩子
[東京タンバリン]
高木尚三
[サモ・アリナンス]
高橋恵子
滝沢明弘 [どて劇団]
武志志朗 [Peak-a-Boo]
武田力 [劇団零式]
田嶋香子 [デス電所]
立川三貴
田中允貴 [セメント金魚]
谷原章介
玉野和紀 [マリアート]
月川悠貴
佃典彦 [劇団B級遊撃隊]
筒井結二
都築薫 [マジヨリカ]
剣幸
手塚とおる
島井信康
永井誠 [劇団昂]
中川琴乃 [超人予備校]
奈良岡朋子
新妻聖子
林克治 [カリカ]
白色ともゑ [地人会]
樋口武彦
星野重雄 [グーフィー&メリーゴロランド]
マギー
松村翔子
[チェルフィツェ]
松本慎也 [Studio Life]
穂谷友子
宮崎杜夢 [大人計画]
宮地雅子
宮本裕子
美輪明宏
ムロツヨシ
森山開次
八十田勇一
山崎順一 [Studio Life]
山田 [同僚人]
山田まりや
山中たかし [扉座]
山本佳希 [Attic Theater]
YOU
487
青木準 [E6]
赤堀雅秋
[THE SHAMPOO HAT]
浅越ゴエ [THE PLAN9]
浅野泰徳
[ジャングルベルシアター]
山下正樹
[シバングステージ]
飯塚俊太郎
石田剛太
[ヨーロッパ企画]
市川しんべい
[猫のホテル]
伊藤つかさ
伊藤修子
[拙者ムニエル]
伊藤和晃 [劇団昂]
今井朋彦 [文学座]
宇堀剛士
右近良之
[THE CONVOY]
風緒かなめ
[宝塚歌劇団]
藤田記子
[カムカムミニキーナ]
藤田善宏 [コンドルス]
古館寛治 [青年団]
魔人ハンターツルギ
[超人予備校]
増本庄一郎
松雪泰子
美加理 [ク・ナウカ]
山形涼太 [アッパーカット]
山寺宏一
優也 [劇団左]
良田麻美 [SET]
わかぎまふ
[リリパットアミーII]
354
愛音羽麗 [宝塚歌劇団]
石波涼子 [劇団昂]
磯野慎香
[劇団☆新感線]
井之上隆志
岩田雄二
[H男盛りレコーズ]
岩本靖輝 [猫のホテル]
延命聡子
央歩 [fuzzy m.Arts]
大浦龍一
風間
小倉久実 [スーパーエキセントリックシアター]
音月桂 [宝塚歌劇団]
音乃いづみ
[宝塚歌劇団]
片岡孝太郎
加藤敦二 [劇団四季]
上別府学 [超人予備校]
川崎麻世
岸谷五朗
北翔海莉 [宝塚歌劇団]
木室陽一 [(-2)LDK]
橋見靖子
坂本昌行
佐々木敦 [OM2]
佐藤仁志 [30-DELUX]
塩野谷正幸
[流山児★事務所]
寺十吾
[Isumazukino-ishi]
白井晃
杉山薫 [NYLON100℃]
高乃麗 [リマックス]
滝沢久美
[ZIPANG stage]
谷屋俊輔
[特攻舞台Baku!]
辻修 [動物電気]
津留崎夏子
[明日カツ井!企画]
戸井勝海
仲代達也 [無名鑑]
中村たかし
[宇宙Dコード]
西ノ園達大
[TEAM発砲・B・ZIN]
猫背糖 [大人計画]
樋口真衣
[劇団前方公演]
平沼紀久
[劇団方南ぐみ]
広田あきほ
[劇団前方公演]
Hiropo
[が〜まろちよぽ]
保坂知寿 [劇団四季]
堀内敬子
松崎映子
[マシガンデンニロ]
松下幸史 [動物電気]
松下隆
松村武
[カムカムミニキーナ]
松本キック [大川興業]
宮本亮 [劇団昂]
村岡希実
[NYLON100℃]
森澤匠晴 [スクエア]
山下容莉枝
山本洋輔 [ホチキス]
萬谷奥之
[Studio Life]
409
秋間登 [劇団昂]
浅野和之
家納ジュンコ
[サモ・アリナンス]
石川輝
石坂勇 [THE CONVOY]
石橋亜希子 [青年団]
伊藤理昭
乾あきお
岩淵敬司
[くろいぬパレード]

268
268
明石家さんま
今村佳岳
[カムカムミニキーナ]
須藤夜羽
[三日月バビロン]
長田奈麻
[NYLON100℃]
尾上松也
笠原浩夫 [Studio Life]
片岡愛之助
工藤順矢
[TEAM発砲・B・ZIN]
黒川泰佑
[北区つかこうへい劇団]
寿つかさ [宝塚歌劇団]
音木しげる
[シティボーイズ]
拓巳匠丞 [グーフィー&メリーゴロランド]
中野剛一 [010534J]
和田ひろこ [ONEOR8]
282
阿久津勝哉 [遊気舎/フランケンシュタイン]
江頭2.50 [大川興業]
及川直紀
[リリパットアミーII]
鎌田健太
熊谷聖実
[三日月バビロン]
佐久間京子
桜一花 [宝塚歌劇団]
佐藤B作
[東京ヴォードビルショー]
清水宏
清水浩智 [S.W.A.T.]
壮一帆 [宝塚歌劇団]
高橋まさかず
[劇団ショーマ]
高畑淳子 [青年座]
高山広
鏡形比呂
[THE CONVOY]
千葉雅子 [猫のホテル]
津田健次郎
寺島康文
堂本光一
富岡晃一郎
中村まこと [猫のホテル]
奈須美 [スクエア]
早霧せいな [宝塚歌劇団]
ほくもとさきこ [ペンギンパレルバイブルス]
村岡ミヨ [新派]
山浦徹 [化石オートバイ]
山本聡司 [鹿殺し]
山本學
310
朝倉伸二
浅野雅博 [文学座]
阿南敦子 [東京セレソンDX]
石川裕子
一ノ瀬めぐみ
[月録歌劇団]
占部房子
江田由紀浩
[劇団イナダ組]
江戸川礼丸 [ホチキス]
近江飛龍
大谷由梨佳 [グーフィー&メリーゴロランド]
小野剛弘 [I.O.H.]
浅沢敦
河原雅彦
神田秀樹
[ジャングルベルシアター]
木下瑞穂 [万有引力]
恵安亭遊佐
くにもとゆきとし
[KUSARE芸道]
嶋澤ひろみ
[劇団前方公演]
白井宏幸
[劇団寂だけドステキ]
杉浦理史
[bird's-eye view]
関戸博一
[Studio Life]
竹内都子
徳岡あつろ
豊田真吾
仲坪由紀子
中野裕理 [DMF]
中村京葉
中村真季子
中山玲 [劇団零式]
西村たけお
[宇宙Dコード]
大真みらん
オウシージュ [QC3000]
首藤健祐
[東京ハートブレイカーズ]
中野圭 [劇団前方公演]

180
上瀬昇一郎 [空晴]
根田淳弘
櫻井章喜 [文学座]
高橋由美子
多田直人
[演劇集団キャメルボックス]
藤元英樹 [シアターガッツ]
盛井雅司 [ファンタマ]
188
かやべせいこ [三日月バビロン]
栗田かおり
花織まり
新納慎也
192
岩崎大 [Studio Life]
古澤裕介
[ゴキブリコンビナート]
194
北村守 [スクエア]
田中哲司
田村たがめ [大人計画]
中嶋朋子
水島由夏 [clover]
199
安寿ミラ
一色涼太
伊藤ひろみ
[演劇集団キャメルボックス]
岡時朗
轟悠 [宝塚歌劇団]
204
萩原聖人
橋田健一郎
前田雄
[演劇集団キャメルボックス]
松岡昌宏
山中崇 [青島レコード]
209
石原さとみ
伊藤美穂 [動物電気]
伊藤明賢
今奈良孝行 [エッへ]
岡部尚子 [空晴]
勝地涼
篠原ともえ
三宅健
村上航 [猫のホテル]
渡辺えり子
渡辺哲
有馬自由 [扉座]
植本潤 [花組芝居]
大畑こういち
勝山康晴 [コンドルス]
小泉今日子
近藤公園 [大人計画]
坂田聡
清水順二 [30-DELUX]
武田真治
森下仁恵 [PEOPLE PURPLE]
家城啓之 [カリカ/乙女少年団]
231
青田潤一 [コンドルス]
阿南敦子 [東京セレソンDX]
内田慧
大塚ひろ
唐沢寿明
佐々木康志 [ダメとアジア]
装城るい
嶋倉雷俊 [花組芝居]
常盤貴子
ともさかりえ
中村勘三郎
野田秀樹
深沢敦
吹越満
249
浦井健治
角野卓造 [文学座]
黒谷友香
中村橋之助
橋爪功 [演劇集団門]
坂東玉三郎
舟見和利 [Studio Life]
真木よう子
町田マリー [毛皮族]
三浦剛
[演劇集団キャメルボックス]
渡辺いつけい
256
相原ひな [clover]
赤坂晃
飯野智行 [劇団イナダ組]
市川海老蔵
植木夏十 [NYLON100℃]
上田一軒 [スクエア]
白井琢也 [BQ MAP]
梅沢昌代
大真みらん
オウシージュ [QC3000]
首藤健祐
[東京ハートブレイカーズ]
中野圭 [劇団前方公演]

101
101
富田靖子
102
野間口徹 [親族代表]
野村萬斎
長谷川博己
105
105
106
106
107
107
108
108
109
109
110
110
111
111
112
112
113
113
116
116
122
122
125
125
126
126
128
128
129
129
130
130
132
132
133
133
134
134
135
135
137
137
139
139
140
140
141
141
143
143
144
144
145
145
147
147
150
150
152
152
153
153
154
154
156
156
159
159
162
162
164
164
167
167
169
169
170
170
173
173
176
176
180
180
51
51
52
52
53
53
54
54
55
55
56
56
57
57
58
58
59
59
60
60
61
61
62
62
63
63
64
64
65
65
66
66
67
67
68
68
69
69
70
70
71
71
72
72
73
73
74
74
75
75
76
76
77
77
78
78
79
79
80
80
81
81
82
82
83
83
84
84
85
85
86
86
87
87
88
88
89
89
90
90
91
91
92
92
93
93
94
94
95
95
96
96
97
97
98
98
99
99
100
100
101
101
102
102
103
103
104
104
105
105
106
106
107
107
108
108
109
109
110
110
111
111
112
112
113
113
114
114
115
115
116
116
117
117
118
118
119
119
120
120
121
121
122
122
123
123
124
124
125
125
126
126
127
127
128
128
129
129
130
130
131
131
132
132
133
133
134
134
135
135
136
136
137
137
138
138
139
139
140
140
141
141
142
142
143
143
144
144
145
145
146
146
147
147
148
148
149
149
150
150
151
151
152
152
153
153
154
154
155
155
156
156
157
157
158
158
159
159
160
160
161
161
162
162
163
163
164
164
165
165
166
166
167
167
168
168
169
169
170
170
171
171
172
172
173
173
174
174
175
175
176
176
177
177
178
178
179
179
180
180
181
181
182
182
183
183
184
184
185
185
186
186
187
187
188
188
189
189
190
190
191
191
192
192
193
193
194
194
195
195
196
196
197
197
198
198
199
199
200
200
201
201
202
202
203
203
204
204
205
205
206
206
207
207
208
208
209
209
210
210
211
211
212
212
213
213
214
214
215
215
216
216
217
217
218
218
219
219
220
220
221
221
222
222
223
223
224
224
225
225
226
226
227
227
228
228
229
229
230
230
231
231
232
232
233
233
234
234
235
235
236
236
237
237
238
238
239
239
240
240
241
241
242
242
243
243
244
244
245
245
246
246
247
247
248
248
249
249
250
250
251
251
252
252
253
253
254
254
255
255
256
256
257
257
258
258
259
259
260
260
261
261
262
262
263
263
264
264
265
265
266
266
267
267
268
268
269
269
270
270
271
271
272
272
273
273
274
274
275
275
276
276
277
277
278
278
279
279
280
280
281
281
282
282
283
283
284
284
285
285
286
286
287
287
288
288
289
289
290
290
291
291
292
292
293
293
294
294
295
295
296
296
297
297
298
298
299
299
300
300
301
301
302
302
303
303
304
304
305
305
306
306
307
307
308
308
309
309
310
310
311
311
312
312
313
313
314
314
315
315
316
316
317
317
318
318
319
319
320
320
321
321
322
322
323
323
324
324
325
325
326
326
327
327
328
328
329
329
330
330
331
331
332
332
333
333
334
334
335
335
336
336
337
337
338
338
339
339
340
340
341
341
342
342
343
343
344
344
345
345
346
346
347
347
348
348
349
349
350
350
351
351
352
352
353
353
354
354
355
355
356
356
357
357
358
358
359
359
360
360
361
361
362
362
363
363
364
364
365
365
366
366
367
367
368
368
369
369
370
370
371
371
372
372
373
373
374
374
375
375
376
376
377
377
378
378
379
379
380
380
381
381
382
382
383
383
384
384
385
385
386
386
387
387
388
388
389
389
390
390
391
391
392
392
393
393
394
394
395
395
396
396
397
397
398
398
399
399
400
400
401
401
402
402
403
403
404
404
405
405
406
406
407
407
408
408
409
409
410
410
411
411
412
412
413
413
414
414
415
415
416
416
417
417
418
418
419
419
420
420
421
421
422
422
423
423
424
424
425
425
426
426
427
427
428
428
429
429
430
430
431
431
432
432
433
433
434
434
435
435
436
436
437
437
438
438
439
439
440
440
441
441
442
442
443
443
444
444
445
445
446
446
447
447
448
448
449
449
450
450
451
451
452
452
453
453
454
454
455
455
456
456
457
457
458
458
459
459
460
460
461
461
462
462
463
463
464
464
465
465
466
466
467
467
468
468
469
469
470
470
471
471
472
472
473
473
474
474
475
475
476
476
477
477
478
478
479
479
480
480
481
481
482
482
483
483
484
484
485
485
486
486
487
487
488
488
489
489
490
490
491
491
492
492
493
493
494
494
495
495
496
496
497
497
498
498
499
499
500
500
501
501
502
502
503
503
504
504
505
505
506
506
507
507
508
508
509
509
510
510
511
511
512
512
513
513
514
514
515
515
516
516
517
517
518
518
519
519
520
520
521
521
522
522
523
523
524
524
525
525
526
526
527
527
528
528
529
529
530
530
531
531
532
532
533
533
534
534
535
535
536
536
537
537
538
538
539
539
540
540
541
541
542
542
543
543
544
544
545
545
546
546
547
547
548
548
549
549
550
550
551
551
552
552
553
553
554
554
555
555
556
556
557
557
558
558
559
559
560
560
561
561
562
562
563
563
564
564
565
565
566
566
567
567
568
568
569
569
570
570
571
571
572
572
573
573
574
574
575
575
576
576
577
577
578
578
579
579
580
580
581
581
582
582
583
583
584
584
585
585
586
586
587
587
588
588
589
589
590
590
591
591
592
592
593
593
594
594
595
595
596
596
597
597
598
598
599
599
600
600
601
601
602
602
603
603
604
604
605
605
606
606
607
607
608
608
609
609
610
610
611
611
612
612
613
613
614
614
615
615
616
616
617
617
618
618
619
619
620
620
621
621
622
622
623
623
624
624
625
625
626
626
627
627
628
628
629
629
630
630
631
631
632
632
633
633
634
634
635
635
636
636
637
637
638
638
639
639
640
640
641
641
642
642
643
643
644
644
645
645
646
646
647
647
648
648
649
649
650
650
651
651
652
652
653
653
654
654
655
655
656
656

ひょっとこ乱舞

銀髪



生まれてくるものへの思い

ときにリスミカルに、ときに静かに語られる膨大な台詞と、大勢の役者が吉祥寺シアターを駆け回る躍動感。回想シーンをふくめ、30人の登場人物の数だけあるエピソードで構築された物語は、複雑な構造ながら、核にある「思い」がストレートに伝わってきた。

主役で、演出の広田淳と、今回主演のチョウソンハは、それぞれどんな思いで挑んだのだろう。

ヒーロー不在の時代に

——今回は再演ですが、04年の初演と比べて変わったところはありますか？

広田 台本はだいぶ書き替えていますね。半分以上替えているんじゃないかな？

チョウ 初演のときは、役者が今回の三分の一もいなかったんです。

広田 僕はいつも筋書きを考えて書くというよりは、役者ありきで書いていくんです。今回は役者が30人というのはあったんですが、やっぱりまずは「一人」を見て、こいつは

こんな役だな、というところから始めて。じゃあ、こいつがこんなヤツになったのはなんでだろう？というふうにエピソードをどんどん遡って考えていったんです。

チョウ 30人と一人がぶつかり合ってたから、最初はどつなるとか思いましたよ（笑）。

広田 でも、やっぱり「銀髪」って、会社内部の事情を描くじゃないかと思って。会社とは関係ない人間のこと、台詞で説明するだけじゃなく、ちゃんと生身の人間として登場させたかったんです。自分的にはこれはもう初演とは別物だと思ってますね。

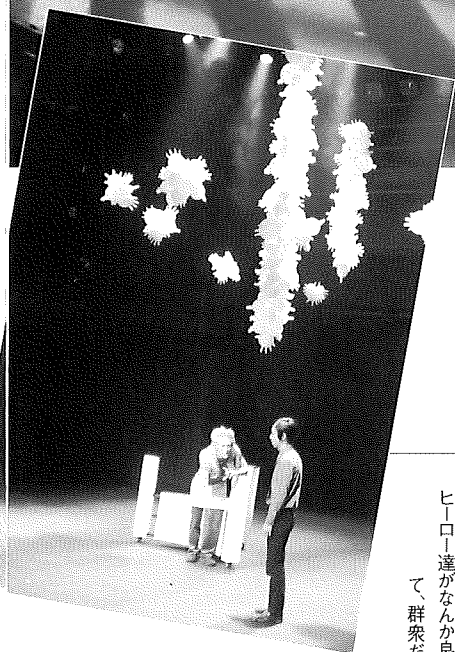
チョウ 初演はもつとわがわがわが感という感じが、意味不明な台詞みたいなのもありましたね。

——話は複雑ですが、わかりやすいメッセージがあったように感じました。

広田 そうですね。まずは「パニック」をビジネスにするというアイデアが先行したんですけど、その時にこれはテロの問題とつながってるな、というのを意識して、いっせ逃げてデマ化してみた。でも日本人としてのテロは「ミス」としては日常化しているけど、やはり現実感を欠いているわけで……。だからその香気も込みで「日本のパニック」を描こうと思ったんです。あとは……今、ヒーローが成立しない世界というのを生きているな、と思いついて。誰もヒーローにならないということ、テロというのは無関係じゃないと思うんです。今は、それこそ軍人でも何でもない市民がロケット砲を持ち出すことなんかもあるわけだし？。そういう群衆の力が、もし暴走しちゃったら誰にも制御できないんじゃないかと思いついて、そういう、すべてのヒーロー達がなんかい感の場所から引き摺り下ろされて群衆だけが勝手にうごめいているような状態……。それを描きたかった。

——そこに「誕生」というモチーフが絡んできていました。

広田 はい。生まれてくる赤ん坊にとつてこの世はパニックそのものだ、ということも思っています。それがパニックビジネスの究極の形じゃないけど、そういう気がしたんです。それで「命」とか「生まれてくるものへの思い」という問題とパニック・ビ



作・演出◎広田淳一
出演◎チョウソンハ 倉田大輔 草野たかこ 西光カイ 横山大地 香西南里 根岸絵美 橋本仁 泉光典 小野野球 板倉七ヒロ 高橋恵 並井里美 猪股直樹 小寺悠介 橋爪玲奈 木引優子 香原達也 小杉美香 伊東沙保 加茂みかん コスゲヒロシ 金子優子 泉谷康介 山森信太郎 大塚純一 森田義朗 松下仁 中村早香 長谷川せい 遠藤友香理
1/24~28◎吉祥寺シアター

くるが「銀髪」は、船場種吉（チョウソンハ）を中心に、「パニック」を売って儲けている。人間の欲望に無限がないため、違法スレスレのことをやりながら、会社は急成長していく。そんななか、種吉は、会社の集大成となる一大イベント「ノストロドン」を計画するが……。



ネスが自分の中でつながったんです。

目算を立てない動き

——台詞に勢いがあるというか、二つの言葉が面白いので、聞いているだけで世界に入っている感じがしました。

チョウ やつる側も気持ちいいし、そういうふうに書いてくれるんですね。今回僕がやったみたいな役は、台詞の量は多いですが、その分、中に全部書いてあるから、すごく入りやすいんです。役者ありきで台本を書く、つまりさきも言うてたけど、台本を読むだけで役に入っているのか、これだけ入りやすい役というのはどこでやってもないですし、それだけの役を書いてもらって、そのなかにいさせてもらえると

いうのは、すごく幸福なことだと思います。

——また、吉祥寺シアターという広い空間を大勢の役者さんたちが走り回って、迫力がありました。

広田 そうですね。30人でいっぺんに出られる空間というのは、やって楽しかったですね。

チョウ いや、大好きですよ！ いろんなところを走らせてもらえて（笑）。スポーツみたいな感覚ですね。あつち行ったら今度はこっちが、みたいな。後先考えずに、そのときや



りたい動きばかりやってしまおうので、通してやってみるとかなりキツかったです（笑）。……目算を立てずに走っちゃったから（笑）。

広田 このぐらいフリーの空間があると、まあ水を得た魚みたいなになる人、持て余しちゃう人とかやっぱり出てきましたね。まあでも……、動きに関しては今回、野放しです（笑）。やっぱり躍動感というか、そういう部分は今後とも欲しいなと思っています（笑）。

チョウ 次はぜひ目算を立てて（笑）。

チョウソンハ



ひろたじゅんいち◎78年生まれ、東京都出身。東京大学在学中の01年に「ひょっとこ乱舞」を旗揚げ。主宰としてすべての作品の作・演出を手がける。04年に若手演出家コンクールにて最優秀賞を受賞。

次回予定◎ひょっとこ乱舞「タイトル未定」9/23~10/3◎こまばアゴラ劇場

ちようそんは◎81年生まれ、東京都出身。ひょっとこ乱舞には旗揚げから参加。その後、北区つかこうへい劇場を経て、04年にひょっとこ乱舞へ復帰。以降は全作品に出演するかたわら、外部出演も多数。近年の出演作に「ウィット・マース」「エビ大王」などがある。

次回予定◎「エンジェル・イン・アメリカ」3/20~4/8◎ペニサン・ビッド◎「夏の夜の夢」5/31~6/17◎新国立劇場中劇場

「演劇」を「仕事」にしたい人へ。



演劇や舞台に出演して、ギャランティをもらいながら、プロフェッショナルとして生活できるのは、ほんの一握りの人々です。

プロになるには、様々な条件があります。技術、体力、努力、心、情熱、運、出会い……。プロの現場は、想像以上に過酷です。ハードなスケジュールの中、いつでも喜びとやる気と誇りに満ちて活躍し続けることはとても難しいことかもしれません。

私たちは、「それでもプロの扉を開きたい」と願う人々との、新たな出会いを待っています。

洗練された身体表現と40本のレパートリー短編作品で、全国のホールや演劇鑑賞団体から招聘されているプロフェッショナルカンパニー・ディリーアウルシアターのオーディションに、あなたの情熱をぶつけてください。

募集：新人俳優／演出部スタッフ（演出補・演出助手）
資格：18～30歳の男女（俳優は未経験者可・演出部スタッフは演劇経験者のみ）
方法：履歴書（バスタブ・全身写真添付）、演劇活動経歴、作文「演劇の仕事で一番大切なことは？」の一次書類を下記の宛先に送付し、書類審査通過者のみ、二次審査実技オーディション（演出部スタッフは二次面接）
宛先：〒173-0023 東京都板橋区大山町30-11 2F 有限会社フロントステージ舞台芸術事業部
二次審査日程：4月7日（土）
一次書類〆切：3月30日（金）必着
待遇：合格者には、研修後に出演契約し、1ステージごとに規定のギャランティを支給。
演出部スタッフは、研修後に演出サポート業務。所属演出家としてデビュー。
問合せ：有限会社フロントステージ舞台芸術事業部
03-3530-5316（担当：齊藤） info@frontstage.co.jp
URL: http://www.dowl.net

メタリック農家

癖

脚本・演出 湯本英

2007年3月28日[水]～4月3日[火]劇場MOMO

http://www.metanou.com/

撮影：山崎のりあき

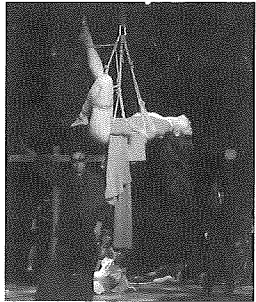
シバのミカタでは読者の皆様からの投稿レポートを募集しております。面白い作品を観た感動を色んな人に伝えたい!と思っている演劇好きのあなた、ご応募お待ちしております! 尚、投稿レポートを採用させて頂いた方には掲載誌を贈呈致します。

※投稿は、①公演名・劇団名、②レポートのタイトル、③レポート本文(200字以内)、④公演クレジット、⑤投稿者のお名前・住所・電話番号をご記入の上、封書またはメールにて受け付けております。本誌掲載の際にはこちらからご連絡を差し上げます。掲載に関するお問い合わせは応じかねますのでご了承下さいませ。

▶▶ 応募先
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg. 4F
南演劇ぶっく社 シバのミカタ投稿レポート係
E-mail: info@enbu.co.jp

『花と蛇』

月蝕歌劇団



撮影：濱口太

舞台上で調教される女優たち

遠山財閥の夫人・静子と義理の娘・桂子は、監禁され、SM調教を施される。さらに江戸時代のお蘭と雪路という、遠山家の祖先の物語も交錯し……。緊縛師の有末剛により実際に舞台上で縛られたりと、ハードなシーンを女優たちが体当たりで演じた。特にラストシーン、静子役の三坂知絵子が縛られながら吊り上げられる様は凄まじく、不思議な感動を覚えた。(渡辺)

原作：四鬼六 脚本・演出：高取英 音楽：J・A・シーサー 出演：三坂知絵子 合沢晴 一ノ瀬めぐみ 貴金咲ひろ 木塚聡 豊生愛美 大島朋恵 天正彩 有村深羽 豊田ゆかり オンディーヌ美咲 高田ゆかり 門田京三 岡崎育也 瀧口悠央 保崎美菜 iskiワウユカ 有末剛 他 2/1～4◎本多劇場 次回予定：◎白夜月蝕の少女航海記 3/4・11・18・25◎阿佐ヶ谷JAMBJAM(問い合わせ：070-5081-7223) ◎「寺山修司—過激なる疾走—」8/23～26◎紀伊國屋ホール

『地獄八景・浮世百景』

北九州芸術劇場プロデュース



撮影：谷古宇正彦

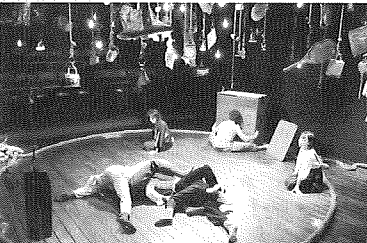
落語が持つ生きるエネルギー

落語の世界には、喰えないやつ、手に負えないやつ、破天荒なやつがわんさと出てきては、しょうもないことに、周りを巻き込んでいく。ある意味では、うとうとして迷惑な話ばかりなのに、意外にも落ち着く先には、人間が営む日々の暮らしの喜びや悲しみが描かれていて、ちょっと胸が熱くなったりする。そんな奥の深い「落語」をネタに、豪華な出演者（なんと市川笑也が8役したりするのだ!）が、大騒ぎするこの舞台。脚本を担当した東野ひろあきによると、参考にした上方落語の数は20に近いとか。そのたくさんの「噺」に息づく「生きるエネルギー」が、この舞台にはしたたかに渦巻いていた。(椿原)

監修：桂米朝 脚本：東野ひろあき 演出：G2 出演：佐藤アツヒロ 高橋由美子 山内圭哉 松永玲子 他 市川笑也 桂吉弥 升毅 松尾貴史 2/9～18◎世田谷パブリックシアター 他

『シフト』

サンプル



撮影：青木司

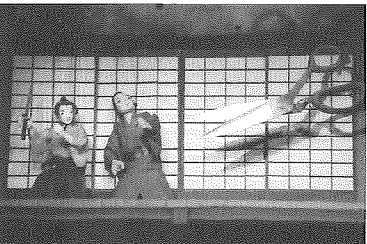
more 揺らぎを!

ショッピングモールと養鶏場が混在している、21世紀型田舎町における物語。東京で恋を育み結婚に至った若い男女が、妻の故郷で新婚生活を始める。慣れぬ田舎の慣習に戸惑う夫は、徐々にストレスを募らせていく……。ヒトが新たな「別のヒト」に変わっていく過程を描いた「シフト」だが、欲を言えばもっとドリフト（流浪・漂う）感が観たかったなー、なんて。ヒトが揺らぎ揺らがされ、変わり変わられ、その状況下における確信犯的展開こそが松井周の真骨頂だと勝手に思っています。(園田)

作・演出：松井周 出演：山村崇子 辻美奈子 古館寛治 古屋隆太 小河原康二 石橋亜希子 萩野友里 1/26～2/4◎アトリエ草風舎 次回予定：◎サンプル02「タイトル未定」9/14～24◎三鷹市芸術文化センター 星のホール

糸あやつり人形芝居『平太郎化物日記』

ITOプロジェクト



撮影：山崎のりあき

めくるめく魔法の時間

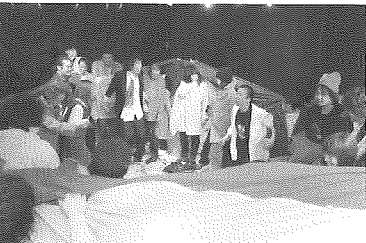
夜な夜な襲い来る妖怪と、それに立ち向かう16歳の平太郎との出来事を日記形式で綴った糸あやつり人形劇。ハサミが通って人形の糸をちょん切ったり、女の子がイモムシになり、さらに蝶になって舞ったり。次々と現れる妖怪たちはバラエティ豊かで、天野天街のイマジネーションが炸裂。70体以上の人形を自在に操り、イマジネーションを具現化した人形使いたちの技巧が光る。クライマックスで「人間」が登場することで、縮尺のマジックを感じさせられる場面は衝撃的。(渡辺)

脚本・演出：◎天野天街 出演：(人形使い)飯室康一 五味美恵子 西宮小夜子 ふたむらとこと 山田俊彦 植田八月 竹之下和美 西橋美子 (ナレーション)知久寿焼 2/3・4◎ザズナリ

毎日毎日どこかの劇場で上演されているたくさんのお芝居たち。全部観ることはもちろん不可能だけど、時間とお金の許す限り、面白い芝居をたくさん観たい! このコーナーでは、本誌編集部員&ライターが観た「面白かった!」芝居をご紹介します!

『ゴキブリ名作劇場』

ゴキブリコンビナート



撮影：青木司

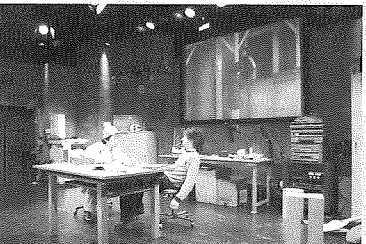
ニッポンの教育、地に落ちたり!

非行に走る子供を教育するため、父親が名作を読んで聞かせる……という劇中劇のスタイルで描かれた『フランダーズの犬』『源氏物語』『ガルガンチュア物語』の三作。ゴキブリ流の脚色で『フランダーズの犬』では善行をしても報われないということが、『源氏物語』では日本人の性は古来から乱れていたということが露呈され、無力感に苛まれた父親は、『ガルガンチュア物語』のなかで「汝の欲することを行え」という結論(?)に達したのです。最後は観客が役者によって追いつまれ、全員で輪になって踊るというハートフルな仕掛け。(渡辺)

作・演出：出演：Dr.エカアドル 出演：古澤裕介 スピロ平太 スカ死闘 オマンキー・ゴースト・ハルワグ 病氣マンシラボボシビシビ 油絵博士 かめこのぶ お堀内俊子 本間孝子 遠藤留奈 1/8～25◎丸ノ口モア地下 次回予定：◎ゴキブリコンビナート「My life as a punishment game」7/20～22◎木場公園

『ロビーストリーとねずみの秘密』

KAVC演劇ジャンクションvol.3



「この世は舞台、人はみな役者」

劇場ロビーと警備室で同時に展開される2つの物語を、2つのホールを使って同時に上演したぶっ飛び企画。「ロビーストリー」はドタバタ風コメディだけど、「ねずみの秘密」では一転、「ロビー……」登場人物たちのダークサイドがじつじつと描かれる。喜劇と悲劇はコインの裏と表ならぬ、芝居の表舞台と裏舞台のようなもの……という真理を、ドラマの両サイドを見せることで見事に表現。中でも「ねずみ……」の世界をほぼ1人で支えた、警備員役の赤星マサノリの熱演は敢闘賞モノぞう!(吉永)

作・構成・演出：ウォーリー・木下(sunday) 出演：◎赤星マサノリ(sunday) いいむらおき(いいむらおきマインカンパニー) 石田剛太(ヨーロッパ企画) 岡崎秀樹 北村守(スクエア) 栗山陽輔 小籠スズケ Sun!! (Cat-tail) 高須浩明(化石オートバイ) 年清由香(sunday) 並美子(遊気会) 宮川サキ(pinkish!) 宮部純子 山根千佳(TAKE IT EASY!) アンソニー・リー 1/26～28◎神戸アートビレッジセンター 3Fホール「ロビーストリー」1、B1シアター(「ねずみの秘密」)

『ともだちのともだち』

RONNIE ROCKET Presents 49ers nano



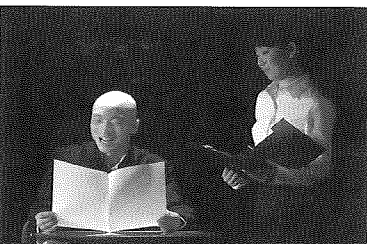
800万人が共感!

mixi(ネット上で友達と交流するサイト)という言葉が市民権を得た(っばい?)昨今、ありそうでなかったマイミク(mixi上の友達)をモチーフにした芝居。でもでも、「流行モノに乗った」感で終わらない、妙にリアリティのあるスリリングな物語が描かれていました。友達の友達を紹介してもらい、そこに気まずさや違和感が生まれたり……。いや、絶対あるって、こういうこと! mixiユーザーは800万人以上とのことなので、最低800万人が共感できるお芝居でした。(園田)

作・演出：出演：◎仗桐安 出演：◎秋枝直樹(猫☆魂) 中村たかし(宇宙◎コト) 小松君和(神橋プロデュース) 渋谷正洋 中西広和 1/5～7・12～14◎下高井戸 不思議地底窟 青の奇蹟 次回予定：◎RONNIE ROCKET Presents 49ers nano「ともだちのともだち(再演)」6/1～3、6/8～10◎下高井戸 不思議地底窟 青の奇蹟

『ひかりごけ』

三条会



撮影：内田琢麻

俳優の身体に見る迫力と美

難破した船で生き残った船員たちが、飢えのあまり先に死んだ者の肉を食べる……という「ひかりごけ」を、「学校の教室」という別の物語を絡めて描いた。所要所要で裁判のシーンを挟み込んで時間軸を交錯させたり、二人の俳優が一役をやったり。原作を知能的に解釈した演出の洗練と、スキンヘッドの俳優たちによって醸し出されるユーモアが絶妙に交じり合う。俳優たちの動きややりとりが予定調和なものを感じせず、非常に緊張感のある、濃度の高い空気を生み出していた。(渡辺)

原作：◎宮田泰淳 演出：◎関美能留 出演：◎大川淳子 柳原毅 舟川晶子 横口久男 中村岳人 岡野樹 1/18～21◎ザズナリ 次回予定：◎ロミオとジュリエット 3/24◎シェイクスピア・カントリー・パーク シアターホール◎三条会「秘密の花園」(予定)7月下旬◎千葉公園内特設三条会劇場◎三条会のアドレ公演「何となく恋して」11月◎三条会アリエ

シバのミカタ

『上田一家物語』

劇団上田



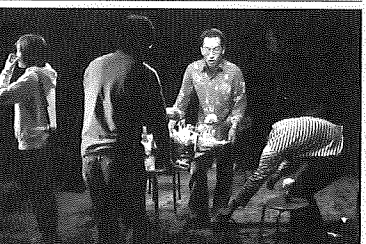
次はサングラスなしで、ひとつ

パフォーマンス公演と演劇公演を両立させ、独自の活動を展開する劇団上田。この公演はその演劇公演に当たり、ある家族の物語を描いたもの。ちょっとベタかも? と思える程、直球のシチュエーションや台詞と真摯に向き合い、意外にも(?)真面目な家族劇を繰り上げていた。劇団の「芝居がやりたいんだ!」という熱意が客席まで伝わってきたからこそ、次回公演はサングラスなしでも良いのかなと思います。その眼差しは、隠しちゃう体ないかも。(園田)

作・演出：出演：◎地根谷三番地 出演：◎江戸川元丸 萩原もみじ 春日井一平 花小路男 細身慎之介 宇津ヨウコ(危婦人) 石黒圭一郎(劇団こーヒー牛乳) 加藤敦(ホチキス) 06/12/6～10◎サンモールスタジオ 次回予定：◎劇団上田「猫の矛盾」4/12～17◎サンモールスタジオ

『煙の先』

贅



「物語」と「俳優」の二つの時間軸

生花店で鉢植えを万引きした奥寺は、店長の古橋に見つかってしまう。古橋は奥寺の万引きが転売目的のものではないかと疑うが、店員の天野は奥寺に好意を寄せていて、彼女を庇う……。普通に上演したら45分程のシリアスな脚本を、俳優4人が自由な想像力で膨らませている。唐突に歌い出したり、突飛な会話を交わしたり。「物語」はきちんと残しながらも、脚本とアドリブの境界線が不明で、次に何が起こるのかわからないというスリルを楽しめた。(渡辺)

脚本：◎前川知大 演出不在 出演：◎板垣雄亮(殿様ランチ) 岩井秀人(ハイハイ) 瀧川英次(七里が浜オールスターズ) 内田睦 1/16～21◎渋谷ギャラリー ルドコ

CLOSE-UP STAGE

セレブたるや、
時として傍観すべし!?

小林高鹿

こぼやしたかしら〇75年生まれ、東京都出身。ナイロン100℃を経て、01年にペンギン・パイル・パイルズの旗揚げに参加。THK「偽りの花園」、舞台「SHAKESPEARE'S R&B」「写実考」他に出演。ブログ「小林高鹿というの」はどうですか?は、1日数回というペース更新で人気沸騰中。小林氏と365日一緒にいられます。http://blog.livedoor.jp/takashika/

次回予定〇「セレブの資格」

演劇ぶっく社全面協力の携帯サイト「演劇モバイル」でもインタビューを配信! 詳しくは71ページをチェック!

『セレブの資格』

3/19~4/1〇ル テアトル銀座
作ノエル・カワード 翻訳高橋知樹江
演出高橋久男
出演〇若尾文子 柴田理恵 愛草みれ 小林十市
柳田晋 小林高鹿 秋山エリサ / 崎さを理 横田俊樹
お問い合わせ〇東京 03-3498-9999



劇作家の倉持裕率いる劇団、
ペンギン・パイル・パイルズの看板役者として活躍する小林高鹿。
昨年は劇団の本公演後に音楽座のミュージカルに出演し注目を集めていた。
そんな彼が、今度は英国の劇作家・ノエル・カワード作の喜劇
『セレブの資格』に出演するという。
その端正なルックスは英国紳士の風貌漂うが……果たして彼の“セレブ(名士)”ぶりは!?

現在、日本で「セレブ」というと「裕福な女性」といった意味に捉えられがちだが、本来的には「権力や財力を持った著名人や名士」といった意味合い。「セレブの資格」は階級意識がまだ残る1950年代の英国の片田舎が舞台なので、この場合のセレブは「正に名士」という意味なのだ。「貴族感」がある、それとも……自然なのか? 可憐な悪女、ダンブ君が預けられたのは山の麓の小さな分校。だがそこで彼を待ち受けていたのは、死者を出すこととむねなるべきバルタ教師陣。獅子がわが子を谷底に突き落とすが如く、むき出しの大自然の中に丸裸で放り出されたダンブ君。果たして彼はそこで更生されるのか?

「この、目がいたずらっぽく光っているという所です。まあ、これがどの程度光るのかというの、やつてみないとわからないですけど(笑)。でもこの物語の中では、僕の役はちょっと浮いていると思うんです。ピーターは生まれてから終始貴族として振る舞ってきたのではなく、ちゃんと貴族社会から外に出て成功を収めている訳ですから、いわゆる、貴族階級の特権意識から少し離れた視点を持っているんです。」

物語のトランプは、前伯爵夫人の息子がハリウッド女優と結婚した事から始まる。貴族が女優と結婚するのは身分不相応だという意識が残っていた時代なのだ。

「ピーターは、貴族階級のこと的なことも面白がれる人間だと思うんです。そういう意味ではちょっと傍観的なポジションにいるキャラなのか。この作品はコメディではあるんですけど、抱腹絶倒で、お客さんが「いや、笑いましたよ、今日は本当に」って言いながら帰っていく作品とはちょっと違うのかな?と感じています。階級制がどうか描かれている構図そのものはある種の風刺劇としての面白さがあると思えますね。」

終始リラックスして語る小林のその表情には、「セレブの資格」が灯っていたような気がした。なんとなくです。

シバイミカタ

チケプレ情報

チケットプレゼントを希望される方は巻末ハガキに必要事項を記入の上ご応募下さい。
①~③公演の締切は3/20、④~⑥公演の締切は3/27(両日とも消印有効)です。チケットプレゼントは、プレゼント広場に掲載されているプレゼントと併せての応募も可能です。シバイとの出会いは一期一会。是非とも劇場に足を運んでみて下さい! 尚、発表は当選チケットの発送をもってかえさせていただきます。ご応募お待ちしております!



シバイはきっかけがないと
つい観るタイミングを逃しがちになるもの。
「観に行きたいなあ」と思いながらも、
気がついたら公演日を過ぎていた……。
演劇好きのアナタなら1度はこういう経験ありますよね。
そこで「シバイのミカタ」では、その“きっかけ”をご提供!
前から興味のあったあの劇団の公演、
面白いと評判のこの劇団の公演などなど、
色んな公演のチケットをどんと一気にプレゼントします!

4/4~8〇王子小劇場
作・演出・音楽・出演〇浅井さやか
平日=14:00/19:30、土日=14:00/
18:00、平日昼公演のみ特別ライブあり

〈料金〉前売〇一般¥1800 学割¥1500(平日昼のみ) 当日〇¥2300 ※全席自由
〈お問い合わせ〉S project
090-9137-9587
ticket@oneonone.jp



浅井さやか
(One on One / 主宰、作・演出・音楽)
歴史上の人物をテーマとし、音のコード(CDEFGABC)に沿って進んでいくミニシアター「Chordシリーズ」待望の第二弾! 今回はDoctor(博士)の代名詞、A・アインシュタイン。彼は、神が描いた美しい設計図を解き明かそうとした……。おしゃれて、クールなオリジナルミュージカル! 映画を見に来る感覚で、遊びに来て下さい!

チケプレ情報
4/5~6=14:00 各回4名様
4/8=14:00 2名様

3/15~25〇全労済ホール/スペース・ゼロ
3/31~4/1〇新神戸オリエンタル劇場
脚本〇福島三郎・加納幸和
演出〇加納幸和

〈料金〉東京 前売〇一般¥6000 学生¥5000(平日のみ) Z席¥4000 (劇団のみ取扱) / 神戸 前売〇S席¥6000 S席学生¥5000 A席¥4000(劇団のみ取扱)
当日〇各料金に¥200増し
〈お問い合わせ〉
花組芝居 03-3709-9430
http://hanagumi.ne.jp/



加納幸和
(花組芝居 / 劇団座長)
表舞台が華やかであるほど、その裏には暗くて深〜い闇がある。不朽の名作「オペラ座の怪人」を花組流にアレンジした、究極の愛の物語にして極彩色のエンターテインメント! 20周年を向かえ、ますます脂の乗った役者達。決して見逃しありませんように!!

チケプレ情報
3/31=18:00 4名様

4/5~15〇こまばアゴラ劇場
作・演出〇下西啓正
4/5=19:30、4/6・9・11~13=19:45、4/7・14=14:00/18:30、4/8=15:00/19:30、4/15=15:00
※4/10=休演日

〈料金〉前売〇一般¥2800 学生¥2300(要学生証) 喪服割引¥2300(劇団のみ取扱) 当日〇¥3200 ※全席自由
〈お問い合わせ〉
乞局 090-8174-1065
E-mail:kotubone@aol.com
http://kotubone.hp.infoseek.co.jp/



下西啓正
(乞局 / 局長(主宰)脚本・演出・俳優)
下水道に棄てられた人達の話や前科のある人が結局再犯を犯す話など大層な作品ばかりでしたが、今回はすごく平和で綺麗な作品を目指します。失態で寝れなくなった子が周囲に当たり散らす話になる予定です。どうか乞局をよろしく願います。

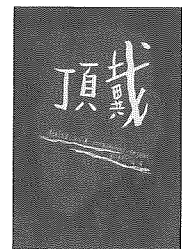
チケプレ情報
4/6~14 =各回2名様

3/28~4/1〇こまばアゴラ劇場

トキヲを見下ろす丘。さくらの咲かない、春の山が舞台。この山には鬼が住んでいると、ひっそりいわれている。思い出の埋葬にきた、女。花見にきた恋人たち。「土で遊ぶ会」の研修にきた保育士たち。羊や、鬼、が登場し、世阿弥の戯曲や、聖書、神話もまじえて、しだいに現実から夢へと登場人物たち世界が交錯していく。ちょうだいちょうだい、と、それを欲する人々たちの、お話。第12回劇作家協会新人戯曲賞、優秀賞を受賞した「マトリョーシカのふらこ戯曲」に次ぐ、超現代口語とメルヘンの融合の嬌鈴玉的不条理劇。

〈お問い合わせ〉
嬌鈴玉 tonnbodama@msn.com

チケプレ情報
3/28=19:30、3/31=15:00
4/1=15:00 各回4名様



島林愛
(嬌鈴玉 / 演出家・脚本家)
嬌鈴玉は「とんぼだま」って読みます。読めない、と、たまに言われますので、改めて紹介です。ちなみに、公演名は「ちょうだい」です。ひらがなでかくとやわらかい。私の戯曲はひらがなが多すぎます。どうか、みなさま、みにきてちょうだい。

4/27~30〇吉祥寺シアター
作・演出・出演〇松村武 出演〇佐藤恭子 田端玲実 長谷部洋子 / 清水宏 今奈良孝行(エッハ) 成清正紀(KAKUTA)

偶然なのか、必然なのか、それとも……自然なのか? 可憐な悪女、ダンブ君が預けられたのは山の麓の小さな分校。だがそこで彼を待ち受けていたのは、死者を出すこととむねなるべきバルタ教師陣。獅子がわが子を谷底に突き落とすが如く、むき出しの大自然の中に丸裸で放り出されたダンブ君。果たして彼はそこで更生されるのか?



松村武
(カムカムミニキーナ / 作家・演出家・俳優)
カムカムミニキーナ2007年一発目の公演は少数精鋭での異色公演! ソロライブなどスタンダップコメディアンとしても活躍めざましい清水宏、コントグループエッハのリーダー・今奈良孝行、若手注目劇団KAKUTAの成清正紀の3名をゲストに迎え、吉祥寺シアターという濃密な空間で火花散る演劇バトルを繰り広げます!

チケプレ情報
4/27=19:00 4名様
4/30=18:00 4名様

3/28~4/3〇中野MOMO
作・演出・出演〇葛木英
平日=19:30、土日=14:00/19:00、3日のみ=15:00

〈料金〉前売〇指定¥2800 自由¥2500 当日〇¥2800(全席自由)
〈チケット取扱〉メタリック農家
http://www.metanou.com/
(予約フォーム)
チケットぴあ ticket@metanou.com (Pコード 374-862)
〈お問い合わせ〉メタリック農家
080-3125-4922
info@metanou.com



葛木英
(メタリック農家 / 女優・脚本家・演出家)
どうも、クズキです。次回の農家は久しぶりにでしゃばろうと思います。「中学時代の親友が同棲中の我が家へやって来た。」10年越しの女子中学生の友情と、性と自意識と罪の物語。2002年のある事件がモチーフですが、脚色しまくりの新作公演となっております。キルビル好きの親友役です。来てネ!

チケプレ情報
3/28~30=19:30 各回2名様

1 花組芝居創立20周年記念公演第一弾
「かぶき座の怪人」

2 嬌鈴玉第13回公演
「頂戴」

3 メタリック農家
「癖」〜女と女とウサギの男〜

さいたまゴールド・シアター Process2 鴉よ、おれたちは弾丸をこめる

蛭川幸雄がつくった
55歳以上の人たちを集めた高齢者劇団
〈さいたまゴールド・シアター〉の第二回公演は、
感涙を呼んだ一回目公演よりも確実に歩を進めた。
一本の作品を演じきり、
20代の俳優とわたりあうことで、
その底力を見せつけた。

2006年12月1日～4日
彩の国さいたま芸術劇場 大けいこ場
主催 財団法人埼玉県芸術文化振興会
構成・演出◇蛭川幸雄
演出◇井上尊晶
出演◇
さいたまゴールド・シアターの人々43名、
石田佳央、原田琢磨、
ニナガワ・スタジオの人々ほか
若者たち31名



20代から80代まで、 様々な肉体の共演

冒頭、第二回公演と同じタイトルで、水橋
に入った俳優たちがひとりひとり台詞のコ
ラージュを語っていくのかと思いきや、いきなり、
黒幕が振り落とされ、アコーディオンの
伴奏(宇畑稔)により男(森下隆)がソロで歌
いはじめる。そこへ、爆弾をキッパボールし

ながらふたりの青年(石田佳央、原田琢磨)が登場。ふたりは爆弾を取りこぼし、爆音が聞こえて暗転。真暗闇の中から、老婆たち(高階昌子、重本恵津子、小川喬也、遠山陽一、美坂公子、宮田道代、小淵光世)が提灯をもつて、急な階段状の客席からひとりふたりと台詞をつぶやきながら現れる……。

緻密かつ大胆に構成された冒頭から、ゴールドシアターのただならぬ気合いが伝わってくる。

ゴールドシアターのメンバーの「一部の男性はシアターコクーン2月公演『ひばり』」に出演するなど、演劇活動の幅を広げている。6月にはいよいよ第三回公演。岩松了が彼らに戯曲を書き下ろすと言った。

ラストでは、権力も老婆も若者も死んでしまった中、誠実と思ひ込んでいる弁護人(葛西弘)だけが変身できずに生き残る。「誠実」という言葉に置き換えられた保守的な論理や既成概念みたいなものよりも、善悪や老若に関わらず己の肉体からエネルギーを振り絞って生きていく人間の本来の姿への、声にならない讃歌が高らかに聞こえてきたかのようだった。



死、という人間ではないものがエリザベア

お2人はこの舞台、そしてトートをどんなふうに見ていますか？
マテ この公演を観たのなら、多くのものを失うことになる。僕自身、この作品に出会って、大きく変わりました。舞台上で感動し、いつかトートを演じたいと希望を持ちました。そして、03年からこうして出演するようになった。死、という夢も叶いました。ですから人生そのものが変わりました。

水 私最初に見た時から大好きでした。

流れている血が違う？

2人は、実はこの日が初対面ではなかった。数日前に新宿コマ劇場で行われたウィーン版のメンバーや宝塚OGによる「エリザベア」来日記念コンサート」を、水夏希が観劇。お互いに、トートの役作りや歌いかなど、話がはずんだという。そんな2人だけに、対談は和やかに進んでいった。

死、という人間、の愛を演じる2人

トという、人間、を愛して、追いついて、最終的にはエリザベアも、死、という形ですけれど、解放される、そういう物語性も素晴らしいし、楽曲もビジュアルも全部に惹かれます。でも、観客として観ていた時期が長かったので、自分が出る、ことへの実感はまだまだなのですが、コンサートを観たあと、水さんは「私にはあんなふうにはできない」とおっしゃった。

水 彼らは体が楽器なんです。流れている血が違う。圧倒されるものを感じました。もちろん、そういう意味では、宝塚版は宝塚版で素晴らしいと思うのですが、でも、マテさんのようにロククのシャウト風にはとてもできません。すごくかっこよかったです。

マテ いや、水さんも、先ほど制作発表の舞台で歌った「最後のダンス」は、ラストのフリージングの作り方など、近かったです。

水 いえいえ、でもそう言っていたら、こんなに光栄です。「来日記念コンサート」のあとに

出演者の皆さんにお会いする機会があった、いろいろお聞きできて参考になりました。たとえば、死、というものについて、どこにも存在する、人によっていろいろな顔を見せる。それを演じ分けることも必要だし、それがこの舞台そのものの魅力でもあるというところなど、うなずきました。

自分のこととして受け止めながら

マテさんは、宝塚の舞台を観たことになりましたか？ また、どんな感想を抱かれましたか？

マテ たまたま宝塚のほうの公演は拝見したのですが、宝塚の「エリザベア」公演は観ていません。でも、制作発表での水さんと白羽ゆりさん、トートとエリザベアのペアがよく似合っていると思いましたし、とても感動しました。話としては聞いていても、実際にトートを女性が演じるというのは想像できない、いざというときに、お2人のパフォーマンスを観て、なるほどと少し実感が湧きました。

宝塚の場合は、トートを演じるのはバ

ジュアルに載るのですが、ウィーン版のトートさんは、ナチュラルに男っぽいですね。

マテ 僕にとってジュアルのこだわりは重要なことではなく、自分の気持ちごとに出てくるかというのが、一番大事なんです。ビジュアル的なこだわりというのは、ケイキの上にかかっている生クリームみたいなものだから、ケイキそのものを自分できちんと作っておく。そうすれば、たとえば裸で衣裳がなくてもカッラが飛んでも、トートに変わりはないのです。どんな場合でも、いちばん大事なことは、心がトートであることですね。

水 またたくその通りだと思います。でもそのうえで、宝塚は女性で演じるということ、やはりビジュアルを作ることが必要になってきます。体型を衣裳や補正で男性に見せることや、顔を男の人のように作っていく、それで成立する部分は大きいのです。でもどんなに美しいビジュアルを作っても、ハートのない芝居はあり得ないですから。

マテ 今度こそ、僕も宝塚の「エリザベア」を観たいと思っています。小池修一さんの優れた演出は聞いていますし、ぜひ観てみたいです。

スペシャル・トーク 『エリザベア』トート対談 水夏希×マテ・カマラス

名作『エリザベア』のオリジナル版がウィーンから来日、3月末から上演されることになった。一方、宝塚歌劇も5月から雪組の『エリザベア～愛と死の輪舞～』の公演が始まる。日本を舞台に東西競演という形になったこのミュージカルで、主役トートを演じるのはウィーン版ではマテ・カマラス、宝塚雪組では水夏希。2人のトート役者が、ある1日、東京で遭遇、豪華な対談が実現した。



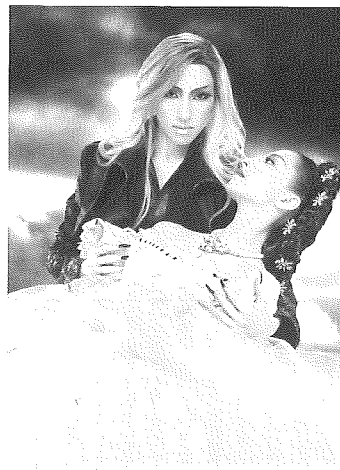
みづなつ○46ページ参照

マテ・カマラス○ハンガリー生まれ。17歳から劇場に出演。地元の劇団公演に出演後、ブタペストの国立演劇映画アカデミーと名高い英国のエルムハースト・ミュージカルシアター・スクールの奨学金を獲得する。外国でのデビューはウィーンのライムント劇場における「ダンス・オブ・ヴァンパイア」。「エリザベア」ブタペスト版のトートも演じた。

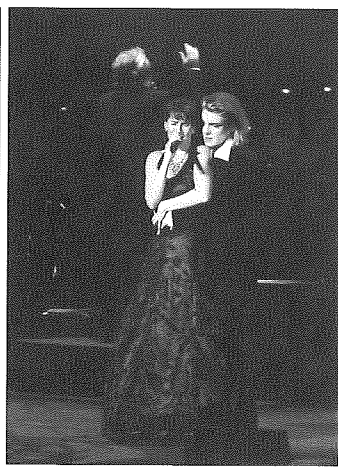
また、水夏希さんがトートを実際にどう演じるのか、本当に興味があります。水 まだまだ模索中なのですが、最終的に「死の世界に魅力を感じていただけるように」とは思っています。人間くさくはなりたくないのですが、でも愛情は表現したい。そこが今の課題ですね。私もウィーン版はビデオでしか拝見してないので、生の舞台を日本で見ることができるとの楽しみがあります。

マテ ご覧になる方は、椅子に座って背もたれによりかかってリラックスをして、目の前で起きること、降りかかってくることを、自分のこととして受け止めながら観てください。それだけです。

公演予定◇
●ウィーン版・
ミュージカル「エリザベア」
ウィーン・オリジナルバージョン
3/28～4/30◎
梅田芸術劇場メインホール
ウィーン・コンサートバージョン
5/7～20◎新宿コマ劇場
●宝塚雪組公演
ミュージカル「エリザベア～愛と死の輪舞～」
5/4～6/18◎宝塚大劇場
7/6～8/12◎東京宝塚劇場



水夏希、白羽ゆり「エリザベア」衣装写真



エリザベアのママ・ハクフォード、トートのマテ・カマラス。(06年1月に梅田芸術劇場で催されたウィーン版コンサートより)◎梅田芸術劇場

表紙のヒト

ナチュラルな佇まいから

とても自然な言葉が聞けたインタビューでした。宇宙①コード&コンドルズでコント脚本などを担当し、更に俳優としても活躍する小林顕作。拙者ムニエルとモッカモッカでシャープな演技を見せる加藤啓。二人とも、それぞれの団体で中核を担う存在ですが、必要以上に気負うことも、極端に無理することもないそうです。やりたいことを自然体で続けてきたからこそ、こんな佇まいでいられるのでしょう。「この近くにファミレスあったっけ」「確か、手前にジョナサンがあったよ」。インタビュ終了後、そのまま仕事の打ち合わせをするらしく、そんな事を口にしなが、二人の演劇人はドアの向こうへ消えていきました。

「芝居って面白いかも？」

——お二人は何度か共演されていますよね。最初の出会いはいつ頃になりましたか？
小林 (阿佐ヶ谷) スパダースですね。
加藤 確か、98年ってやつです。
小林 そうそう。稽古場に行ったら啓がいたって感じで、初めて見た時はすいおじさんみたいだった。啓今も顔がデカかったよ。
加藤 いやいや、そんなことないよ(笑)。そんな縮まない顔。
——(笑)。98年という9年前ですね。今でもお互いの公演を観る機会がありますか？
加藤 宇宙①コードもコンドルズも好きでなので、僕は結構観てますね。
小林 僕はあんまり……。ごめんなさい(笑)。去年だと、観たのはモッカモッカ(注・加藤氏プロデュース)だけかな。あの啓が、何でこんなに責任感からかをやっているのかわかって、ちょっとびっくりした。啓がビビリするなんて!!「みたい」。
——あの啓がビビリするなんて!!「みたい」。
小林 そのモッカモッカといい、昨年1年間の加藤さんの仕事量(旗揚げ公演を含む舞台7本に出演)はすごいですね！
加藤 あまり忙しいとは思わなかったですね。舞台の予定の間に、たまたま舞台の予定がズバズバ入ったラッキーな1年って感じでした。すごい楽しかったですね。現場ことに雰囲気がある

れぞれ違いますからね。

——拙者ムニエルの加藤さんとは、ちよと違うキャラで出ている印象を受けたのですが。
加藤 ああ……。えー、何だろ。
小林 あは(笑)。何も考えてねえな(笑)。
加藤 考えていることにしたいので、ちよと今考えますね。そうですね……。ええと、ムニエルとは、まず求められていることが違うんですよ。で、僕にとってはそれが新鮮で、今まであんまりやってこなかったジャンルだったので、発見もすごく多かったし。別にギャグやらなくてもいいんですよ。で「芝居って面白いかも？」って思ってたんですよ。
——求められていることが違うというのは、具体的に？
加藤 基本的にアドリブっぽいことは全く求められていない……。なんか、そこに本があって、演出家のやりたい世界があつて……。全然うまく喋れないな。
小林 お前、お腹が空いてるんだろ？
加藤 さうさ外で魚のいい匂いがして。
小林 魚が食べたいとか、そんなこと考えながら喋ってますからね(笑)。
dancer 〇〇答えてんじよ(笑)
——小林さんはコントやお芝居の作家として活躍されていますが、コンドルズでダンスもされていますよね。作家兼ダンサー、という肩書きは結構珍しいのかなと思ったのですが。
小林 いやー。僕自称ダンサーなんです。誰にも認められていないんです(笑)。基本を習ったこともほとんどないです。足も上がらないし。でも、コンドルズで海外とか行くじゃないですか。その時にばら、入国審査とかあるでしょ。あそこで職業を聞かれると(発音よく)「dancer」って答えるんですよ(笑)。やっぱり踊る時は俺はダンサーなんだと思わないと、うまくやれないっていう。
——作家であり、ダンサーであり、そしてまた、俳優でもある訳ですよ。
小林 役者という職業に対するモチベーションは、自己発生的というよりも、観ている人がまた観たいと言ってくれるからなんです。それが「ちよとキモイ」とか言われるようになったら、僕、多分辞めますね(笑)。でも最近、台本を書いてくれて頼まれることが多いんですよ。友達から電話かかってきて「出演依頼かな？」と思うと、「コント書いてくれない？」って。そこはね、ちよと落ち込んでるんですよ。俺、出る側じゃなくなってきたのかな？って。だから、今度呼ばれた毛皮族の公演とかは、僕的には非常に嬉しいです。久し振りに人に呼ばれたと思って(笑)。
加藤 次のモッカモッカ、頭ちゃんにネタ書いてもらいますよ。そんなこと考えているとは思わなかった。
——ネタを依頼した加藤さんとしては、小林さん

んという作家をどう捉えていますか？

加藤 なんかもあ、センスですよ。センスって言うちよと変な言葉ですけど、センス。なんかその、すごい出るじゃないですか、センス。
小林 センスって4回言ったよ、この短い時間に。
加藤 すげーうまく喋れない……。面白いですね。
——(笑)。
小林 そんだけか。
加藤 あとね、ネタが心地いいんですよ。軽くて、だけど、とても驚かされる所もあつて。宇宙①コードのネタって、本当に独特な感じがします。誰にも真似できないと思う。
——では、台本を書く小林さんから見て、加藤さんという俳優は何かですか？
小林 あのね、今も話をされていて分かんと思うんですけど、結構「ゼロ」な人なんです。だから、どこに行ってもちゃんと染まれるんですよ。逆に言うと、何にでもなれる恐ろしさがある。今度モッカモッカに書くネタでは、その辺を存分に出したと思います。
存在の仕方がもう面白いんですよ！
——先ほど少しお話に出ましたが、手前味噌ですが4月に演劇ぶっく社が主催するお芝居が2本ありまして、その2公演に、お二人がそ

小林顕作

こばやしけんさく(右)○71年生まれ、東京都出身。96年に宇宙①コードを結成。作・演出・出演をこなす。同年、ダンスカンパニー・コンドルズに参加。翌年からコント部分の脚本・構成も担当。07年1月にはコンドルズのメンバーとして、ヨーロッパツアー(英・仏・伊)に参加した。

次回予定◇コンドルズヨーロッパツアー2007東京凱旋特別公演「太陽にくちづけ」バック・トゥ・ザ・フューチャー」3/28～31◎東京グローブ座◇演劇キックプロデュース「天国と地獄」(脚本・演出◇江本純子)4/12～16◎新宿シアターアプル

加藤啓

かとうけい(左)○74年生まれ、愛知県出身。94年、劇団の作・演出を務める村上大樹と共にナンセンスギャグ劇団、拙者ムニエルを旗揚げ。以降全ての作品に出演。06年1月には、動物電気の辻修とコントユニット、モッカモッカを結成した。

次回予定◇モッカモッカコントライブ2「バツが邪魔で乳首が見えない」3/20～25◎下北沢OFF-OFFシアター ◇演劇キックプロデュース「ミゼラブル」(脚本・演出◇ブルースカイ)4/5～9◎新宿シアターアプル ◇拙者ムニエル「ヤバ口さんちのツトム君」7/21～8/6◎下北沢駅前劇場

ぞれ公演演頂けるんですよ。先ほど小林さんは出るのが嬉しいとおっしゃっててくれた。

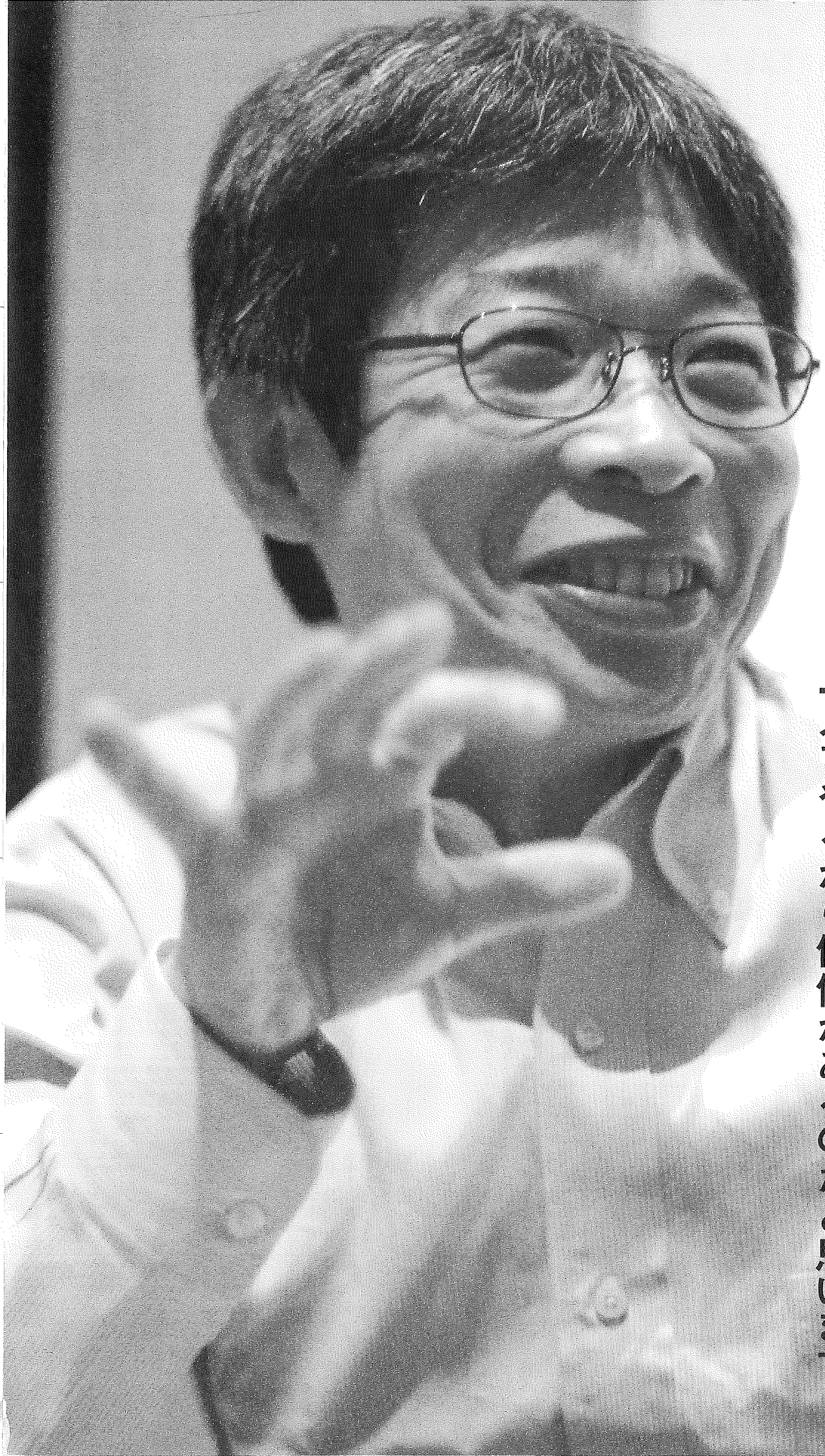
小林 いや、それはもう非常に。毛皮族脚本・演出を担当する江本純子が主宰する劇団は、僕と対岸にいる団体で、共演なんてあり得ないと思っていました。僕は男衆としか公演をやったことないし、江本さんから呼ばれるっていうのがすごい面白かったですよ。
——加藤さんはブルースカイさん(同じく脚本・演出を担当)と元々交流がありますよね。
加藤 彼は最近、日本酒にはまっていますね。
——(笑)。
加藤 昔は全然飲めなかったのに、最近は飲みに行くとずっと一人で、日本酒をこつ、手酌で。
——えい、具体的な情報ですね(笑)。ブルースカイさんってどんな人だと思います？
加藤 もう、彼本人がすごいオリジナリティー持っていて、それをみんなが分かる共通言語で書いてくれる人ですね。知り合って長いんですけど、彼自身の存在の仕方がもう面白いんですよ！だから、演出されながら、飲みながら、なんか話しながら、「今、何考えてるの？」って聞きたくなるんです。多分、同時に30くらいは違うことを考えているのだ。それを研究材料に、ドキュメンタリーとして追っかけてみたくなる人ですね。



演劇ぶっく社全面協力の携帯サイト「演劇モバイル」でもインタビューを配信！詳しくは71ページをチェック！

平田オリザ（青年団）

一人でやるから価値があるのだと思います。



「現代口語演劇理論」を提唱し、いわゆる「静かな演劇」で90年代以降の演劇に多大な影響を与えてきた平田オリザ。その緻密さに裏打ちされた大いなる冒険心が、演劇を起点にどこまで逸脱していくのか、また「静かな演劇」はどのような変化をしつつけていくのか、平田を巡る周辺の出来事に興味は尽きない。

演劇から逸脱していくおもしろさ。

——とても忙しそうですが、最近演劇はご覧になっているんですか。

昔ほどは観られないですね。いま、1年の3分の1くらい海外へ行っていて、週2日は大阪へ行っていますからなかなか……あとは青年団の稽古を集中してやっています。

——大阪大学の教授をなさっていて、かなり偉い立場ですね。

大学の世界では偉いですね（笑）。簡単にいられません。

国立大「旧帝大」ですからね。戦前は孔子さま（※1）が来ても帝大卒業生じゃないと帝大の教授にはなれないという話があったくらいで。僕は私学出身で、しかも大学院にも行ってないです。

——そこでは何を教えているんですか。

コミュニケーションデザイン・センターという新しいセンターができて、医者や科学者、法科大学院の弁護士の卵たちに、演劇を通じてコミュニケーション能力を付けてもらうというのが第一です。もちろん授業もやりますが、広範囲なプログラムづくりとか研究をしています。コミュニケーションデザインというの新しい考え方で、医者にコミュニケーション能力をつけるだけならわざわざ僕が行かなくてもいいんですが、本当に大事なことは、たとえば、医者がうまくしゃべるだけではなくて、病室の椅子が、患者さんが医者に質問しやすいような配置になっているとか、壁の色はどうとか、受付から病室までの道のりで患者さんを緊張させていないとか、そういうことを含めたことをコミュニケーションデザインと呼んでいるんです。それってまさに演劇的な要素が強いですよ。客入れから始めて……。そういう研究をしている人たちと机を並べています。原子力やロボットの研究をしている人もいるし、医療とか、減災や災害復旧のコミュニケーションの専門家とかもいますね。そのまじめ役の一人が僕です。

仕事をしながら新しい活動ができますね。世界でもトップクラスの学者が集まっていますから、知的な刺激はありますね。桜美林大学の時も演劇コースだったから、楽しかったし、学生もすこ

くやる気があつておもしろかったんです。今は研究職だから自分の学生がいないのでちょっとさびしいですね。そのぶん知的な刺激は非常に大きい。

平田オリザの本質は、かなりの乱暴者。

——子供の頃の話を少し聞かせてください。天才少年だったとか。

父親がシナリオライターで、若い頃芝居をしていたんですけどやはり食えなくてずっと映像の仕事をしていて、ほんとに家にいましたので、僕は父親に育てられました。最初から物書きになるように育てられましたね。3歳から原稿用紙に書いてましたから。今こうなってるから良かったんですけど（笑）。歪んだ育て方でこうなったんですけど、ひどい教育の仕方だったと思います。星飛雄馬（※2）みたいな。男親って将棋とかキャッチボールとか自分の趣味を子供に押し付けるでしょう。それが僕の場合たまたま物書きだった。それで子供とコミュニケーションをとっていただんだと思います。学校の勉強のほうは、飽きっぽいんですごく成績がよかったわけではないです。

——16歳で自転車世界一周の旅へ出ますが、それまでは普通の子供だったんですか？

小学校・中学校は公立で、普通に育

ちました。親はリベラルな感じなんですけど、逆にいうと無言のプレッシャーがあつて。僕は1962年生まれでオウム世代ですし、（少女連続殺人事件の）宮崎勤や（元オウム真理教広報責任者の）上祐史浩、（新潟少女監禁事件の）佐藤宣行、（池田小学校乱入殺傷事件の）宅間守、（和歌山毒物カレー事件の）林真須美も同年代です。劇作家もものすごく多くて、松尾スズキさん、KERAさん、坂手洋二さん、松田正隆さん、鐘下辰男さん、鈴江俊郎さん、一つ上が三谷幸喜さん、成井豊さん、横内謙介さん。ここ数年の岸田戯曲賞（※3）はこのあたりがとってますよね。高度経済成長真っ只中の世代です。で、このまま行ったら東大へ行つて官僚になるか、エリートサラリーマンになるかもしれないけど、でも間違えて犯罪者になったり精神を病んでしまったりするかもしれない。そういううっとうしい感じがあつて、それで高校へ行くのをやめて、世界一周をしようと思つて定時制高校へ行くことにしたんです。親に人と違わないとダメと言われて育てられてたんで。

——自転車世界一周（※4）というのはご両親からすぐ許可が出たんですか。

13歳の時に言い出したから、当時は親も相手にしていなかったんです。でもずっと計画を立てていて、中学三年の進路を決める三者面談で、定時制高校へ行くと言ったんです。そのときも

孔子（※1）
紀元前551年くらいに生まれる。中国春秋時代の思想家。儒教の創始者。社会には礼とよき秩序が必要であり、それにはじぶん自身の心が大事だと説いている。日本には5世紀頃伝えられ、江戸時代に儒教の新しい学問体系の朱子学が盛んになり、封建制度を支える道徳として発達した。

星飛雄馬（※2）
1966年から1971年まで週刊少年マガジンに連載された、野球漫画。巨人の星の主人公。極貧の家庭に育ち、父の星徹から大リーグボール養成ギブスを着せられるなど、狂気とも思える野球の英才教育を受ける。次から次に現れるライバルや、ドラマチック過ぎる離事（りし）から悩み立ち向かう。

岸田戯曲賞（※3）
白水社HPによると「岸田戯曲賞は、劇作家岸田國士の遺志を顕彰すべく、株式会社白水社が主催する戯曲賞。本賞は、演劇界に新たな新風を吹き込む新人劇作家の奨励と育成を目的に、1955年に設置された。新人劇作家の登竜門とされることから、演劇界の芥川賞とも称される」とあります。

自転車世界一周（※4）
自転車旅行中の平田オリザ16歳。



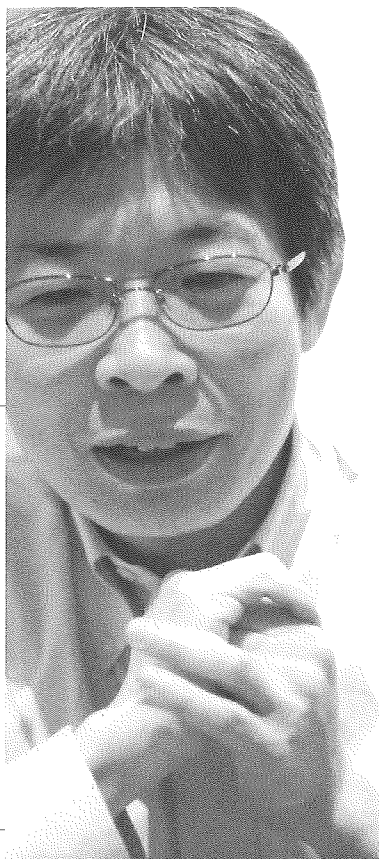
親は頭ごなしには反対しないで、人生の経験として1、2年はいんじやないかと思つたらしいんですね。それで定時制高校へ行つてお金を貯め、飛行機の切符も買つてしまつたんで、親は反対する機会を逸してしまつた。お金は住み込みで新聞配達をして貯めました。それが一番貯まるんですね。

――根拠がありますね。

目標があれば5年ぐらいはすごい頑張りです。でも先が見えることなんにつまらなくなる。ドキドキしないという気が出ない。冒険というのはいまにそうですね。

――アメリカ大陸を横断して、ヨーロッパを周ると、子供が自転車走っているわけですね。

最初、最初にロサンゼルス空港を出て、自転車走りを組み立てて走り始めて、20キロぐらい行つたところの信号待ちで、横にアメリカ人が自転車に乗つていて「どこに行くんだ？」と聞かれたんです。でも僕は全然英語がしゃべれなかったものなんです。それから、とりあえず「ニューヨークへ行く」と言つたんです(笑)。相手はこつちの内容もよくわからないでしよ



平田オリザ

62年生まれ、東京都出身。劇作家・演出家・青年団主宰。こまばアゴラ劇場支配人。国際基督教大学在学中の83年青年団を旗揚げ。以来、一時期の観客激減などにもめげず、「現代口語演劇論」を実践、いわゆる「静かな演劇」は90年代以降の演劇界に強烈なインパクトを与え続け、現在も新しい「オン・ドックス」に向けて、自ら絶妙に変化しつづけている。また、国際交流ではフランス、韓国、オーストラリア、アメリカ、アイルランド、カナダ、中国などと合同プロジェクトやワークショップなどで交流を深めている。演劇教育活動では、自治体やNPOなどと連携したワークショップはもとより、言語教育の一環として、年間約30万人の子供たちが平田オリザの方法論で演劇を創っている。著書に『演技と演出』講談社新書刊、戯曲『ソウル市民』演劇ぶっく社刊、『地図を創る旅〜青年団と私の履歴書〜』白水社刊など多数。『東京ノート』『ソウル市民』『S高原から』などの戯曲はフランス語、英語、韓国語、イタリア語などで翻訳されその多くが出版されている。ワークショップの模様を記録したビデオ『体感ワークショップ』平田オリザの文法』が紀伊國屋書店から発売されている。95年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞受賞。02年『上野動物園再々襲撃』で第9回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。03年『その河をこえて、五月』で第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授。

次回予定◇香港・北京・東京 日中共同プロジェクト公演「下周村 〜花に施のたどえもあるさ〜」作◇平田オリザ 李六乙 演出◇李六乙、平田オリザ 2007年5月◇新国立劇場小劇場
◇他の予定は69ページを参照。

すね。あそこは大学全体がうるさいから(笑)。

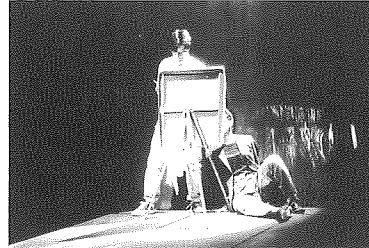
野田秀樹に刺激を受けて、演劇を始める。

――そこで演劇を始めた。

ICUでは始めは演劇をやつていなかったんです。ただ父親もそうだし、叔父に大林宣彦(※6)という映画監

督もいて、映画や演劇の関係者が親戚に多くて、子供の頃からすごく観てたんです。大学では、留学しようと思つて勉強していたし、スポーツもして、本も旅行記を書いて出版していたんですが、それでもまだ足りない感じがして、そんな時、野田秀樹さんの芝居を何本か観て、これはいいんじゃないかなと思つて、自分にとってこういう表現の方が向いているんじゃないかと。最初はノンフィクションのライターになるうかと思つてたんですが、僕は気を遣うので、他人のことを書くのがすごく苦手だったんです。でも演劇って、いろんな登場人物が出てきますけど、どれも自分が偏在しているような気がして

ICU(※5) 国際基督教大学 International Christian University(略称：I)は国際性の使命、Cはキリスト教の使命、Uは学問の使命、大学の基本理念は、神と人とに奉仕する人材の育成。
大林宣彦(※6) 38年生まれ、広島県出身。自主制作映画の監督として活躍後CMディレクター。リチャード・ブロンソンが出演した「マンダム」や「国鉄フルム」などの数多くのヒット作品をつくる。77年「HOUSE/ハウス」で映画監督デビュー。代表的な作品としては、片岡千恵蔵のお原作「青春アドベンチャー」や、赤川次郎原作の「ふたり」出身地の尾道で舞台にした戯曲生「時をかける少女」(ひしんぼ)の「尾道三部作」などがある。
「暗愚小傳」(※7) 1984年 青年団 第3回公演 作 平田オリザ 演出 田中ひろし



「鳥のいる麦畑」(※8) 1987年 青年団 第10回公演 作 平田オリザ 演出 田中ひろし

家の人がモルモン教徒で日本にいたことがあつて、アメリカのサイクリング協会の名簿をくれたんです。そこを訪ねていけば泊まらせてくれるからと言われて、それはすごく幸運なことでした。普通はテントに泊まって、大きな町ではユースホステルみたいなところに泊まるんです。そういう時に名簿の人の所に泊めてもらえばタダになりますよね。

――それが平田さんの本質だとするとかなり乱暴な性格ですね。

めちゃくちゃですね。幼稚園時代の友達にばったり会つて、「オリザ、丸くなったね」と言われて(笑)。どんな子供だったんだよって(笑)。相当ん

わつたんです。自転車ついでにだけだからすごく暇なんで、いろんなことを考えるし。このままだとわけわからないな、もうちょっと体系づけた方がいいんじゃないかと考えたんです。それで大学へ行こうと。翌年から昼間に予備校へ通い、夜は高校へ行きまして。その頃は夏に大検があつたので受けて、そのまま大学受けて受かりました。大学がICU(※5)だったのは母の大学院がそこだったし、あそこ試験が変で、一番受かりそうどころだなどと思つて受けました。早稲田も受けたんです。あの時早稲田に入学していたら日本演劇界も変わつてたでしょうね。静かな演劇になつてないで

作の『光の都』で、それも暗いお芝居になつちやつて、そこから今みたいに変わつていったんです。その『光の都』は『その河をこえて、五月』のものになつていきます。

「ケニヒスベルグの橋」(※9) 1987年 青年団 第11回公演 作 平田オリザ 演出 田中ひろし

経営難の「アゴラ劇場」を継ぐ。

――韓国から帰つてきてからは。

留学前は演劇を続けるかどうかわだ決めてなかつたんです。留学中に「やっぱり続けよう」と決めたんです。それに僕とはまったく関係なく父親がアゴラ劇場をつくつてしまつて、すごい借金を抱えてどんどん経営が傾いてしまつたんで、ある意味しょうがなく、卒業したら家を継ぐ、ということにしたんです。

――アゴラ劇場の経営者であり支配人で、その劇場を拠点として活動もしていたんですね。最初はアゴラには全然余裕がなかつたんで、青年団もちゃんとお金を出してアゴラを借りていました。僕はアゴラで働いてましたけど、30歳ぐらいまで家庭教師で食べてました。家庭教師得意だったんです。暗示にかけるのがすごくうまいんです(笑)。

――86年に大学を卒業しますね。

その卒業後の第一作というのが今の方向にだんだん近づいていつて、87年に書いた『鳥のいる麦畑』(※8)という作品では言葉遊びがなくなり、あまり時空間も飛ばなくなつた。でもまだ他の人が演出してたんです。そのころ理論的なことも考え始めていたので、演出をしたかったと劇団員に言つたんです。87年のことです。しかしみんなから反対されました(笑)。そのとき観客動員が伸びていて1000人くらい来ていたので、せっかくなのでできたのに、という感じだったんですね。まず『ケニヒスベルグの橋』(※9)という留学中に書いた作品の再演をして、それから新

作の『光の都』で、それも暗いお芝居になつちやつて、そこから今みたいに変わつていったんです。その『光の都』は『その河をこえて、五月』のものになつていきます。

平田演出で観客は激減、その一方で現場は活性化。

――そのあたりで青年団の観客は激減したんですね。

3本やつて、4本目で1000人いた観客が300人台になつちやつて。文字通り目に見えて減る状況という(笑)。友達が観に来なくなるんです。「なんでこんなものを人に観せるんだ」と言われましたね(笑)。「後ろ向くな」とか「同時にしゃべるとよくわかりません」とか(笑)、アンケートにもいろいろ書かれて。まあ演出も未成熟で下手だったこともあると思うんですけど、ある意味劇団員の予言通りだったんですが。

――平田さんの著書『地図を作る旅』に、そのあたりで確信ができたと言っています。

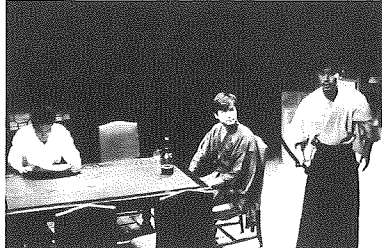
10年のところを5年に縮めることができたのはなぜですか。

静かな演劇と呼ばれるスタイルの確立と、その戦略。

――当時の小劇場ブームと逆のことをすればいいんじゃないかと。ちょうどバブルの頃で、世間は浮かれてたわけだから、僕たちは理論があつてコンピュータで戯曲を書いて、みたいな、半分嘘で半分本当の話が流れたりして、役者はかけがえないとかみんなが言うから、僕は役者は将棋のコマだ、と言つてやつたり。鴻上尚史さんが「演劇は祝祭だ」と言えば「都市に祝祭はいらない」と言つたり。たいがい反対のことを言つてるわけです。それを意図的に言つていた。

――そこらいいよ、静かな演劇と命名されたスタイルへ移つていきます。

今と違つてインターネットもない時代ですから、お客さんが急に増えたりはしなかつたです。『ソウル市民』で観客動員は反転はするんですが、ずっと微増でした。1000人を超えることはなかったですね。92年の『さよならだけが人生か』をシードホールで上演したときいきなり2000人入りま



演出
劇モバイル

【脚色】宮藤官九郎 【演出】いのうえひでのり
演ぶチャート2006・作品編第1位!!

METAL MACBETH

の感動がケータイで蘇る!!

♪ きれいは汚い、ただしオレ以外

♪ 炎の報告

♪ リンスはお湯に溶かして使え

♪ ダイエースプレー買ってこいや

♪ メタル演歌～七光り三度笠

♪ 明けない夜はSo Long

♪ スコーピオン・ハート～俺の心はサソリでいっぱい

3月11日より毎週日曜日に順次配信予定♪

演モチャートは毎月やっています!!

毎月公演中の作品と期間中に出演している役者への投票ができます。
なんと、演モチャートの投票は『演ぶチャート』に反映されます!

投票はこちらから

演出
劇モバイル

お手持ちの携帯電話から
カンタンアクセス!

iMenu→メニューリスト→音楽/映画/芸能
→タレント/芸能→演劇モバイル

EZトップメニュー→エンターテインメント
→芸能・アイドル→演劇モバイル

Yahoo!ケータイ→メニューリスト→芸能・映画・音楽→芸能・タレント→プロダクション・総合
→演劇モバイル

株式会社 ケイブ
cave <http://www.cave.co.jp>

※サービスのご利用には、利用料がかかります。サービス利用料の他に別途パケット通信料がかかります。通信料に
関しては、契約開始時にお知らせいたします。口利・印刷・料金・お申し込み方法は、各サービスごとに異なります。
※この広告に掲載された金銭・商品・サービス名などは、それらのロゴマークは、関係会社・商標の登録
または登録商標です。口利・印刷・料金・お申し込み方法は、各サービスごとに異なります。

3キャリア対応!
演劇モバイル用QRコード



カメラで読み取るだけで
簡単アクセス!

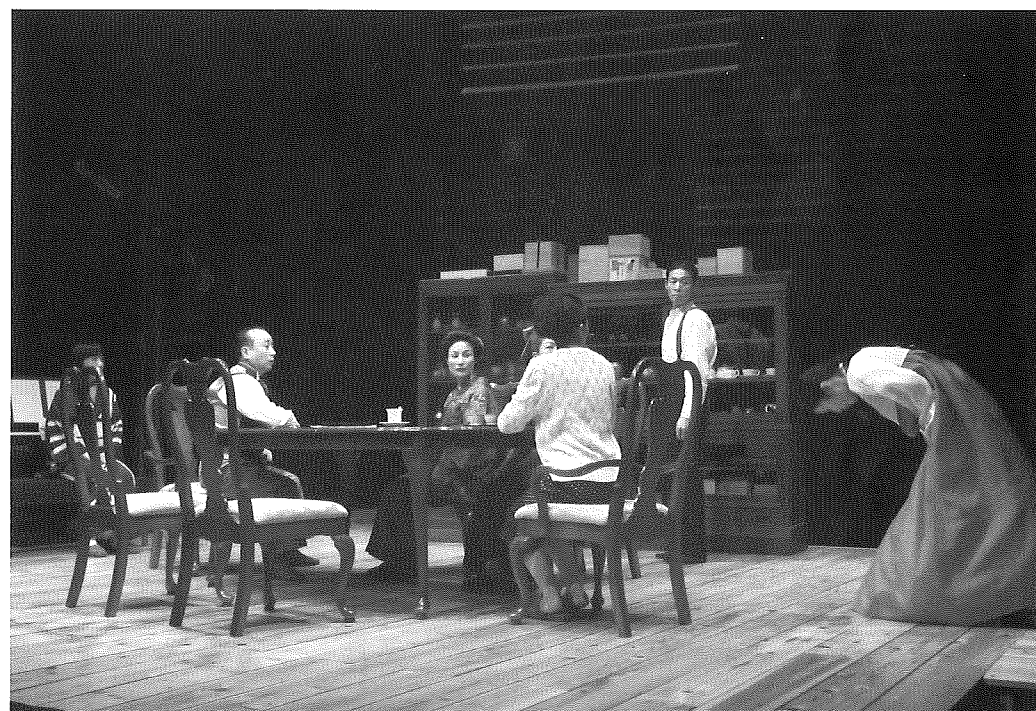
<http://engeki.cave.co.jp>



作・演出○平田オリザ
演出助手○井上こころ
舞台美術○杉山至+鶴屋
照明○岩城保
音響○藪公美子
衣裳○有賀千鶴
制作○松尾洋一郎
西山洋子
林有希子

『ソウル市民』
(※22)

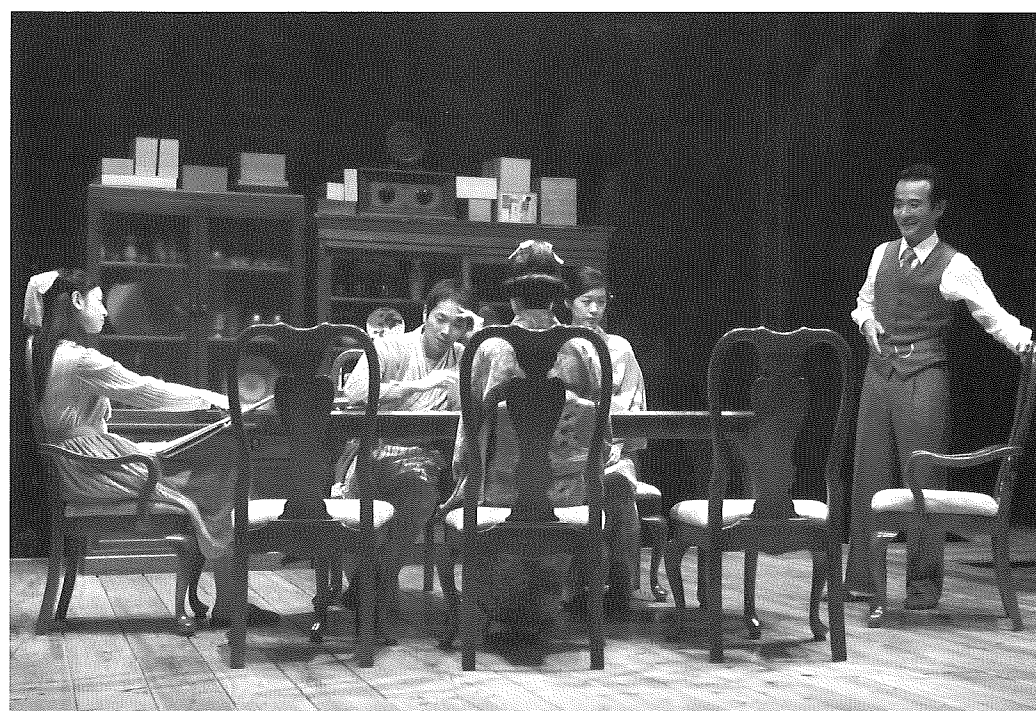
篠塚祥司(客演) 山村崇子
山内健司 松井周 辻美奈子
小林亮子 古原隆太 兵藤公美
石橋亜希子 角館玲奈
村井まどか 大塚洋 松田弘子
足立誠 立蔵孝子 熊谷祐子
安倍健太郎 川開奈保子



『ソウル市民』
1919

(※23)

山内健司 天明留理子 辻美奈子
小川原康二 大塚洋 根本江理子
永井秀樹 太田宏 田原礼子 高橋緑
ひらたよこ 申瑞季 篠塚祥司
根上彩 たむらみずほ 島田唯蔵
秋山健一 佐藤誠 月村丹生
木崎友紀子 三宅友紀



『ソウル市民』
昭和望郷編

(※24)

井上三奈子 福士史郎 松井周
萩野友里 山本雅幸 高橋智子
小林智 永井秀樹 森内美由紀
古原隆太 金受緒 工藤倫子
鈴木智香子 長野海 渡辺香奈
山口ゆかり 大竹直 山本裕子
村田敦子 二反田幸平 端田新華
後藤麻美 堀夏子 (声の出演) 志賀廣太郎 申瑞季

青年団第52回公演 ソウル市民三部作連続上演
『ソウル市民』『ソウル市民1919』『ソウル市民昭和望郷編』

演劇ぶっく 広告料金表

演劇ぶっくでは、各種広告スペースをご用意させて頂いております。
これまでも「演劇公演のご案内」、「劇団員の募集広告」、「学校・スクールの生徒募集広告」、「稽古スペースのご案内」など効果的な宣伝媒体としてご利用いただいております。

広告料金表(税込)

掲載面	スペース	色数	料金	サイズ
表4	1P	4	577,500	275×195
表2	1P	4	420,000	276×187
本文	1P	4	315,000	276×187
本文	1P	1	210,000	276×187
本文	タテ1/3P	4	105,000	276×55
本文	タテ1/3P	1	84,000	276×55
本文	タテ1/6P	1	52,500	130×61

etc……

この他にも用途・目的等に合わせた各種スペースがございます。
広告掲載のご検討や詳しい入稿方法など、お気軽にお問い合わせ下さいませ。

演劇ぶっく
■創刊／1986年4月25日
■発行形態／隔月刊／
奇数月9日発売
■定価／750円(税込み)
■判型／A4判・平綴じ
演劇ぶっくは、小劇場や新しい演劇の流れを中心に幅広く舞台をとりあげるエンタテインメント・フォト・マガジンです。

■お問合せ
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-3
DH2001Bldg.4F
演劇ぶっく編集部
tel:03-5282-1340
fax:03-5282-0170

オーディション ニュース

演劇界で活躍したい人の情報ページ

THE SHAMPOO HAT

▶劇団員募集
▶4月20日(金)消印有効／郵送

10月の本公演の出演を含め、新しい可能性を見出すべく、新たな風となる相応の覚悟を持った劇団員を募集します。高校卒業以上～30歳以下の健康な男女。経験・実力不問。①市販の履歴書(身長、体重、スリーサイズ、今まで観劇したTHE SHAMPOO HATの作品名を明記)、②1人で写っている写真(全身・顔アップ)、③作文「演劇について」を800字程度で原稿用紙にて、④返信用封筒(住所、氏名を明記し80円切手を貼付)を同封の上、下記住所までご応募下さい。

[連絡先]〒153-0053 東京都目黒区五本木3-12-102
劇団 THE SHAMPOO HAT オーディション係

オペラシアターこんにゃく座

▶男性歌役者募集
▶3月31日(土)必着／郵送

歌役者として一緒にオペラの舞台を創っていかれる方を求めています。年齢、経験は不問。写真を添付した履歴書と志望動機(体裁・字数は自由、自己アピールなどを含め、よくわかるように書いて下さい。こんにゃく座の作品をご覧になったことがある人は、必ず作品名を明記下さい)を同封の上、下記住所までご応募下さい。書類選考で合格した人のみ実技試験を行います。詳細は別途連絡。

[連絡先]〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原7-14-1
オペラシアターこんにゃく座 男性歌役者募集係
TEL:044-930-1720 FAX:044-930-1721
E-mail:info@konnyakuza.com

iOJO!(オッホ)

▶劇団員募集
▶4月20日(金)必着／郵送

今後の活動を共にして頂ける劇団員を募集致します。18歳以上の心身共に健康な男女。①履歴書(演劇経験、オッホ観劇経験あれば明記)、②写真2枚(全身・バストアップ)、③80円切手、を同封の上、下記応募先まで郵送して下さい。書類審査合格者のみ、一次審査に関するご連絡を差し上げます。尚、オーディション詳細のお問い合わせはメールのみ受け付けております。

[連絡先]〒160-0015 東京都新宿区大京町26-204
「オッホ劇団員オーディション」係
E-mail:officina@ojo.gr.jp

Oi-SCALE

▶出演者オーディション
▶3月31日(土)必着／郵送

8月の本公演に向けて出演者オーディションを開催致します。履歴書、志望理由(400字詰め原稿用紙1枚程度)を下記住所までお送り下さい。詳細はこちらより返信させていただきます。

[連絡先]〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-28-15-105
B.A.S.オーディション係

◆【団体名】少年王者館 【募集内容】制作スタッフ募集 【締切など】メール 【PR】少年王者館では07年夏の本公演に向けて、制作スタッフを募集しています。20歳以上で2007年夏ツアー第31回本公演【シフォン】(8月上旬～9月上旬、名古屋/東京/大阪を予定)に同行出来る方、簡単なPC操作が出来方。交通費、宿泊費等は劇団規定で支給します。氏名、年齢、住所、連絡先、簡単なプロフィールを添えて、下記アドレスまでメールにてご応募下さい。後は、こちらからご連絡させていただきます。

[連絡先] E-mail:syounen@oujakan.jp / TEL:090-4213-5884

◆【団体名】三条会 【募集内容】俳優 【締切など】3月25日(日)必着／郵送・持参 【PR】20～40歳位の方。三条会アトリエでの稽古に参加出来る方。性別国籍経験学歴不問。市販の履歴書(写真貼付・メールアドレスを必ず明記、演劇経験のある方は詳細添付のこと)にて下記住所までご応募下さい。持参される場合は事前にご連絡を。オーディションの詳細は書類選考合格者にメールでお知らせ致します。原則として、19:00～22:00の三条会アトリエでの稽古には毎日参加出来る事が必須です。[連絡先]〒260-0012 千葉県千葉市中央区本町1-4-2 サガビル3F 三条会アトリエ / TEL:043-224-3901 / E-mail:777@sanjoukai.com
◆【団体名】劇団スタンド・バイ 【募集内容】次

回公演出演者 【締切など】3月19日(月)／郵送 【PR】出演者オーディションを開催します。合格者はワークショップを経て、6月12～19日に劇場 MOMOにて行う本公演に出演! オーディションを希望される方は、履歴書に写真(顔・全身)を添え、劇団事務所までお送り下さい。公演の概要等を含め、後日劇団よりご連絡致します。 [連絡先] 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町45-6 劇団スタンド・バイ / TEL&FAX:03-3955-3684 / E-mail:sbclub@hotmail.com

◆【団体名】IT0プロジェクト・糸庭 【募集内容】糸あやつりの人形作家・人形演技者 【締切など】随時 【PR】糸あやつりの人形劇を本気でやりたい方向けの講座です。プロ・アマ問わず。将米、舞台で表現することを目的とした方、或いは人形作家を目指す方を対象に、基本的な動きが方から人形作りまでを指導します。 [連絡先] うさぎ小屋 プタムラ / TEL:090-9167-9715 / http://members.aol.com/itoayaturi/

◆【団体名】劇団創劇舎 【募集内容】劇団員募集 【締切など】随時 【PR】稽古優先で来れるプロを目指す方。16歳以上(学生可)経験不問。写真(顔1枚、全身1枚)、自己PR文、履歴書、80円切手5枚を同封の上、郵送にてご応募下さい。 [連絡先] 〒114-0014 東京都北区田端4-3-4 サニーハウス田端301 劇団創劇舎劇団員募集係 / E-mail:uradaikoku@yahoo.ne.jp / http://www.uradaikoku.com/

当コーナーに情報掲載を希望する方は、①～④の項目を記入し、郵送・FAX・メールのいずれかにて弊社までお送り下さい。

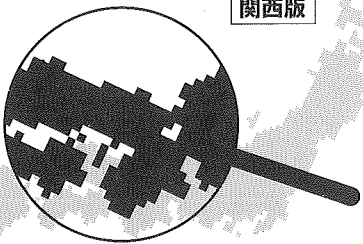
①団体名②募集内容③募集の締切とその手段(郵送、FAX、電話、メール等)④PR文(100字以内)⑤連絡先(情報担当者の名前、住所、連絡先(編集部の管理用ですので、電話番号は必須です)受付は随時行いますが、基本的に奇数月末日までにのご応募頂いた内、先着順にて次号に掲載させていただきます。掲載は無料ですが、同一集団の連続掲載、有料の研究学生募集、有料ワークショップ等は掲載致しません。掲載についてのお問い合わせはご遠慮下さい。尚、掲載部から担当者様へのご連絡先電話番号が明記されていない場合や、同一集団の連続掲載依頼などが続いた場合は、今後の掲載をお断りする場合もございます。何卒御了承下さいませ。

▶〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F (演劇ぶっく社「オーディションニュース」係)
▶FAX:03-5282-0170
▶E-mail:info@enbu.co.jp

※当コーナーで募集する個人情報は、掲載を希望される団体の担当者様に本誌掲載に関するご連絡を差し上げる以外の目的には使用致しません。

特搜! エンブスクープ!

関西版



IMPACT DRIVE「TRAIN」
作・演出・出演◎岡博史
1/13-14◎BLACK CHAMBER 名村造船所跡地野外特設会場「STATION」



撮影◎竹本泰広

活動を休止。このまま関西野外劇史の伝説に終わるかと思われた。

しかし06年、造船所跡地の劇場「BLACK CHAMBER」を訪れた岡は、敷地に小さな空き地を発見する。その場所こそが岡に「人野外劇再開を決定させる最強のカンフル剤」となったのだ。「倉庫と塀に三方を開かれた狭い空き地で、塀の向こうから何か巨大な物が出てきたら面白いな……」と考え始めた岡、あれもできる、これもあると構想が湧いてきて、第1回公演からずっと、そこに住む人間が留まるか出て行くかという物語を書いている。岡はそれを突き詰めるのに3カ月の時間かたんだ。

まず芝居は、BLACK CHAMBER入口の半屋外空間から始まる。コンテナサヨナラマタイカカラス……」と呪文のように唱え続けながら、瓦礫を地面に並べる岡。このイメージが終った後、観客は坑道を思わせる狭い通路を抜け、野外劇場「STATION」に導かれる。そこで展開されるのは、二人の男の出会いと別れと追憶の物語。岡が演じる作家風の男は、住み込みの工員が業中街で「吉川さん」という青年と親しくなるが、彼は作中の事故で命を落としてしまう。その事故が原因で会社は倒産し、誰もが街を去っていく中、男は頑なにその場に留まる。無人の街で、人瓦礫を運び続ける男が、ある日街外れにある廃線に、川さんが生前見たがついた汽車が蒸

依頼

ただでさえ大変そうな野外芝居を、この冬たった1人でやりとげた人がいたそうですが、その人についてぜひ調べてください。

氣を上げながら現れた……。

「自分の周りでも、様々な理由でいろいろな人がいなくなつた。その中での気持ち、自分を培ってきたモノを使つて表現しよう」と内容について語った岡。物語自体はかようにシナリオが、実際の舞台は、相当の力業! ずつと猫車で瓦礫を選び続けるだけでなく、中盤の雨の中を歩くシーンでは、全身にしっかりと冷たい水を浴びる。当日の気温は10℃を切っていた上、海からの冷たい風も容赦なく吹きつけていたんだから、これはもう軽く命がけだ。その分大量の蒸気とともに、大きな汽車が塀の向こうから現れた時のカタルシスは鳥肌毛。実は観客も寒空の下で全員立見という過酷な状況だったんだけど、そのシーンの瞬間に背中が激しくゾクッとしたのは、決して寒さのせいではないのだ。「本当はもっとゆつたりした環境で見ていただきたいんだ。ですが、予想の倍以上のお客さんが集まつて、やむなくさきう詰めの立見になってしまった」と岡は申し訳なさそうに振り返ったが、それだけ彼の「無茶」を6年間待ち続けた人が多かったという証明だろう。

「維新派もそうだった。劇場を土台から作り上げた、お手伝いさんご飯を作つたりする行為も全部演劇であり、表現だと思ふ。なぜそんな手間のかかることを。と思ひ、逆になんか表現方法があるんだ」と岡を知つて、年とともに体力が落ちてくる岡、芝居のラストで汽車に乗りながら、その街に留まることになった主人公と同じように立ち、彼にしかできない表現に挑み続けてくれるとだろ。

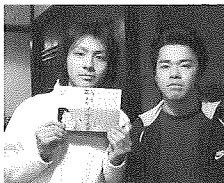


依頼

今年の石原正一ショーは見慣れない役者さんが主役だったので、その人がすごくカッコよくて一目惚れしました! 彼はどんな人なんだろう?

石原正一ショー「ボボボボ・坊っちゃん」
作・演出・出演◎石原正一
出演◎赤星マサノリ 川下大洋 原尚子 後藤英樹 美津乃あ 浅野彰一 山浦徹 末満健一 宮川サキ 坂口修一 岸本奈津枝 西山ひな 小山崎 米田晋平 町本卓也 澤田誠 ※東京公演とは出演者は異なる
06/11/29～12/3◎ザムザ阿佐ヶ谷・06/12/26～30◎HEP HALL

石原正一(右)
次回予定◎赤込演劇ビーム「マーチ」3/2～26◎in→dependent theatre ※一部演目のみ出演。詳細は劇団HPで確認を。http://www.unkomitai.com/
石原正一ショーは2007年末に予定。



岡博史

おかひろふみ◎67年生まれ、岡山県出身。92年にスタッフとして維新派に入団。「ノスタルジア」から「ROMANCE」までは、役者として舞台にも登場する。98年にIMPACT DRIVEを旗揚げし、大阪南港で2作品を発表。今回は実に6年ぶりとなる公演だった。

次回予定◎未定。最新情報をお求めの方はimpactdrive@hotmail.comまでお問い合わせを

【NEWS!】

「特搜! エンブスクープ-関西版」では、皆さまからの依頼をお待ちしています。「あの公演が見られなかったのレポート欲しい!」というのから「役者の*さんある?」というのまで。ミスターなネタ、くだらないネタでもOKです。ただし、関西地方限定! 巻末ハガキにて「エンブスクープ」係まで。

蠅男

赤堀雅秋

あかほりまさあき○71年生
まれ、千葉県出身。作・演
出家、俳優。96年劇団THE
SHAMPOO HATを旗揚げし、
以降全ての作品の作・演出
を担当。今もっとも注目を集
める演出家の一人。

束から1枚！

0 7 4

様々なジャンルの演劇に挑戦し、 “自分だけの表現”を探ります。



演劇コース [一年制・昼間部/夜間部]

長い時間をかけても体験できないような様々なジャンルの表現を一年間で凝縮して経験し、
「自分だけの表現」を探り、自分の「魅力」に気づくためのカリキュラムです。

基礎力をつける!

- 身体と声の使い方を学ぶ「**ヴォイストレーニング&ストレッチ**」
- 人前に立つ基本を知る「**演技基礎**」
- リズム感を培う「**ダンス**」
- 脚本を読み解く力を養う「**台本の読み解き方**」「**リーディング**」
- 活躍中の演出家から学ぶ「**表現講座**」

	台本の読み解き方		表現講座
板垣恭一		近藤良平 (コンドルズ)	
	リーディング		表現講座
明神慈 (ボカリン記憶会)		河原雅彦	
	表現講座		
平田オリザ (青年団)			

3つのジャンルの演劇に挑戦!!

- 台本をしっかりと読み解き演じる
“最も基本的な演劇表現”を学ぶ「**ウェルメイド**」
- “笑い”を呼び起こすためのポイントを学ぶ「**コメディ**」
- 歌とダンスと演技を“魅せる”ことを学ぶ「**ミュージカル**」

	ウェルメイド (昼間部)		ウェルメイド (夜間部)
黒川麻衣 (JOJO)		高井浩子 (タナワリ)	
	コメディ (昼間部)		コメディ (夜間部)
土屋亮一 (シベリア少女鉄道)		故林広志	
	ミュージカル (昼間部)		ミュージカル (夜間部)
田辺茂範 (ロータ男爵)		浅井さやか (One on One)	

舞台に立つ!

劇場公演の演出を担当するのは、
第一線で活躍中の演出家です。
演劇コース生全員が4つのクラス
に分かれ、一年間の成果として劇
場の舞台に立ちます。



演劇コース劇場公演の様子。

	昼間部		夜間部
赤堀雅秋 (THE SHAMPOO HAT)		青木豪 (クワック)	
	昼間部		夜間部
江本純子 (毛皮族)		横山仁一 (東京オレンジ)	

特別講義

表現の世界で活躍中のアーティストたちによる講義。「演劇」や「表現」について貴重なお話をうかがいます。

	成井豊	
ケラリーノ・サンドロヴィッチ (演出家/NYLON100°C)	成井豊 (演出家/演劇集団キャラメルボックス)	松尾貴史 (タレント/AGAPE store主幹)
	柳家花緑	
宮沢章夫 (演出家/遊園地再生事業団)	柳家花緑 (落語家)	細川展裕 (プロデューサー/有限会社ヴィレッジ「劇団☆新感線」代表)

- ・オーディション講座
- ・演劇制作講座
- ・俳優講座

よくある質問

Q ENBUゼミにはどのような人たちが
(年齢・職業)が通っていますか?

A 一番多いのは20代の前半ですが年齢の幅は大きく、10代の方から30代の方までクラスには様々な年齢の方がいます。また職業は半数くらいの方がアルバイトですが、学生生活や会社員生活と両立しながら通われる方もいます。

Q まったくの初心者ですが、
授業についていけますか?

A もちろん。大丈夫です。ENBUゼミでは、すべてのコースが初心者を対象としたカリキュラムとなっています。半数以上の方が全くの未経験で入学しています。

Q 授業は週にどれくらい
ありますか?

A 通う頻度は週平均2~3日くらいですが、週によって異なります。5月~7月のスケジュールは4月に、9月~12月のスケジュールは7月に、1月~3月のスケジュールは12月にお知らせしています。

Q 年間に納める学費以外に
費用はかかりませんか?

A 入学手続き時に納入する学費に、在校中にかかる全ての費用が含まれています。また教育クレジットを利用すると、月々27,300円から分割して納入することができます。

Q 演劇コースを卒業した後の
進路を教えてください。

A 半数くらいの方が在学中に知り合った人々と劇団・集団を立ち上げ、演劇活動を続けています。講師や既成の劇団に入団するのはだいたい10%、残りの40%の方は集団に所属せず活動を続けたり、裏方のスタッフになったり、様々な形で演劇に携わっています。

資料請求・説明会・無料体験授業の申込受付中! 詳しくは78Pを

●5月開講の「映像俳優コース」「映画監督&映像ディレクター専攻」の詳細は80~81Pに掲載!

FROM HARDS

暖冬とはいえ、寒いと舞台を観に出かけるのも結構大変なもの。
でもやっと春! あ、花粉症の方は、お気をつけて!
さてさて今号は、年に一度のお約束、演ぶチャートの発表です。
皆様、たくさんのおハガキ、ありがとうございました。
チャートのページでは紹介しきれなかった
皆様の熱いメッセージを一気にご紹介します。

◆「メタル マクベス」は、新感線らしさ、グロテスクらしさを出しつつ、話はしっかりマクベス。ランダムスター夫婦の気持ちがすごく丁寧に描かれていた。かわいい、お似合いの二人なのに、ちょっと間違えた方向に行ってしまう。二人の油断が哀しかった。(東京都 31歳 あつこ)

◆「少年ラヂオ」は、歌あり、殺陣あり、アクションあり、そして一番すごいのは「ミュージック」という動きを使ったスリルシーン。何回観ても楽しませていただきました。キャラメルらしいテンポの良い作品で、クリスマスらしく、心が温まりました。ラヂオを演じる畑中智行さんの必死さと真っ直ぐな気持ちが印象的でした。(千葉県 19歳 さくら)

◆「ラクダに乗った王子」こと岡田達也さんと福田麻由子ちゃんが共演した「雨と夢のあとに」は、二人の本当の親子のような恋人のような、芝居とリンクした関係性が作り出した優しくて哀しいファンタジー。涙なくしては観れませんでした。(新潟県 42歳 奈つち)

◆やっぱり舞台で観る阿部サダヲは大きいので

す。お星様みたいにキラキラとした瞳と太陽の大きな光みみたいな存在感は他の人には出せないと思います。「まとまったお金の唄」での少し抜けた感じのお姉ちゃん役も、彼だからできたのだと思います。あの役をサダヲさんにあてた松尾さんもさすがだと思います。

(愛知県 34歳 きなこ)
◆藤原竜也さんをデビュー時より応援しています。「オレステス」での長台詞、狂気と正気の切り替え。全編通じて生きるか死ぬかの瀬戸際の論戦を見事に演じていました。長台詞を魂を込めてしゃべる様子は、いつ観ても圧倒されます。竜也君は舞台ごとに全く違う人物像を作ります。本人の殻とカススタイルを作らないで全く違う人物になりきり、驚かせます。そして次の舞台を期待させます。(広島県 60歳 ヒロ)

◆「間違いの喜劇」や「あわれ彼女は娼婦」のなかで今まであまり演じることがなかったような役をこなしてきた高橋洋さんに、今後も注目していきたいです。声や演技、すべてが好きです。いつも引き込まれています。「間違い〜」では腹

話術がすごかったです。たくさんの人に観てほしいなと思いました。(宮城県 25歳 あやき)
◆あるテレビドラマで池鉄彦さんを知って、映画で観てさらに気になってパンフレットを読んだら、プロフィールに「猫のホテル」と書いてあって驚きました。ちょうどその頃買った演劇ぶっくで久ヶ沢徹さんと池鉄彦さんが対談してたんです。それ以来、池鉄彦さんにはまってしまいました。もう、あ

の美声と存在感にメロメロです!! 猫のホテルや演劇にはまったきっかけも、池鉄彦さんです。それまでは全く知らない世界だったので、本当に池鉄彦さんには感謝しています。「そこそこ黒の男」も本当に素晴らしいかったです。面白すぎてずっと笑っていました。(栃木県 17歳 M.N.)

◆いただいたおハガキから、皆様の情熱が伝わってきました。さてさて、投票した俳優さんや舞台は何位でしたか?
◆新年早々ハル智人×高橋克実の舞台を観てラッキー! と思っている気持ちを高める今

号の表紙。大阪から行って良かった♪ ラストの修二とアキラが歌って踊るシーンが印象的です。高橋さんの汗に頑張りをみました。(大阪府 41歳 who)

◆「猫の森に棲む鬼」観て来ました! 私の演劇観が変わるくらい素晴らしい作品でした。さすが新感線! さすが新感線!! 席が花道の近くだったので、すぐ隣で染さんの殺陣やサダヲさんのギャグが見られて、感無量!

(東京都 28歳 ぶーやん)
◆染五郎さんはほんとにカッコよかったですね! 阿部さんの純粋なキラキラにも感動しました。今号の「猫の森に棲む鬼」大特集は読み応えアリですよ!!
チャートが終わっても皆様のからおハガキお待ちしております。どしどしお寄せください!

プレゼント 広場!!

巻末のアンケートハガキに、希望するプレゼントをお書きの上お申し込みください。応募者多数の場合は抽選になります。発表は発送をもってかえさせていただきます。締切は3月31日消印有効。どしどし応募ください!!



小林顕作×加藤啓サインパンフ/2名
渋谷の某所で撮影された今号の表紙。テーマは「ダウタウン」だったのですが……いかがでしょうか? 手に持っていた小道具のビールを、結構なペースで飲む小林さんと全く口をつけない加藤さん。意外な所でお二人の対照的な姿を見た気がしました。そんなお二人のサイン&イラスト入りパンフを2名に。

TEAM NACS 「HONOR 守り続けた痛みと共に」 サイン入りパンフ/1名

今回の写真は北海道での撮影下ろし写真です! やっぱTEAM NACSは雪が似合います。真やかやんちゃん笑顔が眩しい人が、久しぶりに舞台上で「HONOR」の出来たてははやのサインパンフレットにメンバーのサインを入れて1名に。



『猫の森に棲む鬼』サイン入りカレンダー/1名
強烈で魅力的な「鬼」を演じた市川染五郎。口先で他人を騙し、利用し、裏切る……。色気溢れるワルぶりは徹底していて、この人がいなければ成り立たない舞台だったと思わされる。市川染五郎のサイン入りカレンダーを1名に。

ナイロン100°C 「ナイス・エイジ」 サイン入りパンフ/1名

この凝りたる「ナイス・エイジ」と言いたくなる「ナイス・エイジ」のパンフレット。中身は、特製カレンダー・シール・ポストカード・ヴィジュアルブック・インタビューブックと盛り沢山。隅から隅までナイス・エイジの世界観を堪能出来ます。インタビューにご登場頂いた佐藤哲と大倉幸二のサインを入れて1名に。



『コロレインナ』サイン入りパンフレット/1名

古代ローマの物語なのに、不思議と今の日本にもあてはまるような構造を持った『コロレインナ』。衣裳や美術も「和」を意識し、横断幕の場面転換やマジックミラーを使った舞台装置で、「群衆」をスペクタクルに見せた。同公演のパンフレットを1名に。



宝塚歌劇団「星影の人」 パンフレット/1名

沖田総司の物語に焦点を当て、その短くも激動の青春を語った「星影の人」。雪組の新主演コンビとなった水夏希と白羽ゆりの新鮮な演技が印象的だった同公演のパンフレットを1名に。



Editor
菊野令子
岡田高
渡辺敏恵
伊藤主枝子
木保冬
榎原和子
Art Direction
釣巻敬康
Design
内山絵美
諸橋望
OFFICIAL HOME PAGE
http://www.enbu.jp

次号6月号は5月9日発売

演劇ぶっく 第22巻 第2号 通巻126号
2007年3月9日発売
定価750円(本体価格714円)
編集人 坂口真人
発行人 市橋浩治
発行 有限会社演劇ぶっく社
〒101-0062
千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg 4F
TEL:03-5282-1340
FAX:03-5282-0170
E-mail:info@enbu.co.jp
印刷 株式会社マルス

【移転のお知らせ】

演劇ぶっく編集部は、2007年2月末をもちまして、下記住所に移転いたしました。公演情報などをお寄せいただく際にはご注意ください。電話番号・FAX番号も変更いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、今後ともよろしく願います。
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-3
DH2001Bldg.4階
TEL:03-5282-1340/FAX:03-5282-0170

CLEANSKINS/きれいな肌

クリーンスキンズ

作：
シャン・カーン

翻訳：
小田島恒志

演出：
栗山民也

出演：
中嶋朋子
北村有起哉
銀粉蝶

世界初演!

なぜ人間は闘争を続けるのか。
国境とは、宗教とは、民族とは――。
イギリス注目の劇作家シャン・カーンが書き下ろす、
秘密を抱えたある家族の物語。

4/18(水)―28(土) A席5,250円 B席3,150円

好評発売中



★託児室がご利用になれます。開場は開演の30分前です。

新国立シアター・トーク開催!

- 日 時: 4/24(火)終演後 ● 会 場: 小劇場
- 出演予定: 栗山民也(演出)、中嶋朋子、北村有起哉、銀粉蝶
- 司 会: 堀尾正明(NHKアナウンサー)
- 入場料金: 無料(「CLEANSKINS/きれいな肌」のチケットをご提示ください。)

*半券可、但し当日満席になり次第入場を締め切らせていただくことがあります。

1941年、“魂の暗闇”へ消えた謎の一日。

コペンハーゲン/COPENHAGEN

作: マイケル・フレイン 翻訳: 平川大作 演出: 鶴山仁
出演: 村井国夫/新井 純/今井朋彦

上演中―3/18(日) A席5,250円 B席3,150円

火木金 7:00
水 2:00/7:00
土日 7:00
月 休演



村井国夫

新井 純

今井朋彦

多言語演劇の可能性を追求した、
日中の人気劇作家による共同プロジェクト。

日中共同プロジェクト公演

下 周 村

一花に嵐のたえもあるさー

作: 平田オリザ/李六乙
演出: 李六乙/平田オリザ
出演: 篠塚祥司/佐藤 誓/内田淳子/栗田 麗/能島瑞穂
中国人俳優



平田オリザ

李六乙

5/15(火)―20(日) A席4,200円 B席3,150円
火水木 7:00 木 2:00 土 1:00/6:00 日 1:00

3/18(日)
前売開始

■チケットのお申し込み
ボックスオフィス 03-5352-9999
<http://www.nntt.jac.go.jp>

ぴあ/イープラス/CN/ローソン

■Z席(1,500円)・当日学生割引(50%)

公演当日ボックスオフィスとチケットぴあの一部店舗にて販売。1人1枚、電話予約不可。

■託児室(キッズルーム「ドレミ」)

【申込・問合せ】イベント託児・マザーズ 0120-788-222



新国立劇場

小劇場 THE PIT

2006/2007 シーズン・特別支援企業グループ

KONAMI TBS TOYOTA ROHM/D-6

